



**2018年下期の業種別部会長シンポジウム**

**SIMPÓSIO DOS PRESIDENTES DOS  
DEPARTAMENTOS SETORIAIS**

**CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL**

**HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)**

**前半司会**

**木下 誠 総務委員長**

**APRESENTADOR**

**Presidente da Comissão  
de Coordenação Geral**

**Makoto Kinoshita**

挨拶

松永 愛一郎 会頭

**Palavras do Presidente da Câmara:**

**Aiichiro Matsunaga**

# 基調講演

在外日本人商工会議所の活動  
—アジアを中心に—

川辺 純子 城西大学副学長

**Atividades das Camaras Japonesas no Mundo  
- Com Foco na Asia -**

**Sumiko Kawabe  
Vice Reitora da Universidade Josai**

# 在外日本人商工会議所の活動 —アジアを中心に—

2018年8月23日

於 ブラジル日本商工会議所

川辺 純子

城西大学客員教授

# 目次

1. 商工会議所について
2. アジアにおける日本人商工会議所
3. マレーシア日本人商工会議所(JACTIM)の活動
4. 香港日本人商工会議所(HKJCCI)の活動
5. JACTIMとHKJCCIの事例研究から
6. グローバル化と在外日本人商工会議所

JACTIM: Japanese Chamber of Commerce of Trade and Industry, Malaysia

HKCCI: The Hong Kong Japanese Chamber of Commerce and Industry

# 1. 商工会議所について

(1) 商工会議所とは:

- 商工会議所法などの法律に基づき、市など一定地区内の商工業者によって組織される自由会員制の非営利法人

(2) 目的: 商工業の改善発展

(3) 会議所の財政: 会員の会費による

(4) 会議所の組織・活動:

- 会員が抱える共通課題に対して、指揮部門が活動計画を策定し、事務局の統一管理のもと、部会(業種)ならびに委員会(業種横断)が、計画を実施する。

## 2. アジアにおける日本人商工会議所

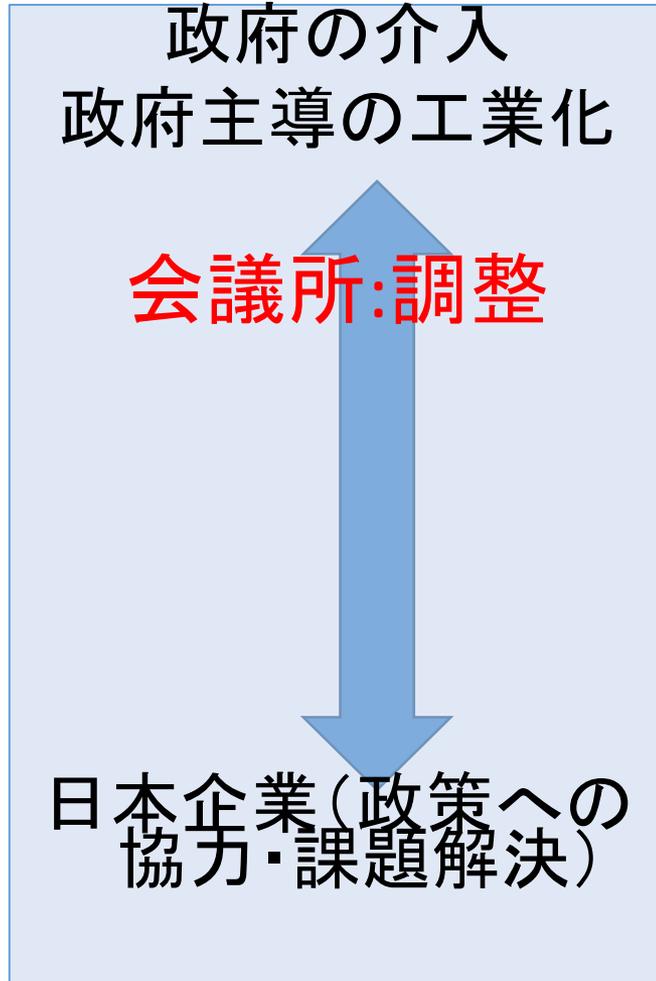
地域	カ所
欧州	17
北米	18
中南米	14
アジア	29
大洋州	7
アフリカ	1
合計	86

アジア地域	
韓国	インド(4)
中国(3)	バングラディシュ
香港	スリランカ
台湾	パキスタン(2)
フィリピン(3)	ミャンマー
カンボジア	ベトナム(3)
マレーシア	ラオス
シンガポール	UAE
タイ	ネパール
インドネシア	

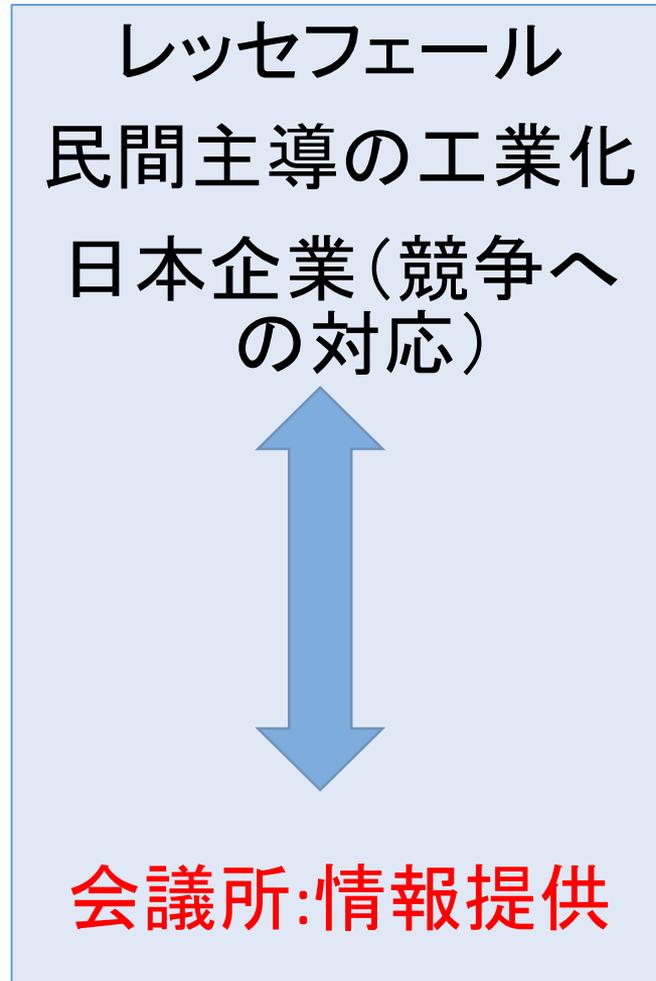
注：日本商工会議所、日本人商工会議所、日本商工会、日本人会商工部、ジャパ  
ンクラブ含む(出所：日本商工会議所HP)。

- Q. 在アジア日本人商工会議所の役割は何か？  
A. 進出先国政府や日本企業が何を求めるのか？

### タイプA (マレーシア・タイ)



### タイプB (香港)



# 3. マレーシア日本人商工会議所の活動 ータイプAー

## (1) 概要

- 設立: 1983年(中曽根首相とマハティール首相とのトップ会談で決定)
  - 法的根拠: 会社法(Company Act)
  - 初代会頭: 松本重雄(味の素)/現在: 井水啓之(パナソニック)
  - 会員数: 設立時121社/590社(2018年)
  - 7部会(第1、2、3工業、貿易、金融、建設、流通サービス)
  - 8委員会(総務、広報、経営、調査、貿易投資、中小企業、国際文化交流、財務)
  - 4地域部会(マラッカ、ジョホール、ペナン、ペラ)
- \* 第2代鈴木一正会頭(22年間)とマハティール首相との良好な関係

## (2) JACTIMの活動

# マレーシア政府の政策変化により、日本企業に対する役割変化

	英国	日本企業	JACTIM	マレーシア政府	華人
1970年			ブミプトラ政策(マレー人優遇政策)		
	経済力低下	政策実行者 ・政策への協力 ・課題への対応	合併・「ルック・イースト政策」 <b>調整機能</b> ①マレーシア政府とのダイアログ ②政策提言 ③VDPへの協力	重化学工業 HICOM	マレー人優遇
2000年			アジア通貨危機		
		競争激化 自由貿易 マレーシア文化支援 地場裾野産業支援 雇用マッチング	マレーシアの産業高度化 <b>良き企業市民</b> ①JACTIM FOUNDATION ②SMI支援 ③就職フェア	Vision2020 資本集約産業	
			グローバル化		

# 4. 香港日本人商工会議所の活動 —タイプB—

## (1) 概要

- 設立: 1969年(香港日本人倶楽部經濟部から独立)
  - 法的根拠: 商工会議所法
  - 初代会頭: 玉井英二(三菱商事)/現在桜井知治(住友商事)
  - 会員数: 設立時99社/現在655社
  - 13部会(1分科会)(繊維、化学品、建設重機、精密機械、電気電子ICT、電子部品(受動品分科会)、農水産食品、ライフ・コミュニケーション、金融、運輸保険、観光サービス、小売り流通、中小企業)
  - 5委員会(総務、渉外、財務、業務、中小企業)
- \* 1997年に中国返還により一国二制度採用

## (2) HKJICIの活動

香港の政治・経済的变化により、日本企業が求める情報が変化

	産業構造	日本企業の課題	情報	HKJICI
1950年	中継貿易から加工貿易へ			
	製造業 金融 サービス	香港への復帰	香港の経済社会 他社の情報	部会・分科会 講演会・調査
1997年	香港の中国返還			
	中国へ拡大 統括本部 中小企業進出	中国とのつきあい 香港の位置づけ 華南経済圏	変換を巡る情報 中国・華南経済 圏情報	「北香交流会」 「粵香連絡会」
	グローバル化			

# 5. JACTIMとHKJCCIの事例研究から

- 歴史的に形成された多民族国家マレーシアは、1969年に起こった人種暴動を契機としてブミプトラ政策を導入し、日本企業を工業化政策の推進者と位置づけた。日本企業は政策への協力と、その過程で生じる課題への対応を求められた。
- JACTIMは日本企業とマレーシア政府との間で生じた課題に対して、調整機能を果たしている。
- 鈴木会頭とマハティール首相との個人的強い関係は特殊である。
- 香港政庁のレッセフェール経済下で民間主導による経済発展を展開している香港では、日本企業は地場・外国多国籍企業との競争に対応しなければならない。日本企業は競争に対応するための情報が必要である。
- HKJCCIは、講演会・情報交換会などを通じて、情報収集・提供を行っている。
- JACTIMならびにHKJCCIの活動は、日本大使館ならびにJETROの支援がある。
- 両者ともグローバル化への対応を求められている。

# 6. グローバル化と在外日本人 商工会議所

## (1) グローバリゼーションとアジア

- 変化: アジア通貨危機(1997年)、グローバル化
- 課題: 地域全体で協力と競争が必要
  - ① リージョナライゼーション(地域統合)、貿易自由化
  - ② 産業高度化(宇宙ビジネス、バイオ医療、ICT等)
- 政府: クラスター育成による発展(地域クラスター+イノベーション創出)
- クラスター: 「特定分野における多国籍企業、地場企業、中小企業、中央・地方政府、大学、研究所などが地理的に集中し、競争しつつ同時に協力している状態(ポーター)」

## (2) グローバリゼーションと商工会議所

### ① アジアにおける日本人商工会議所の役割

- タイプA: 政府と日本企業の調整機能
- タイプB: 情報収集提供サービス

### ② 世界におけるアジアの位置づけ: 「世界の工場・市場」

### ③ 課題: アジア地域における競争力の推進 + その過程で生じる

問題に対応

### ④ 展望: アジア地域における日本人商工会議所へと役割変化

- 例: 在ASEAN日本人商工会議所連合会 (2008年設立)
- 外国、地元商工会議所、他の機関との協力、ICTを利用した

ネットワークの構築

- ⇒ 個々の課題に挑戦

**金融 部会**

**安田 篤 部会長**

**Departamento Financeiro**

**Presidente: Atsushi Yasuda**

**2018年上期の回顧と下期の展望**  
大統領選を直前に控えて～  
変化の時期への準備と戦略は

2018年8月23日(木)

---

1. ブラジル経済動向 P2-16
2. 銀行業界動向 P17-20
3. 保険業界動向 P21-25

# 1. ブラジル経済動向

- 緩やかな経済回復基調を継続しつつも、内外リスクが顕在化
- 2018年度の経済成長見通しは下方修正  
(外部要因) 米国の金融政策、米中間の貿易摩擦  
(内部要因) 大統領選の不透明感、社会不安の増大(トラック運転手スト等)
- 基礎的財政収支の改善は諸改革の実行が大前提⇒年金改革への着手が鍵
- 失業率は高止まりの感があり、本格的な消費回復には今暫く時間を要する
- レアル為替防衛の必要性を背景に政策金利は下げ止まりの機運
- 「変化の時期への準備と戦略」  
ブラジル経済回復の契機⇒安定政権による着実な構造改革の推進  
ブラジル経済への外的影響要因⇒中国との関係(貿易、直接投資)  
ブラジル経済の変化⇒規制緩和の促進、技術革新による産業構造の変革

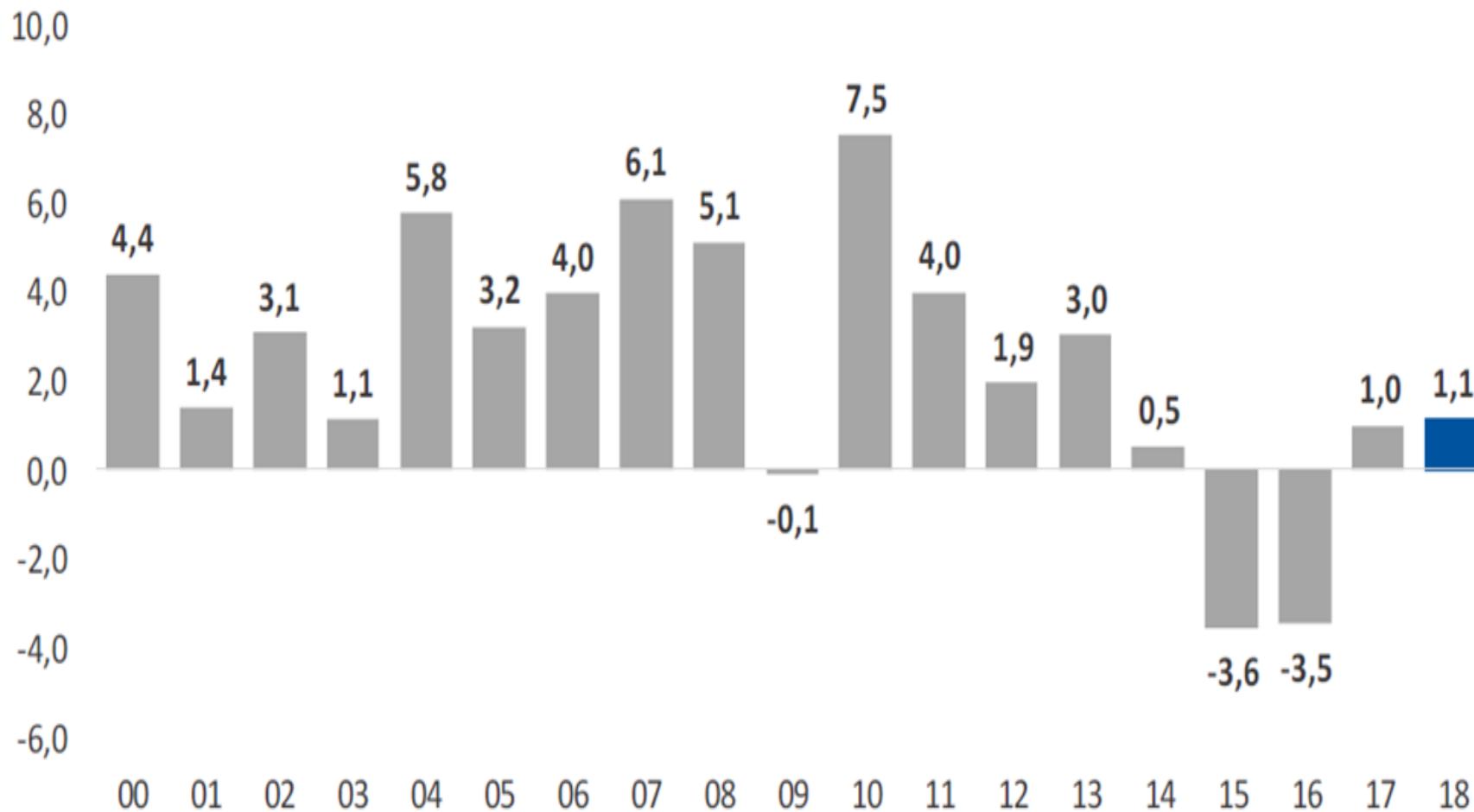
# 主要マクロ経済指標の推移と予測

金融部会

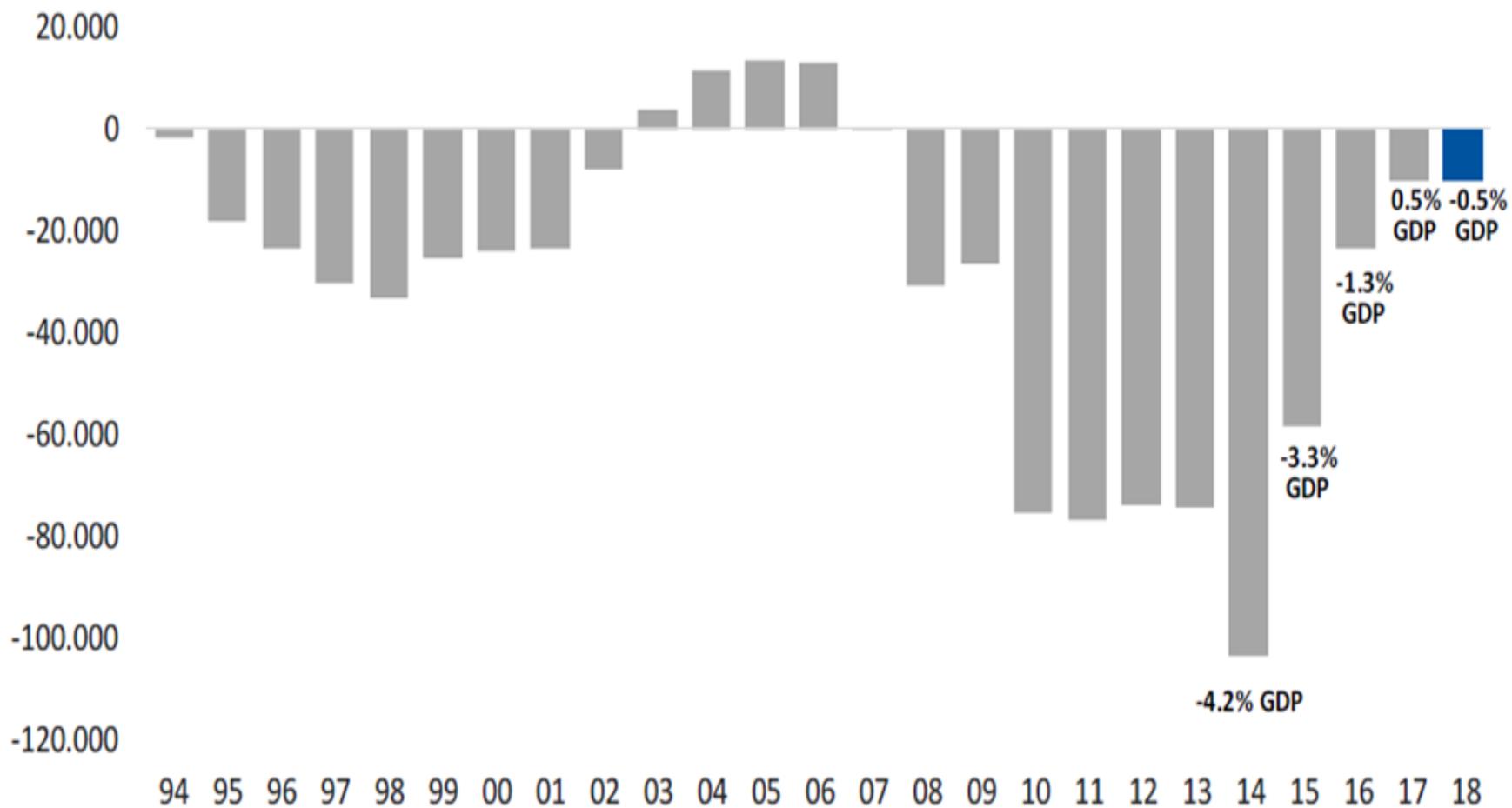
		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 予想	(再掲) 2018年予想 3月1日時点
GDP成長率(%)		1.9	3.0	0.5	▲3.8	▲3.6	1.0	1.1	2.7
名目 GDP	(BRL/10億)	4,806	5,316	5,779	6,000	6,267	6,592	7,019	7,132
	(USD/10億)	2,459	2,464	2,456	1,802	1,799	2,065	1,981	2,181
貿易収支(USD/10億)		19.4	2.6	▲6.3	19.7	47.7	64.0	60.4	53.2
小売売上動向指数(%)		8.4	4.3	2.2	▲4.3	▲6.2	2.0	2.0	3.0
基礎的財政収支(BRL/10億)		105	91	▲33	▲111	▲156	▲111	▲158	▲154
株価【BOVESPA】(ポイント)		60,952	51,507	50,007	43,350	60,227	76,402	N/A	N/A
政策金利【Selicレート】(%)		7.25	10.00	11.75	14.25	13.75	7.00	6.50	6.75
インフレ率【IPCA】(%)		5.8	5.9	6.4	10.7	6.3	3.0	4.1	3.9
為替レート(リアル/ドル)		2.05	2.34	2.66	3.90	3.26	3.31	3.60	3.20

出所: 各種資料に基づき、ブラデスコ銀行が作成(8月6日時点)

年ベース

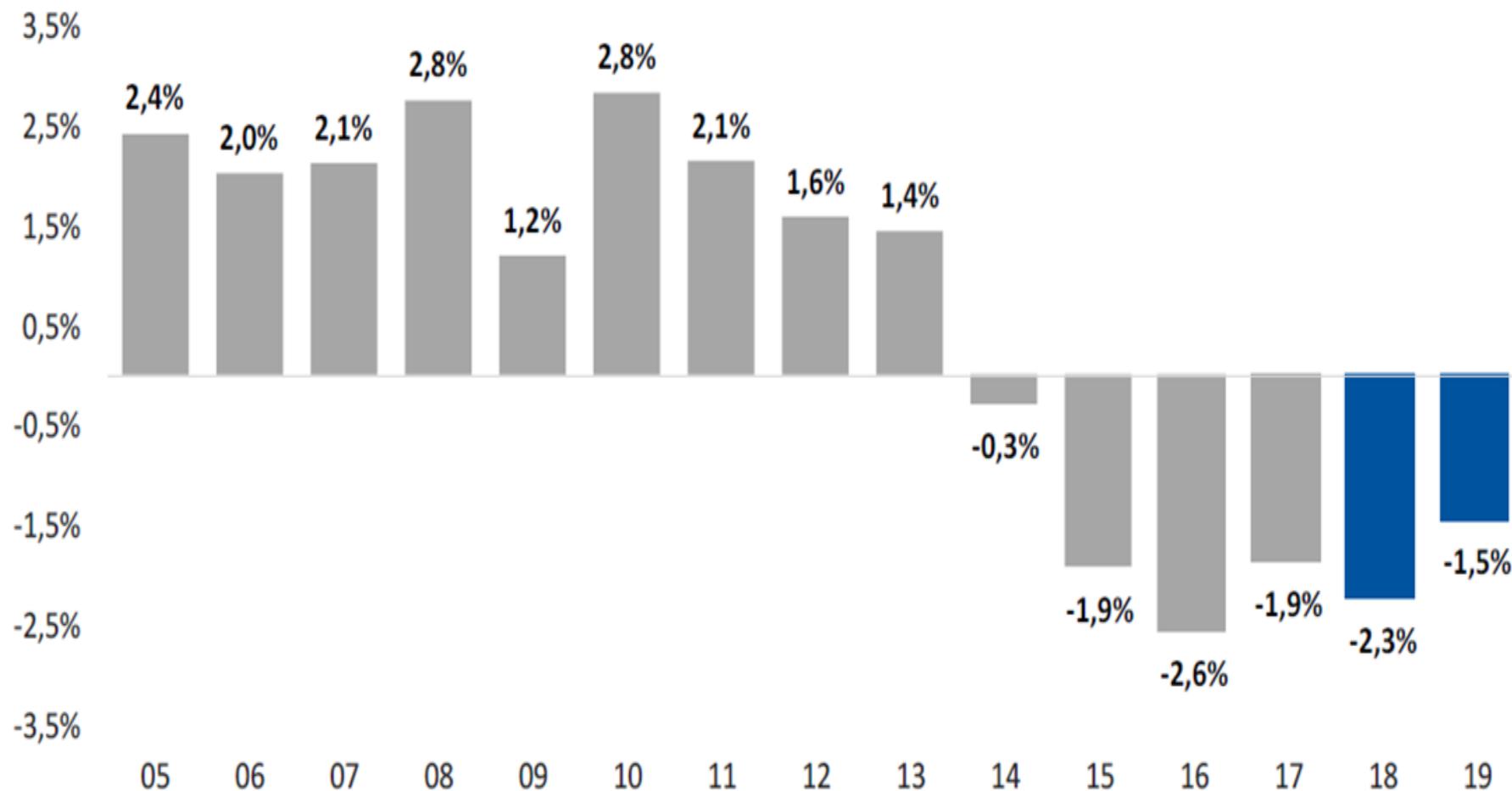


単位: USD Mio

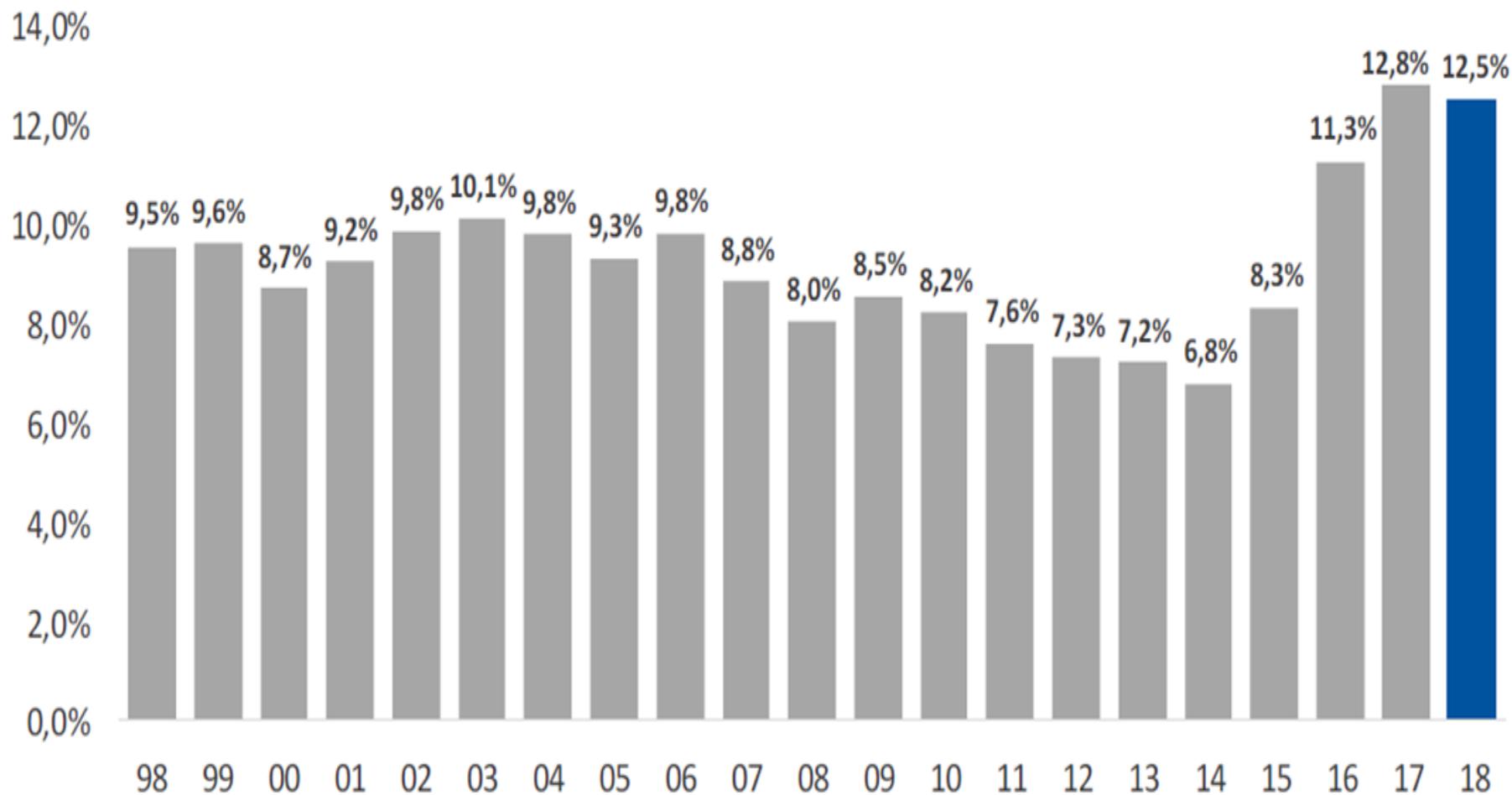


# 基礎財政収支(対GDP比)

金融部会



(USD Bio)

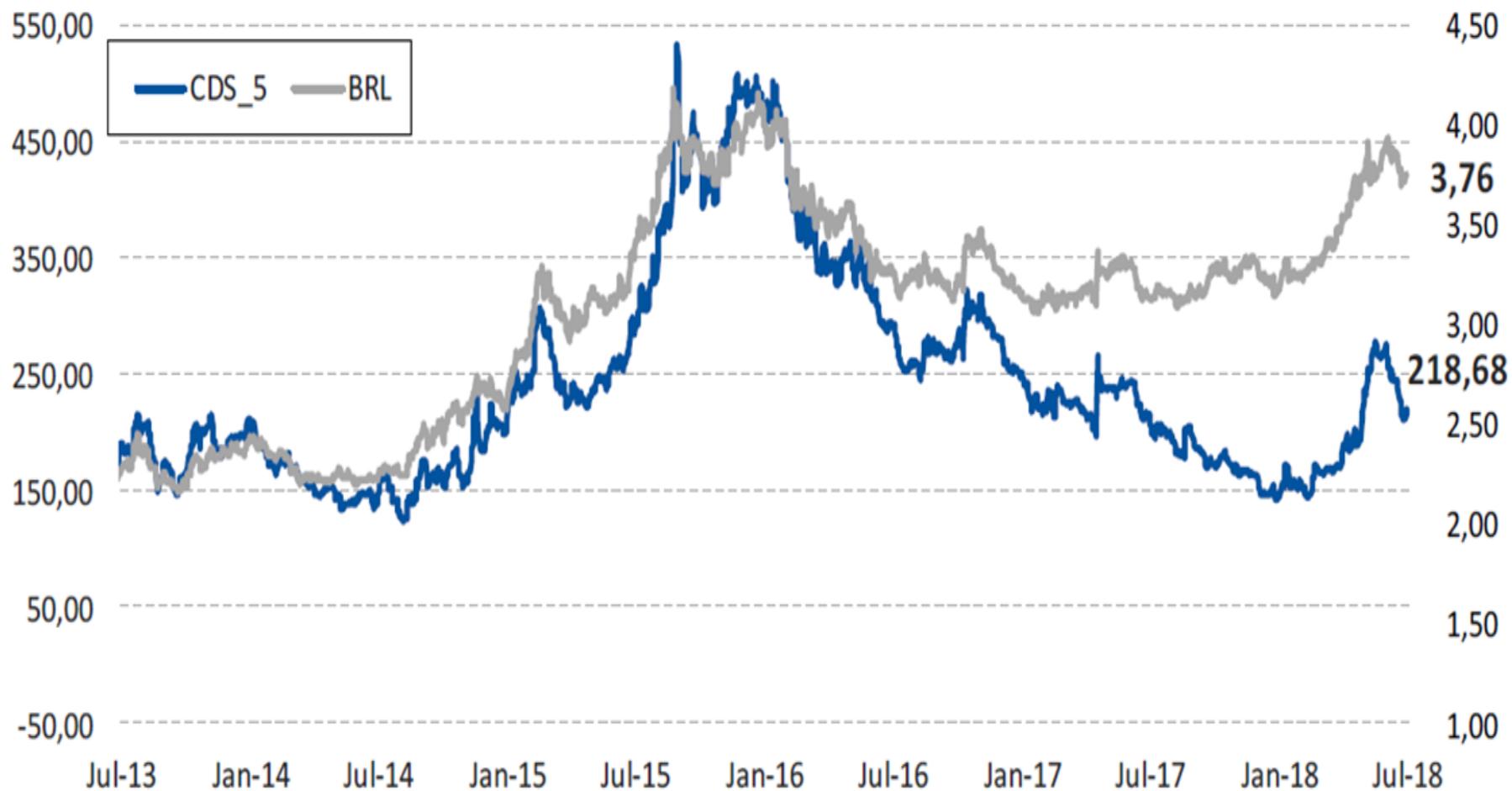


出所: 各種資料に基づき、ブラデスコ銀行が作成



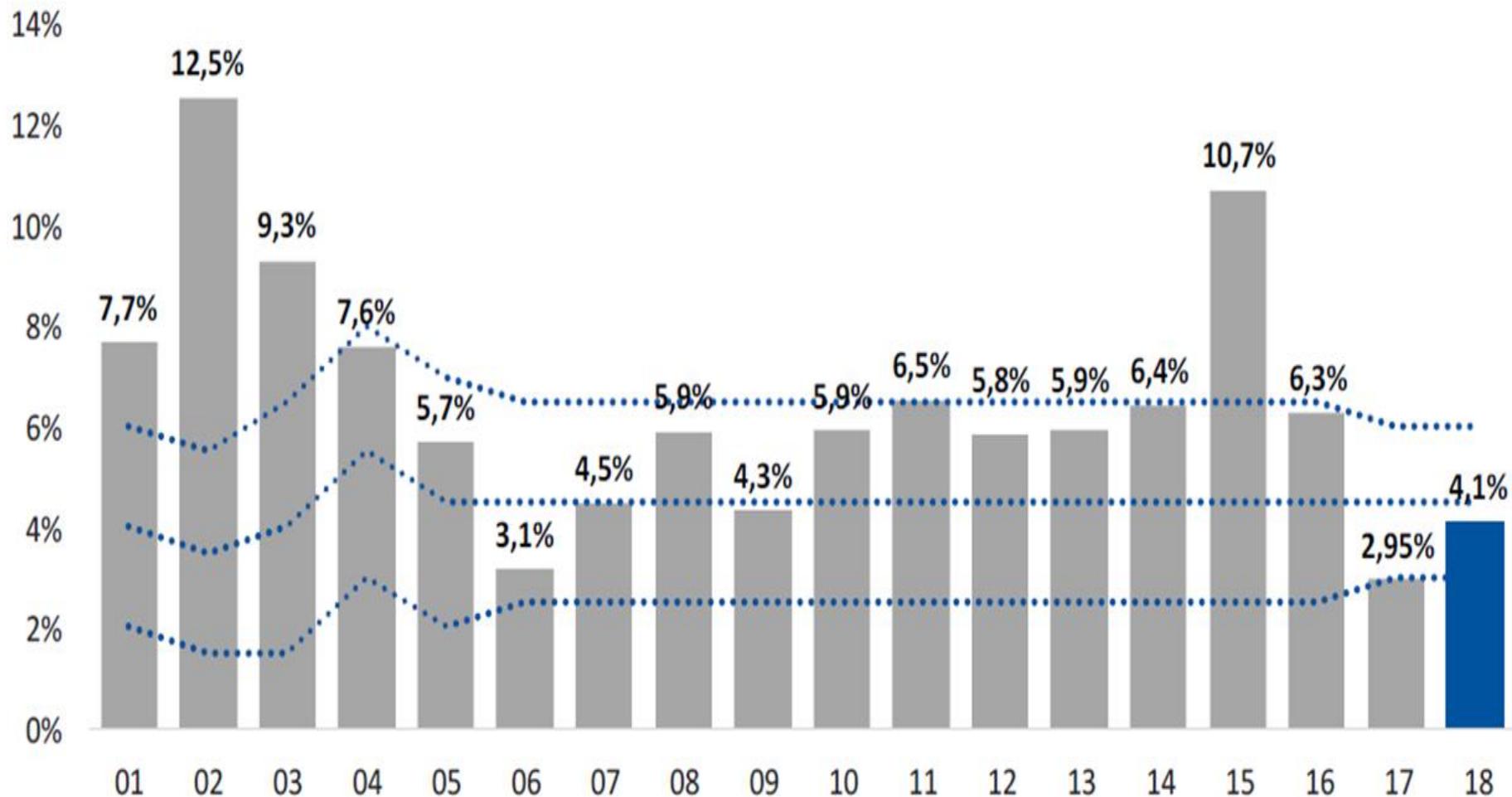
(単位: bps)

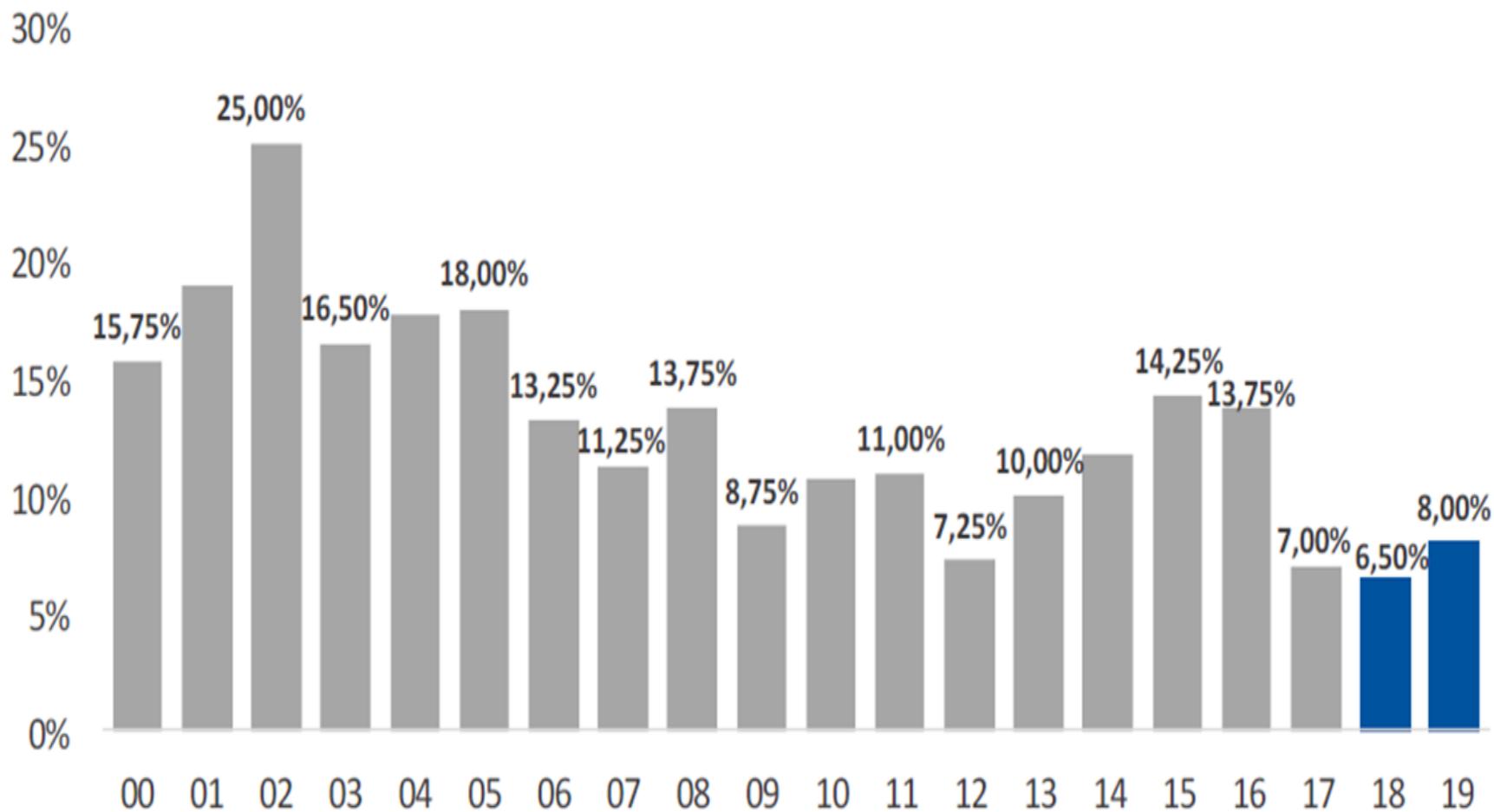
(単位: BRL/USD)



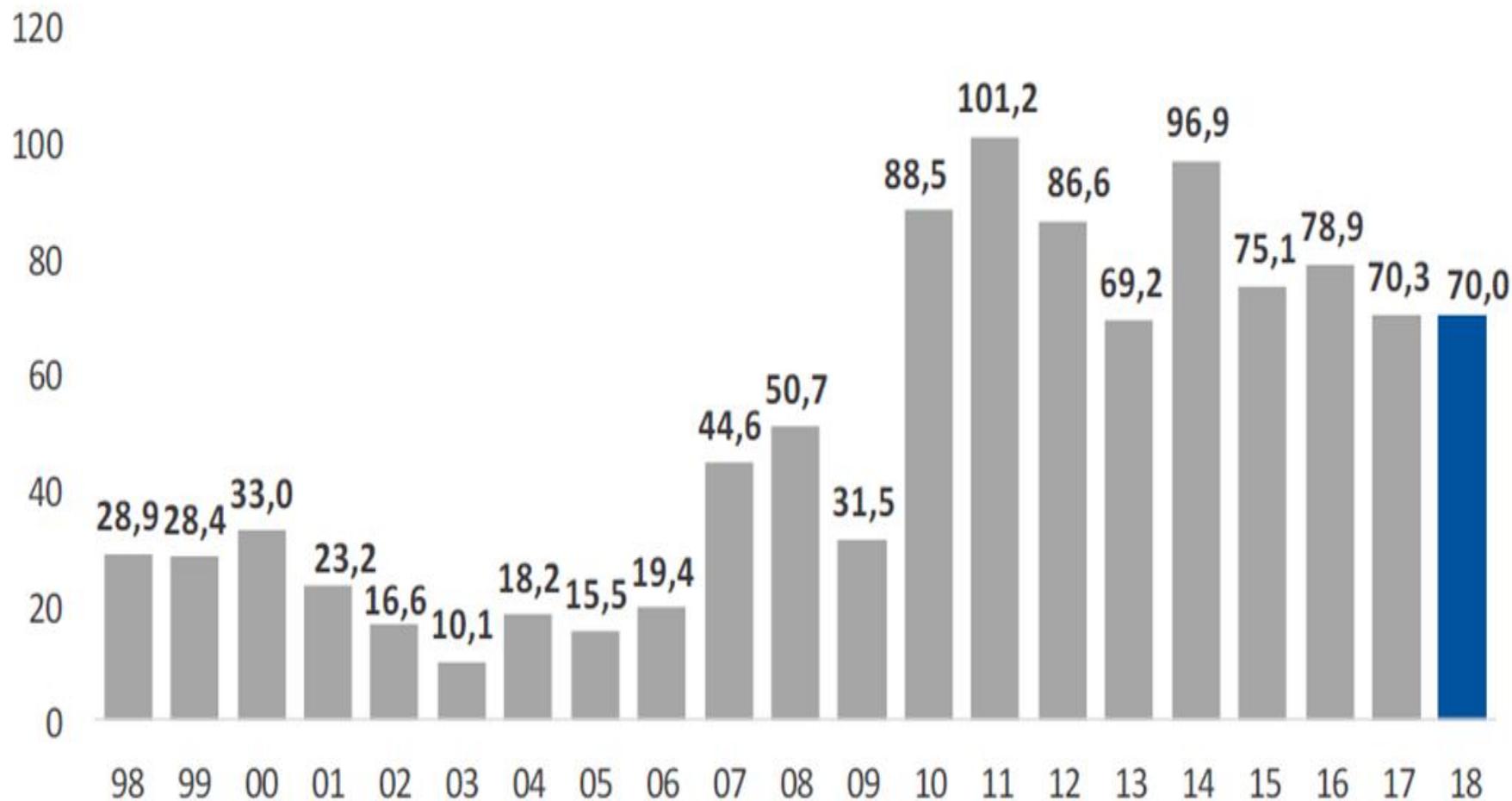
出所: 各種資料に基づき、ブラデスコ銀行が作成







(10億ドル)



出所: 各種資料に基づき、ブラデスコ銀行が作成

指標	2018年			2019年		
	Focus 予測値 2018/8/10	金融部会 予測値 レンジ (前回2018/2)	金融部会 予測値 レンジ (今回2018/8)	Focus 予測値 2018/8/10	金融部会 予測値 レンジ (前回2018/2)	金融部会 予測値 レンジ (今回2018/8)
GDP成長率 (前年比%)	1.49	2.00 ～ 3.00	1.10 ～ 1.50	2.50	2.00 ～ 3.00	2.00 ～ 2.50
インフレ率 (IPCA%)	4.15	3.90 ～ 4.40	4.00 ～ 4.11	4.10	3.90 ～ 4.40	4.20 ～ 4.25
年末為替レート (リアル/ドル)	3.70	3.20 ～ 3.50	3.60 ～ 3.95	3.70	3.20 ～ 3.50	3.60 ～ 4.00
年末政策 目標金利 (%)	6.50	6.75 ～ 7.25	6.50 ～ 6.75	8.00	6.75 ～ 7.25	7.25 ～ 8.50

大統領選を始め政局は引き続き不透明。斯かる状況下、本格的なブラジル経済回復の契機となるものは何か？（ブラジル経済へ影響を与える内的な要因）

- 継続的な改革の実行
- レアルの減価圧力低下
- 低インフレ、低金利環境の長期化
- 個人消費（家計消費）の本格回復
- 貿易、特に中国向け輸出の伸びの本格化

今後、ブラジル経済に影響を与える外的な要因があるとすれば何か。またどの様な影響か。

- グローバルな金融政策の正常化（金融緩和政策の巻き直し）
- 地政学リスクの顕在化
- 中国経済の動向

（日系企業或いは日系金融機関として）ブラジル経済はどの様に変化していくと考えられるか。また、斯かる変化へ適応する為に、どの様な準備・戦略が必要か。

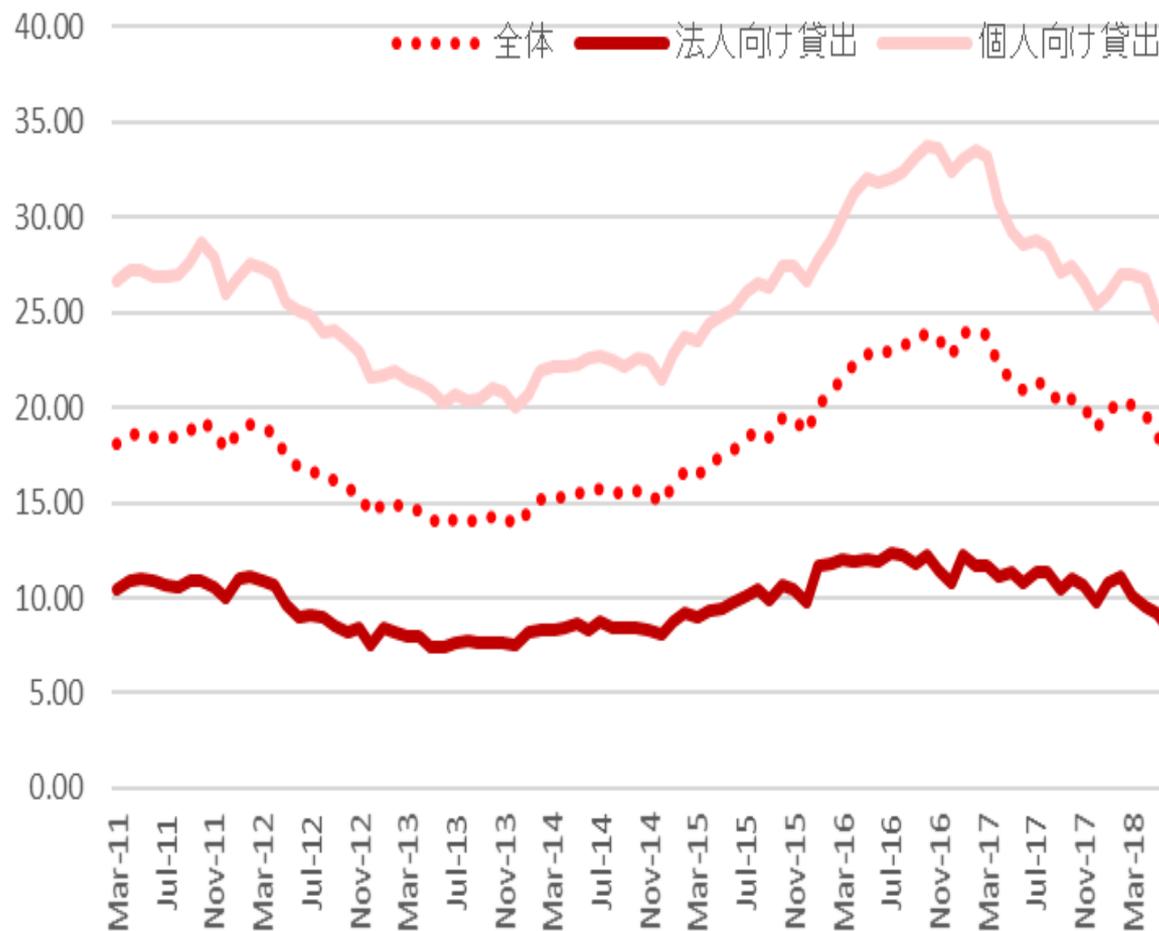
- マーケットフレンドリーな環境への各種構造改革の進展
- ものからサービスへ産業構造の転換加速

## 2. 銀行業界動向

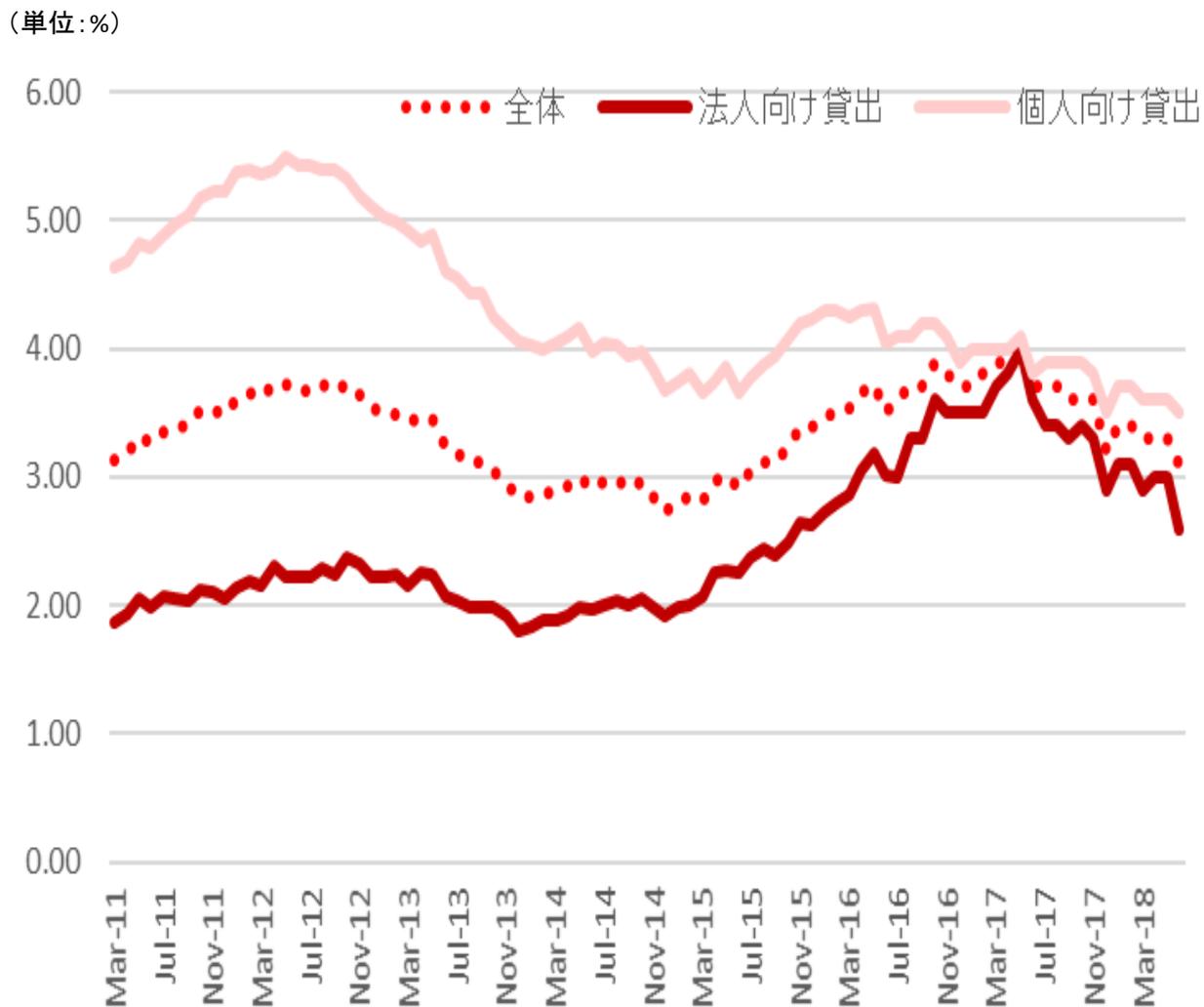
(10億レアル)	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年上期
個人向け貸出	627	776	920	1,074	1,246	1,412	1,512	1,561	1,649	1,694
(同増加率)	N. A.	23.8%	18.6%	16.7%	16.0%	13.3%	7.1%	3.2%	5.6%	2.7%
法人向け貸出	794	937	1,114	1,294	1,466	1,605	1,707	1,546	1,437	1,436
(同増加率)	N. A.	18.0%	18.9%	16.2%	13.3%	9.5%	6.4%	-9.4%	-7.1%	-0.1%
農業	N. A.	N. A.	N. A.	20	22	24	25	24	22	22
(同増加率)	N. A.	N. A.	N. A.	N. A.	10.0%	9.1%	4.2%	-4.0%	-7.3%	0.8%
鉱工業	N. A.	N. A.	N. A.	619	705	782	833	747	670	663
(同増加率)	N. A.	N. A.	N. A.	N. A.	13.9%	10.9%	6.5%	-10.3%	-10.3%	-1.0%
サービス業等	N. A.	N. A.	N. A.	655	739	799	849	775	745	721
(同増加率)	N. A.	N. A.	N. A.	N. A.	12.8%	8.1%	6.3%	-8.7%	-3.9%	-3.2%
合計	1,421	1,713	2,034	2,368	2,712	3,017	3,219	3,107	3,086	3,130
(同増加率)	N. A.	20.5%	18.7%	16.4%	14.5%	11.2%	6.7%	-3.5%	-0.7%	1.4%

出所: 各種資料に基づき、ブラデスコ銀行が作成

(単位: % P.A.)



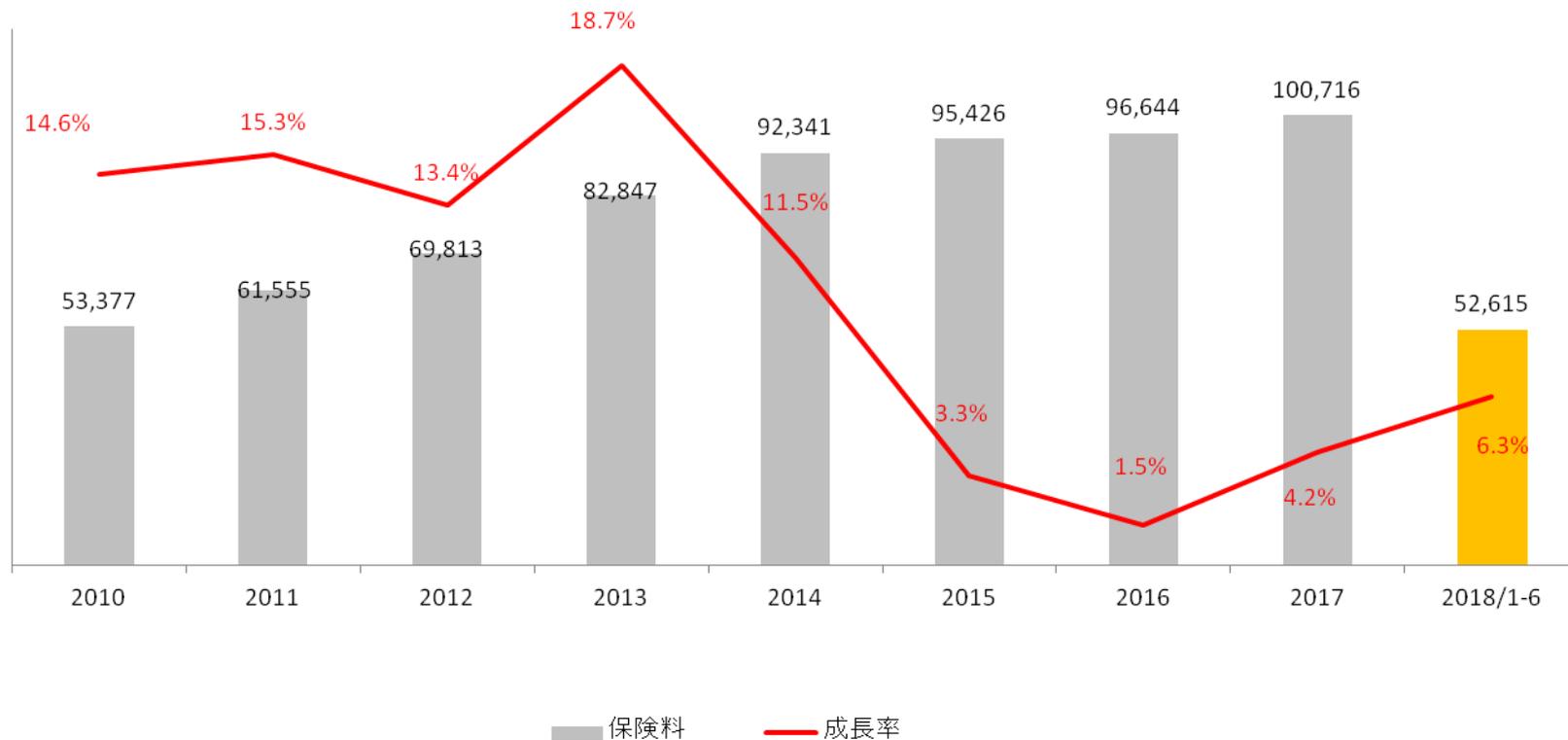
出所: 各種資料に基づき、ブラデスコ銀行が作成



出所: 各種資料に基づき、ブラデスコ銀行が作成

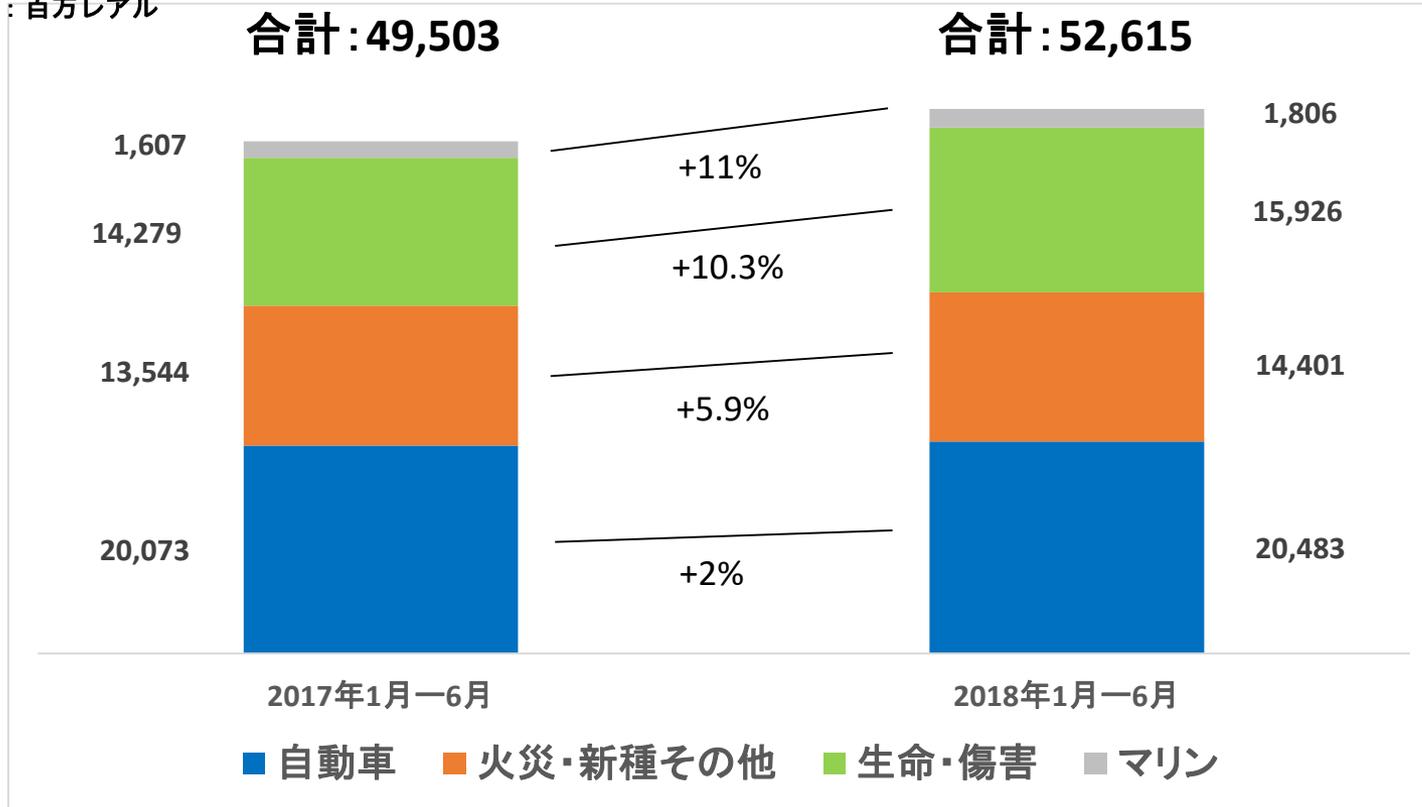
### 3. 保険業界動向

単位：百万リアル



前年同時期の成長率は、+2.7%であった。年間成長率予測より若干低いものの、インフレ率を上回る成長率を維持している。

単位：百万リアル



- ・昨年まで減少トレンドであった自動車が、増収に転じている。
- ・昨年に引き続き、生命保険分野は高い成長率を維持している。

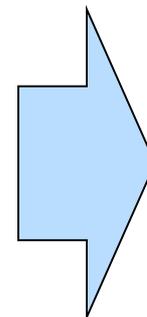
※グロス損害率

保険種目	2017年1月－6月	2018年1月－6月	前年比
自動車	29.5%	26.9%	-2.6pt.
火災・新種その他	62.2%	54.3%	-7.9pt.
生命・傷害	61.4%	57.6%	-3.8pt.
マリン	37.9%	38.6%	0.8pt.
合計	45.8%	43.0%	-2.8pt.

- ・保険料収入約6.3%増加に対し、損害保険金はほぼ現状維持(約0.2%減少)しており、損害率全体では2.8pt改善。
- ・運送及び外航保険等のマリン種目は損害率悪化傾向を維持しており、特に貨物の盗難事故は依然として多発している。

出所：SUSEP

区分	2017年成長率(結果)	2018年成長率(予測)
損害保険(自動車・火災新種)・マリン	2.3%	5.5%
生命保険・傷害保険	9.0%	10.8%
合計	4.2%	7.3%



- ・ 2017年の成長率は、生命保険分野の成長率が高く、合計で4.2%という結果であった。
- ・ 2018年の見通しでは、引き続き生命保険分野の成長率が高く、合計では前年を上回る予測。

**貿易 部会**

**猪股 淳 部会長**

**Departamento de Comércio Exterior**

**Presidente: Jun Inomata**

# 2018年上期の回顧と 下期の展望

2018年8月23日  
ブラジル日本商工会議所  
貿易部会

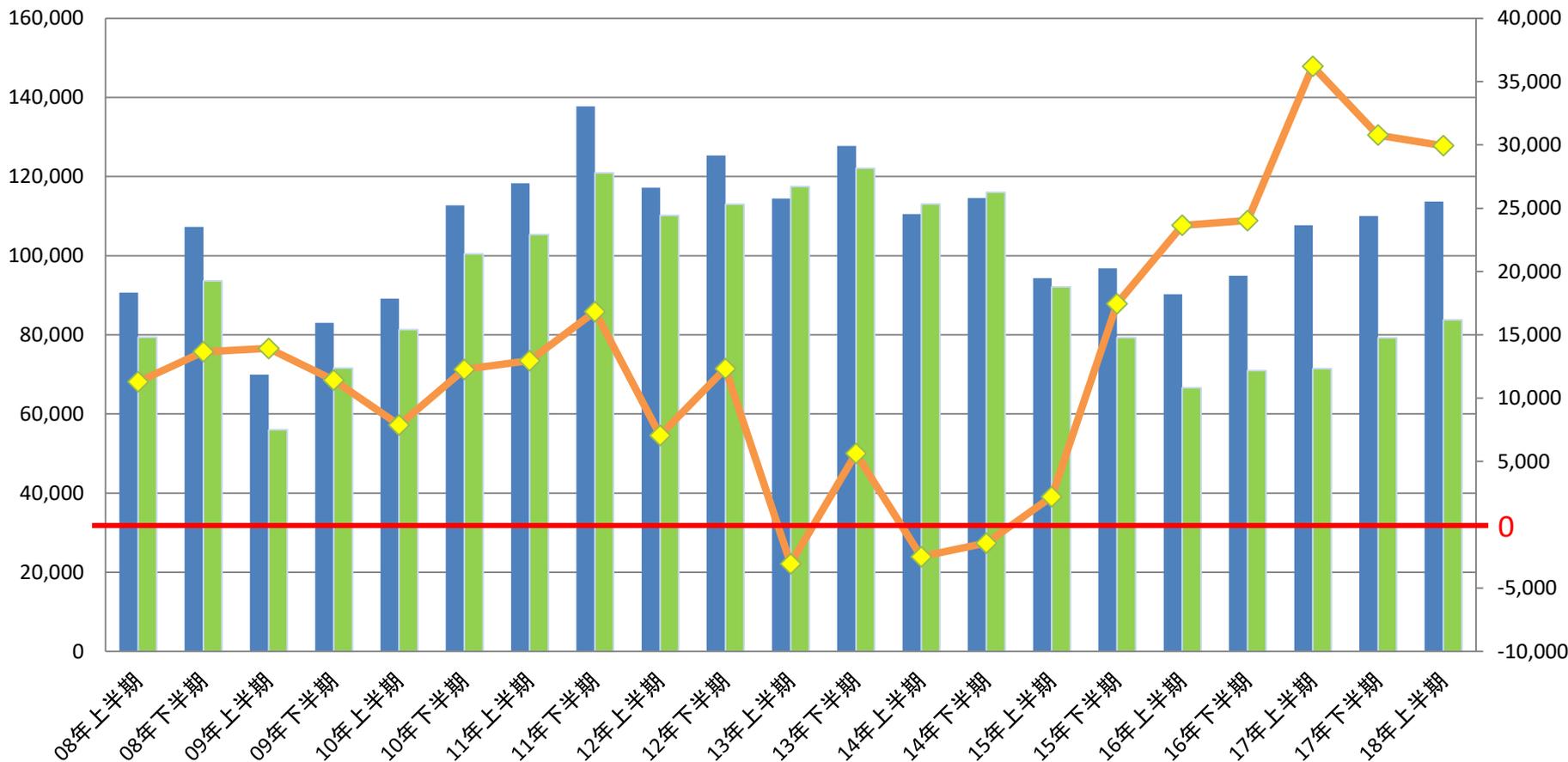
# 1. 総括

## 半期ごとの輸出入額の推移

<輸出入額>

<貿易収支>

■ 輸出額      ■ 輸入額      ◆ 貿易収支



(単位:百万ドル)

為替レート 2017年通期 R\$3.18/US\$  
(期中平均) 2018年上期 R\$3.47/US\$

<出所> 開発商工省貿易局 (SECEX)

# 2. 輸出 ～主要商品別～

金額: 単位百万ドル

数量: 単位千トン(\*乗用車のみ単位は「千台」)

	2017年上半期			2018年上半期			増減率		(参考) 2017年通期	
	金額	金額 構成比	数量	金額	金額 構成比	数量	金額 増減率	数量 増減率	金額	数量
一次産品	52,457	48.7%	282,082	54,743	48.1%	279,010	4.4%	-1.1%	101,063	578,814
大豆	16,668	15.5%	43,989	18,433	16.2%	46,274	10.6%	5.2%	25,718	68,155
原油	9,208	8.5%	28,684	10,073	8.9%	24,493	9.4%	-14.6%	16,625	51,965
鉄鉱石	10,056	9.3%	183,992	8,991	7.9%	179,989	-10.6%	-2.2%	19,199	383,537
大豆かす	2,721	2.5%	7,610	3,338	2.9%	8,571	22.7%	12.6%	4,973	14,177
半製品	15,052	14.0%	26,127	15,123	13.3%	24,351	0.5%	-6.8%	31,434	55,449
化学木材パルプ <sup>o</sup>	3,012	2.8%	7,100	4,336	3.5%	7,962	44.0%	12.1%	6,345	13,842
粗糖	4,294	4.0%	10,211	2,538	3.0%	7,974	-40.9%	-21.9%	9,042	23,331
鉄鋼半製品	1,974	1.8%	4,787	2,339	1.3%	4,434	18.5%	-7.4%	4,175	9,758
合金	1,150	1.1%	239	1,445	1.2%	244	25.7%	2.1%	2,465	509
工業製品	37,664	35.0%	25,574	41,081	36.1%	23,856	9.1%	-6.7%	80,253	52,141
乗用車	3,260	3.0%	* 301	3,035	2.4%	* 303	-6.9%	0.7%	6,670	724
航空機	1,706	1.6%	1	1,822	2.1%	2	6.8%	18.5%	4,390	2,445
掘削・探鉱プラットフォーム、浚渫船	0	0.0%	0	1,535	1.3%	91	6157897.3%	354319.8%	903	83
その他	2,537	2.4%	2,919	2,765	2.4%	2,554	9.0%	-12.5%	4,988	5,511
輸出総額	107,700	100%	336,699	113,712	100%	329,771	5.6%	-2.1%	217,739	691,915

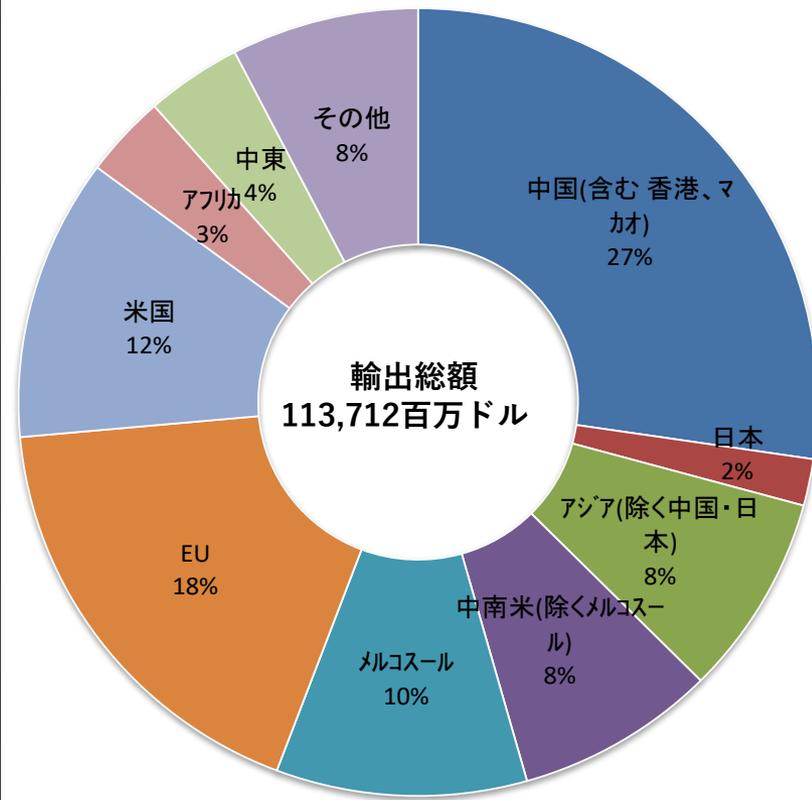
<出所> 開発商工省貿易局(SECEX)、ブラジル全国自動車製造者協会(ANFAVEA)

# 2. 輸出 ～主要国/地域別～

(単位:百万ドル)

国名	2017年 上半期	2018年上半期		増減率	(参考) 2017年 通期
		金額	構成比		
中国	26,952	29,819	26.2%	10.6%	47,488
米国	12,916	13,167	11.6%	1.9%	26,873
アルゼンチン	8,301	8,859	7.8%	6.7%	17,619
オランダ	4,689	6,277	5.5%	33.9%	9,252
チリ	2,482	2,993	2.6%	20.6%	5,031
ドイツ	2,362	2,500	2.2%	5.9%	4,911
メキシコ	2,192	2,192	1.9%	0.0%	4,514
スペイン	1,855	2,187	1.9%	17.9%	3,814
日本	2,300	2,181	1.9%	-5.2%	5,263
インド	2,398	1,868	1.6%	-22.1%	4,657
その他	41,254	41,669	36.6%	1.0%	88,316
輸出総額	107,700	113,712	100.0%	5.6%	217,739

地域別構成比率  
(2018年上期)



<出所> 開発商工省貿易局 (SECEX)

# 3. 輸入 ～主要商品別～

金額: 単位百万ドル

数量: 単位千トン

	2017年上期			2018年上期			増減率		(参考) 2017年通期	
	金額	金額 構成比	数量	金額	金額 構成比	数量	金額 増減率	数量 増減率	金額	数量
一次産品	8,059	10.5%	29,271	8,817	11.3%	29,510	9.4%	0.8%	16,126	57,848
原油	1,328	2.5%	3,397	2,090	1.9%	4,134	57.4%	21.7%	2,967	7,411
天然ガス	541	0.8%	2,994	688	0.8%	3,081	27.2%	2.9%	1,230	6,389
小麦	568	0.8%	3,086	636	0.8%	3,199	12.1%	3.6%	1,149	6,022
魚(生・冷蔵・冷凍)	586	0.6%	183	525	0.8%	150	-10.3%	-18.5%	1,081	335
半製品	3,457	4.3%	5,425	3,578	4.8%	4,696	3.5%	-13.4%	6,636	11,581
銅板	508	0.8%	87	699	0.7%	100	37.6%	14.9%	1,144	185
アルミニウム	229	0.3%	116	287	0.3%	121	25.5%	4.3%	462	223
合成ゴム	274	0.3%	126	269	0.4%	131	-1.8%	3.8%	556	257
合金	82	0.1%	45	100	0.1%	35	22.1%	-22.5%	161	81
工業製品	60,395	85.2%	38,412	71,384	84.5%	35,211	18.2%	-8.3%	127,988	78,521
送受信機	3,383	4.4%	108	3,666	4.7%	146	8.4%	34.6%	7,269	146
医薬品	3,052	4.1%	36	3,417	4.3%	34	12.0%	-5.7%	6,116	34
燃料油	2,351	3.8%	6,812	3,211	3.3%	11,114	36.6%	63.1%	5,648	11,114
自動車部品	2,515	3.8%	612	3,143	3.5%	627	25.0%	2.4%	5,450	627
輸入総額	71,490	100%	73,107	83,779	100%	69,416	17.2%	-5.0%	150,749	147,949

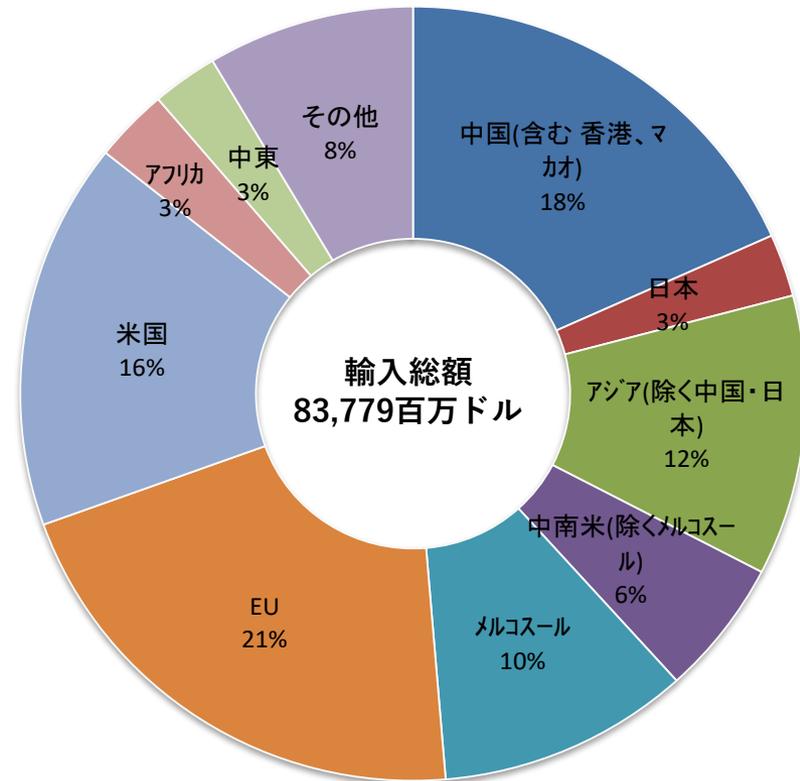
<出所> 開発商工省貿易局(SECEX)

# 3. 輸入 ～主要国/地域別～

(単位:百万ドル)

国名	2017年 上期	2018年上期		増減率	(参考) 2017年 通期
		金額	構成比		
中国	12,261	14,966	17.9%	22.1%	27,321
米国	12,503	13,562	16.2%	8.5%	24,847
ドイツ	4,358	5,244	6.3%	20.3%	9,227
アルゼンチン	4,598	5,150	6.1%	12.0%	9,435
韓国	2,628	2,887	3.4%	9.8%	5,240
ブラジル	79	2,465	2.9%	3008.4%	134
メキシコ	1,885	2,449	2.9%	30.0%	4,238
イタリア	1,830	2,321	2.8%	26.8%	3,958
日本	1,735	2,185	2.6%	26.0%	3,763
フランス	1,716	2,066	2.5%	20.4%	3,723
その他	27,896	30,485	36.4%	9.3%	58,863
輸入総額	71,490	83,779	100%	17.2%	150,749

地域別構成比率  
(2018年上期)



<出所> 開発商工省貿易局 (SECEX)

# 4. 対日貿易

## 輸出

(単位:百万ドル)

商品名	2017年 上期	2018年上期		伸び率	(参考) 2017年 通期
		金額	構成比		
鉄鉱石	740	524	24.0%	-29.2%	1,400
鶏肉	420	314	14.4%	-25.2%	907
合金	133	163	7.5%	22.2%	302
大豆	96	160	7.3%	66.9%	175
コーヒー豆	172	144	6.6%	-16.1%	323
航空機	63	123	5.6%	94.3%	190
アルミニウム	134	120	5.5%	-10.7%	287
化学木材パルプ	63	90	4.1%	42.3%	129
オレンジジュース	40	76	3.5%	88.7%	記録なし
大豆かす	8	62	2.8%	646.4%	記録なし
その他	430	405	18.6%	-5.9%	-
合計	2,300	2,181	100.0%	-5.2%	5,263

## 輸入

(単位:百万ドル)

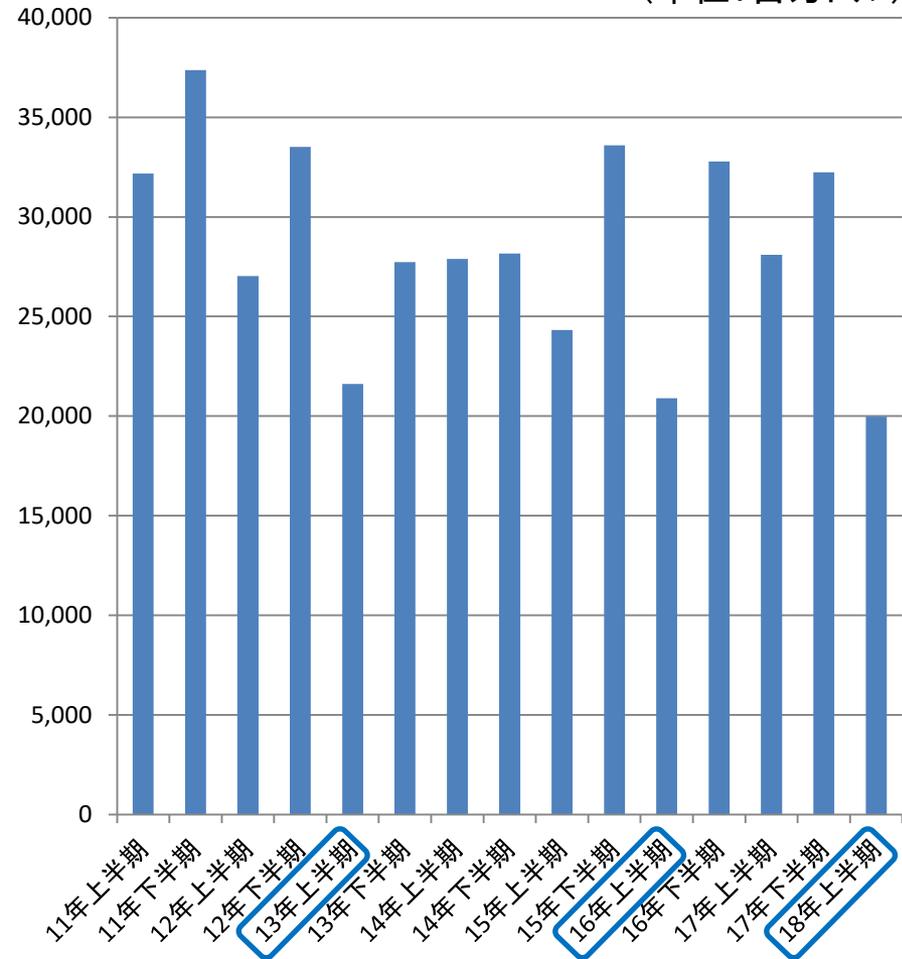
商品名	2017年 上期	2018年上期		伸び率	(参考) 2017年 通期
		金額	構成比		
その他工業製品	287	359	16.4%	25.2%	626
自動車・トラクター部品	229	351	16.1%	53.2%	536
乗用車	83	138	6.3%	66.1%	176
測定機器等	74	105	4.8%	41.4%	165
金属用マシニングセン タ・工作機械など	10	79	3.6%	698.4%	記録なし
ベアリング・歯車及び それら部品	77	79	3.6%	2.2%	155
自動車エンジン部品	68	78	3.6%	14.1%	139
複素環式化合物	42	63	2.9%	51.5%	112
半導体	53	61	2.8%	14.6%	110
医療機器	34	42	1.9%	23.0%	記録なし
その他	778	831	38.0%	6.9%	-
合計	1,735	2,185	100%	26.0%	3,566

<出所> 開発商工省貿易局(SECEX)

# 5. 対内直接投資 ～推移・国別～

## 対内直接投資推移

(単位:百万ドル)



<出所> ブラジル中央銀行

## 国別対内直接投資

順位	国	2017年 上期	2018年上期		伸び率	(参考) 2017年 通期
		金額	金額	構成比		
1	オランダ	4,698	3,869	19.4%	-17.6%	10,894
2	米国	7,952	1,986	9.9%	-75.0%	11,078
3	スペイン	1,196	1,742	8.7%	45.7%	2,309
4	ルクセンブルク	1,888	1,313	6.6%	-30.5%	4,305
5	チリ	795	899	4.5%	13.1%	1,620
6	フランス	1,449	630	3.2%	-56.5%	3,168
7	カナダ	171	591	3.0%	245.5%	303
8	日本	339	562	2.8%	65.8%	537
9	英国	587	426	2.1%	-27.4%	1,171
10	スイス	653	369	1.8%	-43.5%	1,288
	その他	8,372	7,592	38.0%	-9.3%	34,564
	合計	28,100	19,978	100%	-28.9%	60,345

# 5. 対内直接投資～主要業種別～

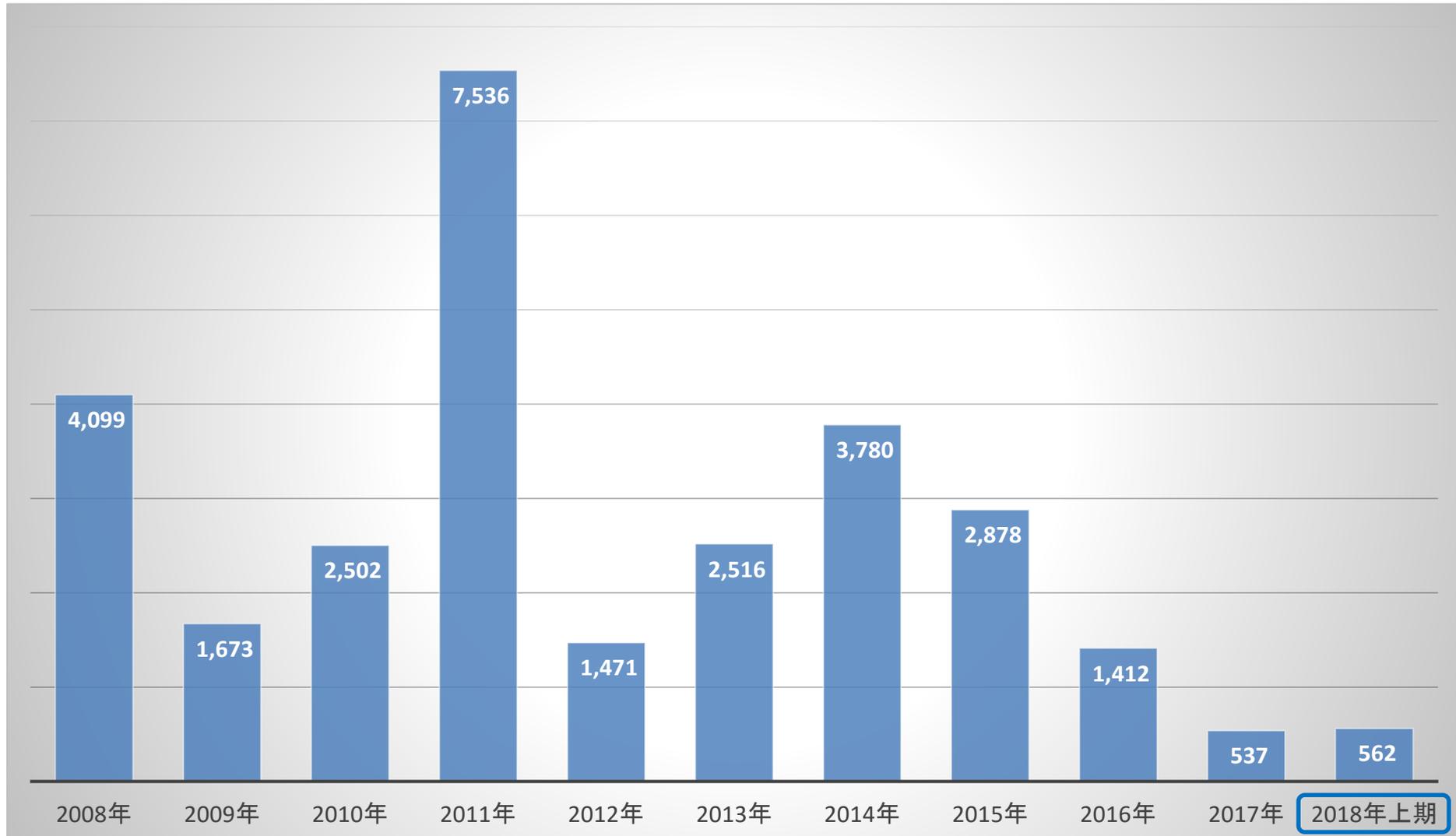
(単位:百万ドル)

	2017年上期		2018年上期		伸び率	(参考) 2017年 通期
	金額	構成比	金額	構成比		
一次産品（農業・畜産・鉱業）	1,458	5.2%	3,290	16.5%	125.7%	5,862
石油・天然ガス採掘	684	2.4%	2,050	10.3%	199.7%	3,738
金属鉱物採掘業	340	1.2%	576	2.9%	69.4%	961
その他	434	1.5%	664	3.3%	53.0%	1,163
<b>工業</b>	<b>7,480</b>	<b>26.6%</b>	<b>6,529</b>	<b>32.7%</b>	<b>-12.7%</b>	<b>18,634</b>
化学木材パルプ、紙、紙製品	407	1.4%	1,164	5.8%	186.0%	593
自動車・トレーラー・車体	1,642	5.8%	1,088	5.4%	-33.7%	3,952
化学製品	1,467	5.2%	827	4.1%	-43.6%	3,141
基礎冶金業（製鉄業を含む）	905	3.2%	780	3.9%	-13.8%	3,214
非金属鉱物製品	231	0.8%	481	2.4%	108.2%	570
その他	2,828	10.1%	2,189	11.0%	-22.6%	7,164
<b>サービス業</b>	<b>19,079</b>	<b>67.9%</b>	<b>10,077</b>	<b>50.4%</b>	<b>-47.2%</b>	<b>35,657</b>
金融・同補助サービス	542	1.9%	2,275	11.4%	319.7%	1,606
商業（自動車除く）	3,191	11.4%	1,477	7.4%	-53.7%	5,503
倉庫・運送補助業	328	1.2%	1,227	6.1%	274.1%	2,472
電気・ガス	6,042	21.5%	1,132	5.7%	-81.3%	12,588
運送業	3,922	14.0%	666	3.3%	-83.0%	4,219
その他	5,054	18.0%	3,300	16.5%	-34.7%	9,269
<b>合計</b>	<b>28,100</b>	<b>100.0%</b>	<b>19,978</b>	<b>100.0%</b>	<b>-28.9%</b>	<b>60,345</b>

<出所>ブラジル中央銀行

# 5. 対内直接投資 ～日本・推移～

(単位：百万ドル)



< 出所 > ブラジル中央銀行

# 6. 2018年度 下期の展望

足下は不透明感が取り巻く環境ではあるが、現在のような経済状況が続いていくと考える

- 18年5月全国規模のトラック・ストライキの影響により、成長率見通しが下方修正（7月末ブラジル中銀発表GDP成長率予測18年+1.5%、19年・20年ともに+2.5%）
- 為替については、米国の金利政策の影響を受けた現在の対USDレート水準が続くと予想

# 7. 不透明感の背景

- ブラジル大統領選挙後の動向  
誰が大統領になり、どのような政策を目指し、国会の支持を得られるか  
痛みの伴う財政再建策を、いつ頃、どのような形で進められるか
- 米中貿易戦争の動向とその影響

# 8. まとめ

## 「大統領選挙を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は」

### 準備

- 為替リスクのミニマイズ(ドル建て仕入れから、レアル建て仕入れへの転換)
- ブラジルを含むメルコスール域内での事業の可能性を探る
- グループ等の社内外のリソースを活用、可能性の高い事業への絞込みを加速

### 戦略

- 日本企業の強みである高機能や付加価値商品の市場開拓を進める
- 製造はブラジル国内に拘らず、より競争力のあるメルコスール域内での可能性も探る。
- 製造・販売両面での有力な地場パートナーの開拓と関係構築

**機械金属 部会**

**植田 真五 部会長**

**Departamento de Metalmeccânica**

**Presidente: Shingo Ueda**

# 「2018年上期の回顧と下期の展望」

～大統領選を直前に控えて - 変化の時期への準備と戦略は～

**機械金属部会**

植田 真五

2018年8月23日

# 目 次

## 1. マクロ指標関連

## 2. セグメント別状況

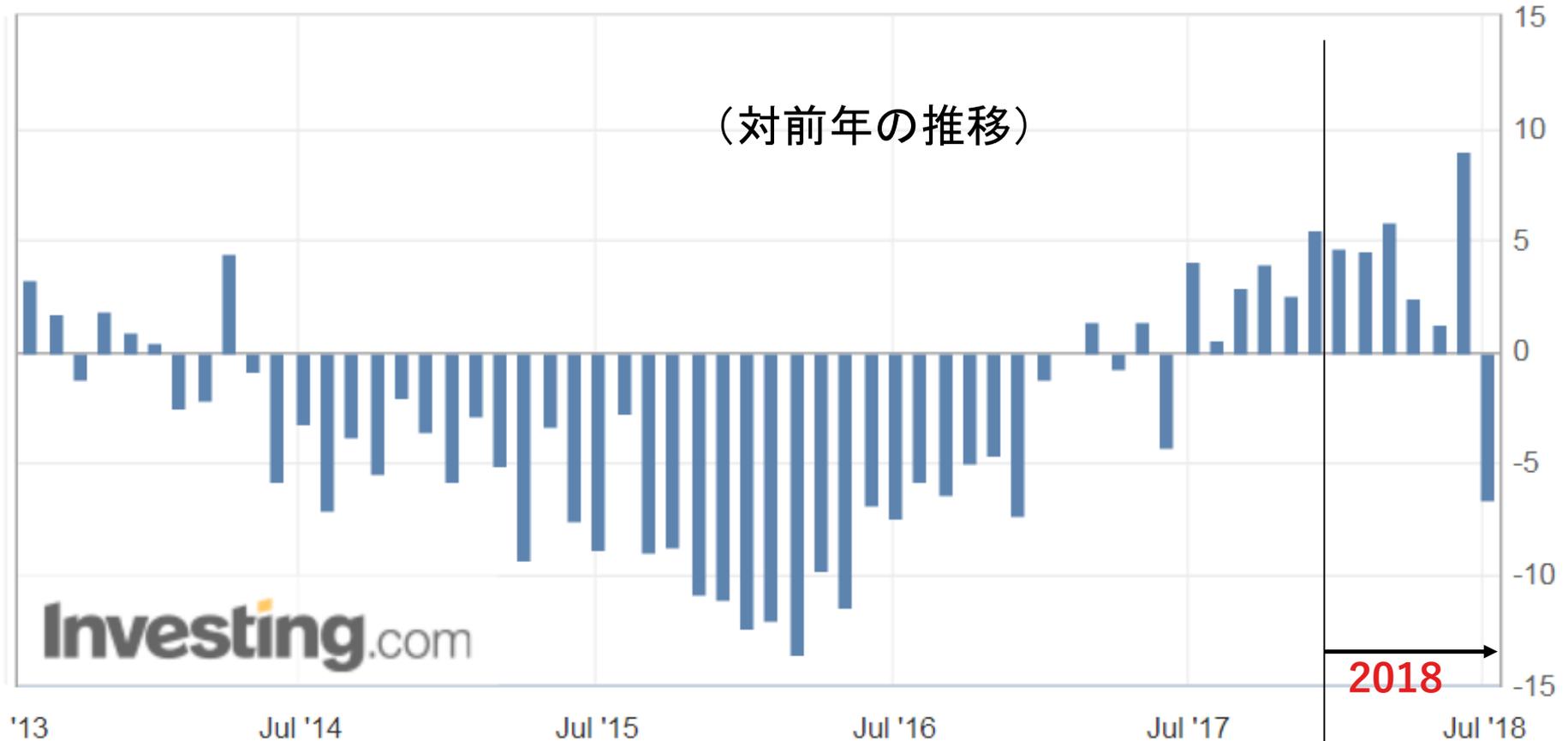
- (1) 鉄鋼
- (2) 電力
- (3) 建設機械
- (4) 自動車その他の産業関連
- (5) オイル&ガス、紙パルプ
- (6) 業務用空調

## 3. 副題 大統領選を直前に控えて － 変化の時期への準備と戦略は －

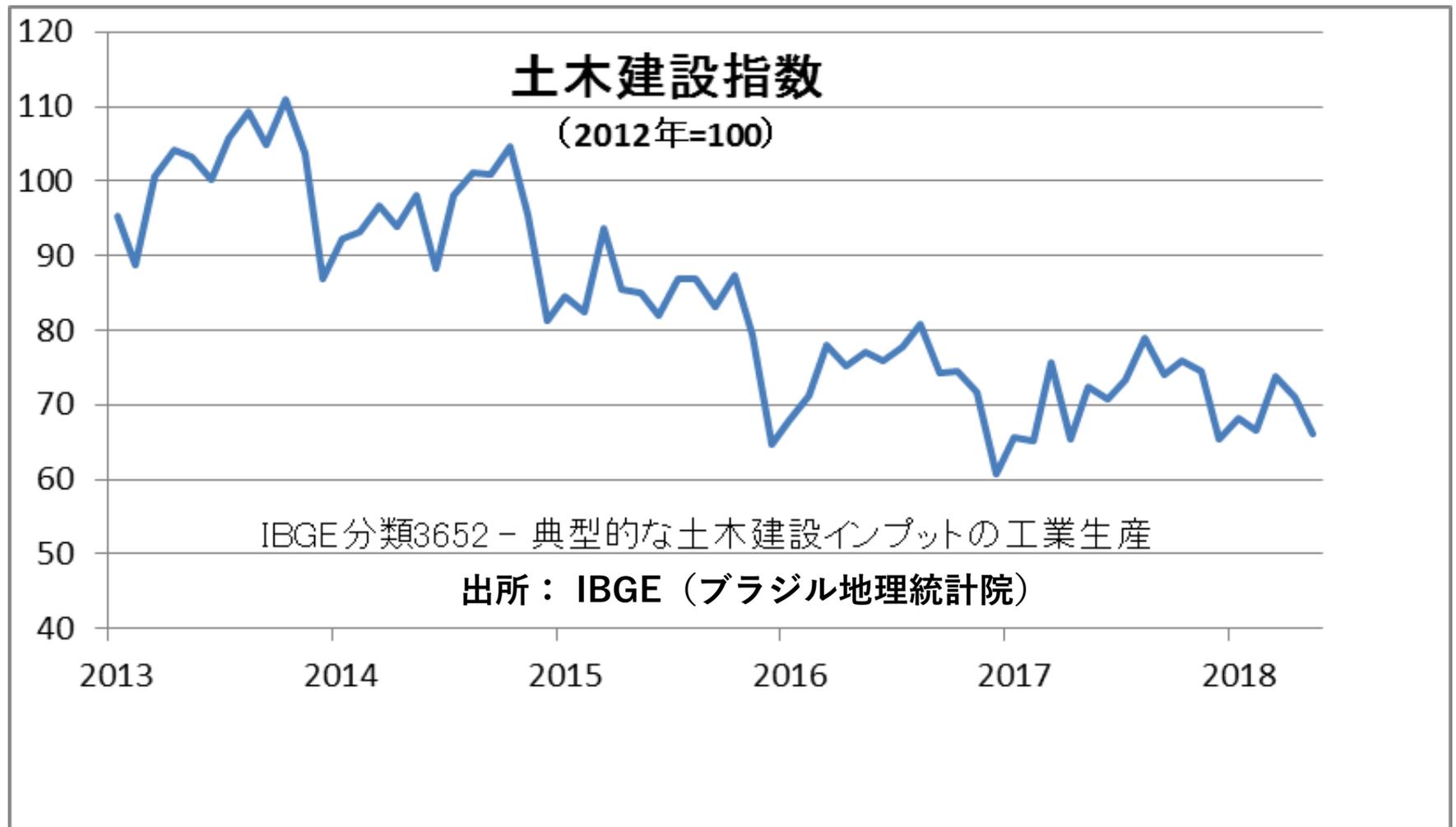
# 1. マクロ指標(1)

## ブラジル鉱工業生産

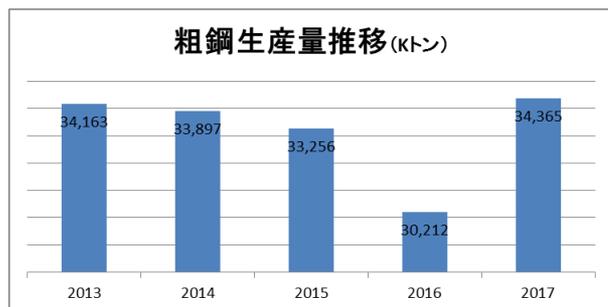
出所：IBGE（ブラジル地理統計院）



# 1. マクロ指標 (2)



## 2. セグメント別状況(1) 鉄鋼



2018年1-5月実績 数量: 千トン、前年同期比、ブラジル鉄鋼協会 (IABr)

	生産		国内販売		輸出	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
粗鋼	14,272	*1.4%	7,058	7.7%	5,430	-11.0%
圧延鋼板	5,977	7.9%	4,181	9.0%	1,030	-17.1%
形鋼	3,789	5.9%	2,777	6.9%	769	13.4%
スラブ	3,443	-0.3%	33	-38.9%	3,387	-16.7%
他	460	2.7%	67	4.7%		
	*4月までは対前年比+4.1%			輸入	1,033	1.0%

### 《上期の回顧》

1. 生産 2017年に引き続き対前年比で増加するも、5月のトラック運転手ストの影響により減速
2. 国内販売 自動車業界の牽引により増加傾向にあるが、建設業界等、依然として需要が低迷している業界もあり、盛上りに欠ける。
3. 輸出 対前年比で減少傾向。
4. 輸入 国内景気回復もあり、若干増加傾向。

### 《下期の展望》

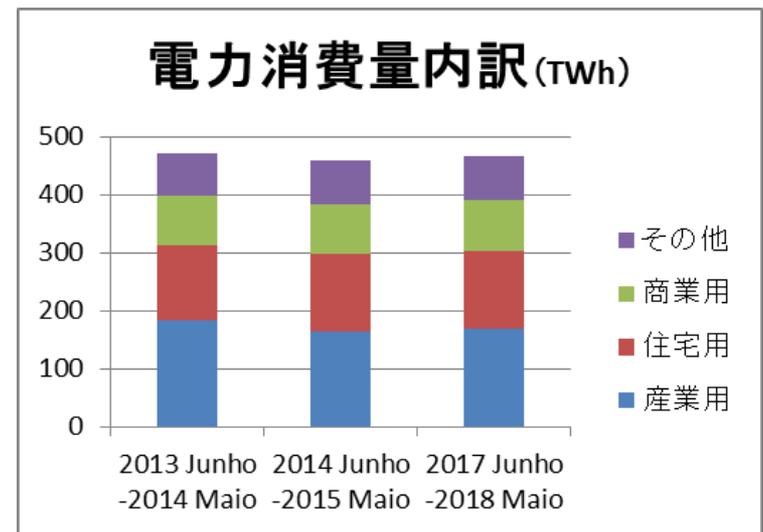
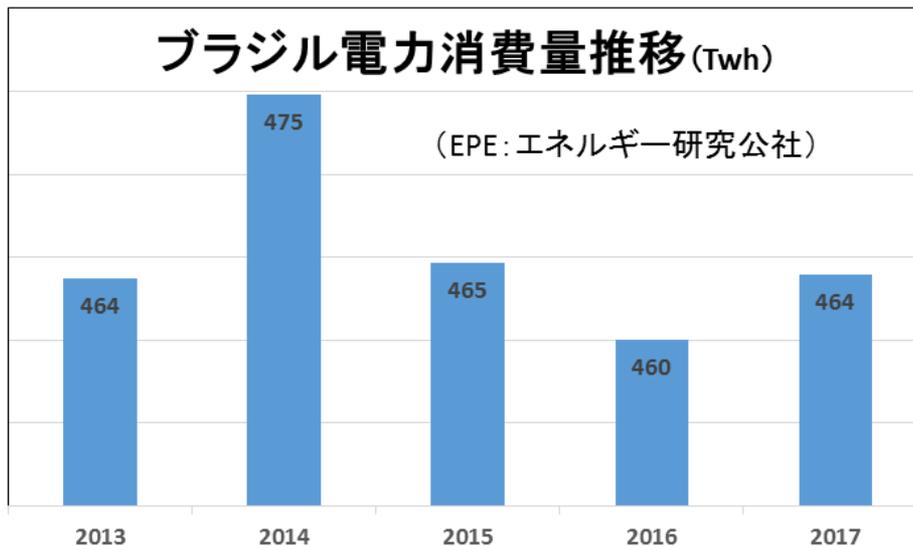
次の事情から不透明な状況が継続しており、今後の動向を注視する必要がある。

1. 5月下旬～6月上旬に行われたトラック運転手ストの影響に伴う景気停滞
2. 大統領選挙
3. アルゼンチン通貨安に伴う自動車等の輸出販売への影響
4. 米国の保護貿易措置等

2018/8/18

機械金属部会

## 2. セグメント別状況(2) 電力



### 《上期の回顧》

1. ブラジル電力消費は、2017年に前年を上回り、本年5月までの一年間の消費量も、特に産業用の増加により、前年同期を上回っている。
2. 5月前年同月比では、トラックストの影響に関わらず対前年同期比で2.9%増加。

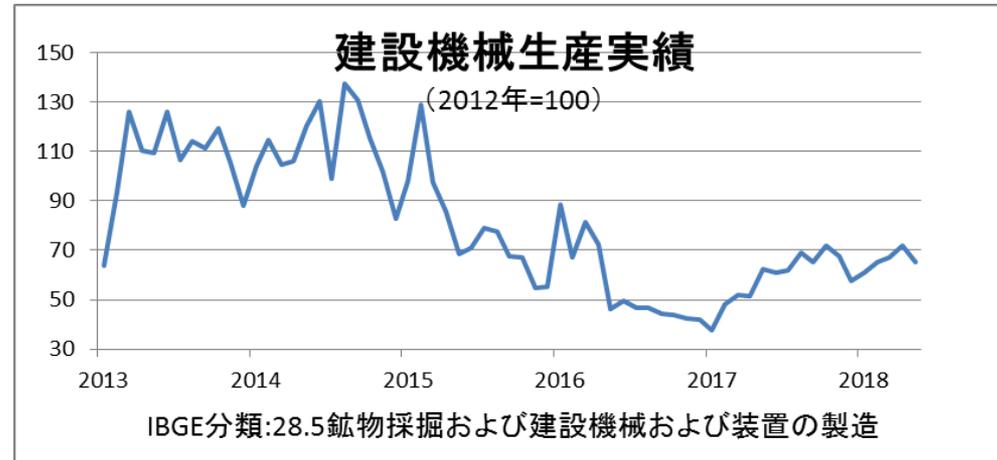
(自動車：+13.4%、化学：+5.4%、プラスチック：+3.8%、金属：+3.4%)

### 《下期の展望》

1. エレクトロブラスの民営化延期等、電力設備投資を巡る動向は不透明であり、引き続き、状況を注視する必要がある。

2018/8/28 2. 当部会関連企業が関係するバイオマス関連の新規案件の動きは低調。

## 2. セグメント別状況(3) 建設機械



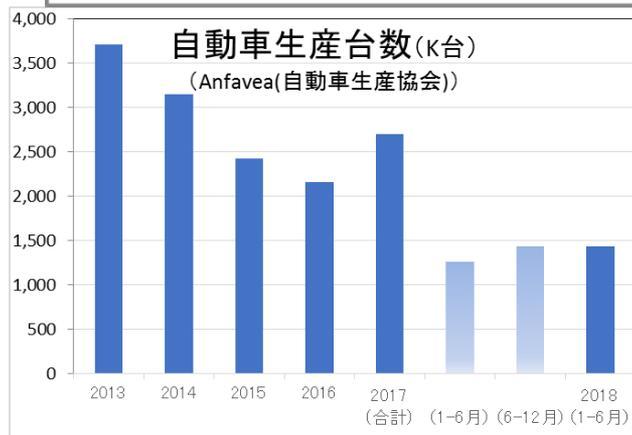
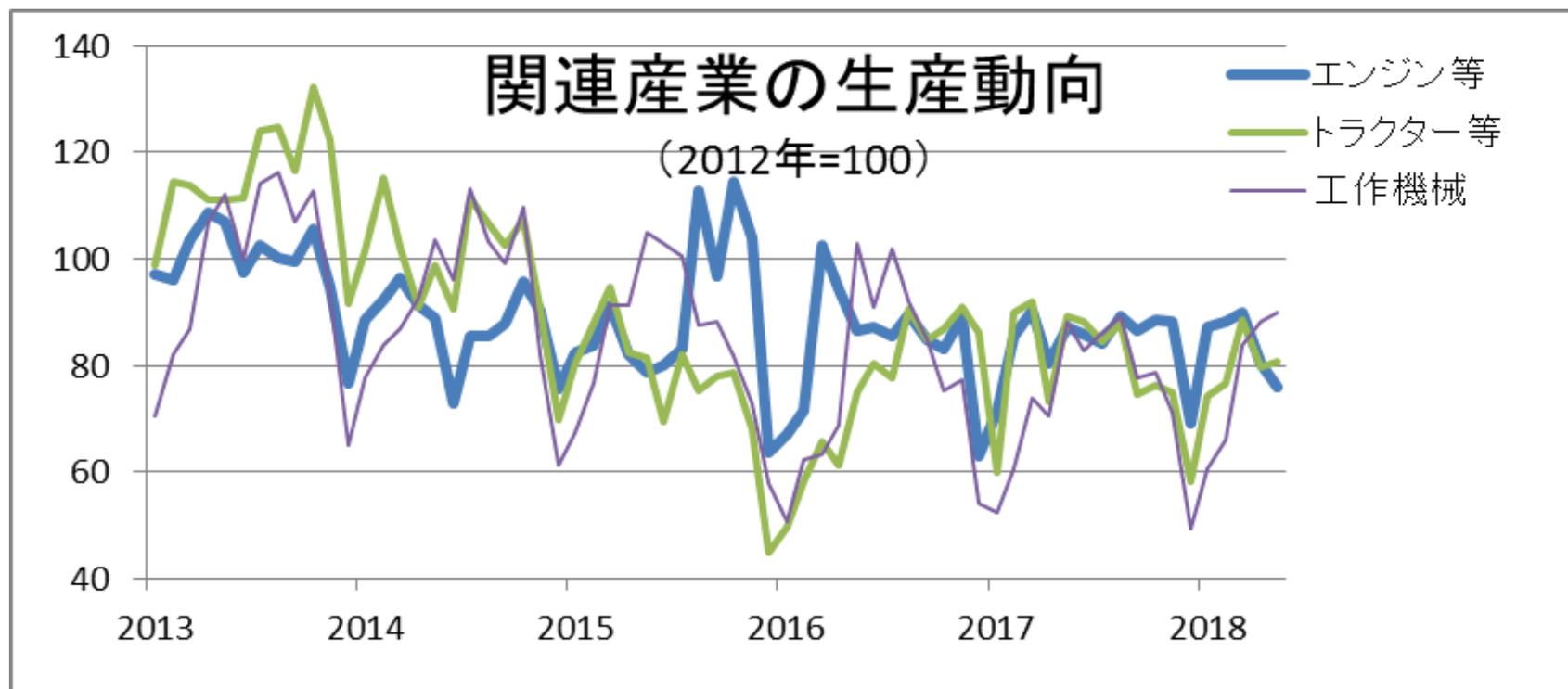
### 《上期の回顧》

1. 建設機械の需要は、2017年まで落ち込んでいたのに対し、2018年1-5月の需要は、製品により異なるものの、対前年比で+20-30%又はそれ以上の増加。
2. 輸出についても、米国向けなどがアルゼンチン向けの減少を補い、ほぼ同様の傾向。

### 《下期の展望》

1. 2018年上半期は10月の選挙を視野に入れて官公需が増加していたものが、下期は減少に転じること、不透明な政治情勢が経済界の投資心理にも影響を及ぼしていることから、上半期の勢いが継続するかどうか、慎重に見極める必要がある。
2. 輸出についても、米国の保護貿易措置やアルゼンチン経済の影響を注視する必要がある。

## 2. セグメント別状況(4) 自動車その他の産業関連(1)



28.1 エンジン、ポンプ、コンプレッサー、トランスミッション機器の製造  
 28.3 農業および家畜用トラクターおよび機械装置の製造  
 28.4 工作機械の製造 以上いずれもIBGE分類

## 2. セグメント別状況(4) 自動車その他の産業関連(2)

### 《切削工具》

1. 主力ユーザーである自動車の生産は、前年比では回復しつつあるが、トラック運転手ストの影響や大統領選を控えた時期等の事情から、先行きは不透明。
2. 農業機械、金型分野は比較的堅調に推移。
3. 以上の状況の中、切削工具の需要は上期に引き続き、下期も回復傾向が続くと予想される。

### 《ベアリング》

自動車生産の状況と連動し、需要は横ばい又は回復傾向。  
下期は、レアル安、大統領選の動向が定まらない等の事情から、2017年と比べ、微増の見通し。

### 《金属加工油剤、潤滑油》

自動車生産に連動して比較的堅調に推移しているが、伸び率は鈍化傾向。

課題は、レアル安・原油高に伴う輸入原料価格の急上昇。

## 2. セグメント別状況(4) 自動車その他の産業関連(3)

### 《小型ディーゼルエンジン》

1. 市場全体としては、上期・下期ともに落ち込み傾向。
2. 日本製多気筒エンジンは、堅調な見通し。

### 《トラクター》

1. 2017年に需要が回復したが、2018年に入り、再び落ち込んでいる。
2. 下期についても、大統領選の不透明感が農業者の投資心理にも影響していると見込まれる。

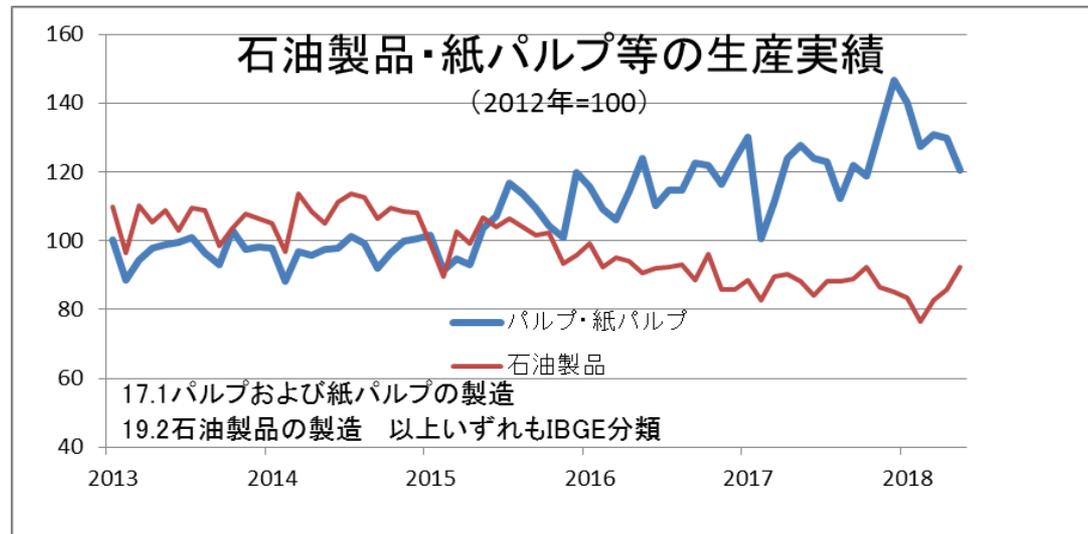
### 《ポンプ》

景気回復傾向が見られるが、トラック運転手ストやワールドカップの影響により、全般的に足踏み状態。

### 《プラント向け制御機器等》

1. 2017年におけるGDPプラス成長、原油高、パルプ需要増等に伴い、石油・石油化学・紙パルプ・鉄鋼等の業種で現状設備の更新投資意欲の回復傾向が見られた。
2. しかしながら、投資意思決定には時間を要する見込みであり、引き続き、動向を注視する。

## 2. セグメント別状況(5) オイル&ガス・紙パルプ



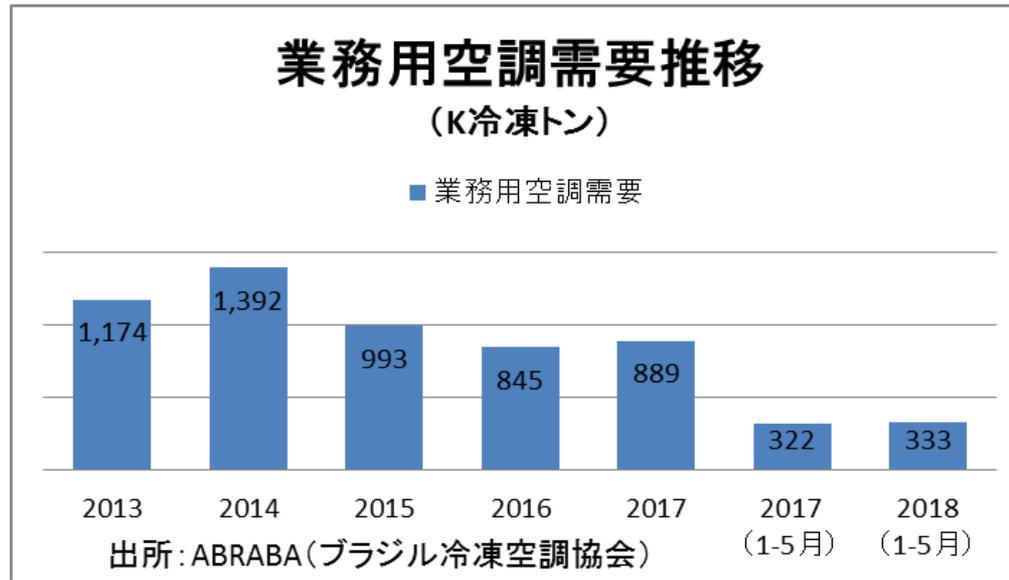
### 《オイル・ガスマーケット》

1. 引き続き原油価格が上昇（2018年1月：60ドル付近→7月時点：70ドル近辺）
2. また、ペトロブラスの投資計画もあり、オイル・ガスマーケットは上流（ガス生産、ガス処理設備）のプロジェクトが活性化。
3. ただし、大統領選を控えて大型の投資は先送りの傾向が見られる。
4. 一方、下流の石油化学は、投資縮小傾向。日本からの機器輸入は当分先になる見込み。

### 《紙パルプ》

1. 需要は拡大傾向にあるが、トラック運転手ストの影響もあり、直近では生産減少傾向にある。
2. 紙パルプ大手が中規模プラントの計画を発表しており、これに期待したい。

## 2. セグメント別状況(6) 業務用空調



1. 2017年下期からの需要回復傾向が空調需要期である2018年最初も続いたが、その後需要期終了と経済回復の鈍化もあり、上期では対前年比103%となった。
2. 10月の選挙結果や季候にもよるが、11月以降の需要期に商工業の起伏期待も含め5~10%の伸びを予想。

### 3. 副題について

#### 大統領選を直前に控えて - 変化の時期への準備と戦略は

1. 各種指標に見られるように、数年間のトレンドの中では景気回復は確かなようであるが、一方で不透明感は拭えない。
2. しかしながら、為替レートの変動を含め、ブラジルの政治・経済には変動と先行き不透明感につきものであり、一喜一憂するのは得策ではない。
3. 会員企業各関係先との長期的・継続的な信頼関係の構築が不可欠。
4. 日・メルコスールEPA協定締結等を通じ、ブラジルの製造業に貢献するという視点も不可欠ではないか。

---

ご清聴ありがとうございました。

Obrigado!

**自動車 部会**

**下村 セルソ 部会長**

**Departamento Automotivo**

**Presidente: Celso Shimomura**

# ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム

2018年8月23日

## < 2018年上期の回顧と下期の展望 >

大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は～

### ➤ 四輪業界動向

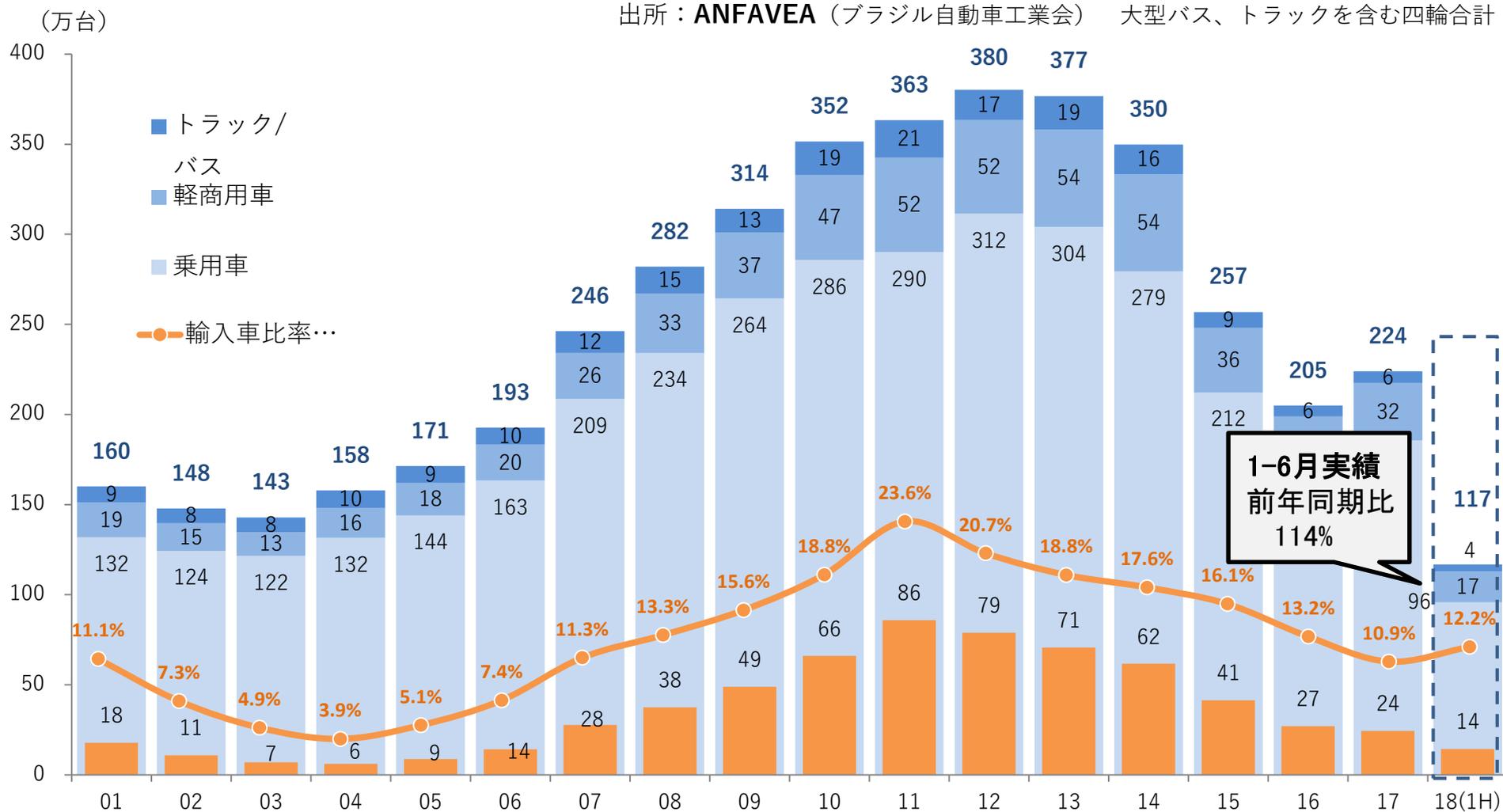
1. 2018年 上期 振り返り
2.     〃       下期 展望
3. 長期展望
4. 変化の時期への日系ブランドの対応
5. 総括

### ➤ 二輪業界動向

## 四輪業界動向

1. 2018年 上期 振り返り
2. 2018年 下期 展望
3. 長期展望
4. 変化の時期への日系ブランドの対応
5. 総括

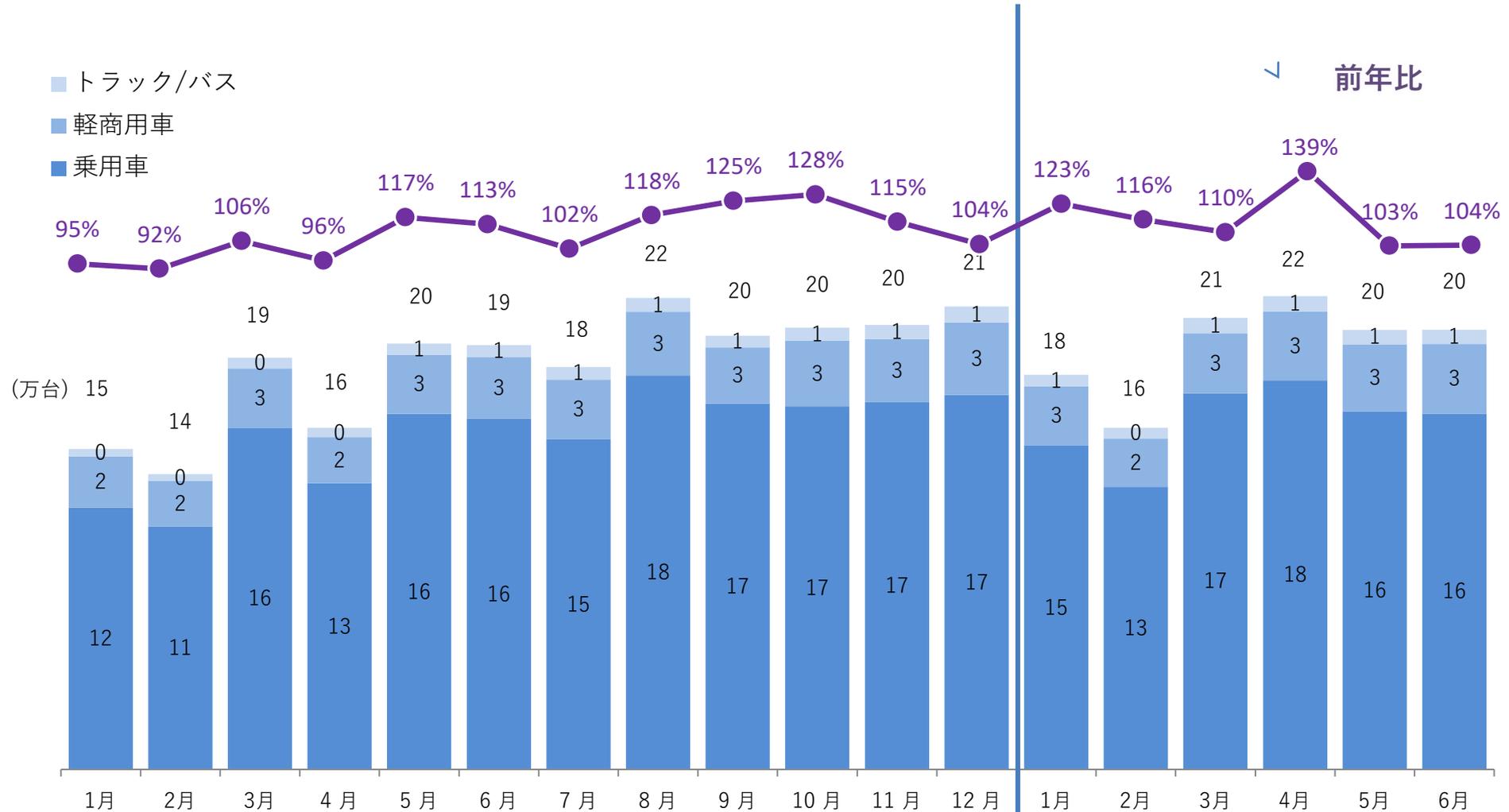
# 1. 2018年上期 振り返り – 販売台数 推移



- 18年上期の四輪総市場は約117万台（前年同期比約114%）と、2年連続で前年同期越え
- 輸入車比率は12.3%と市場の伸びと輸入車制限の解除により、7年ぶりに上昇に転じる

## 1. 2018年上期 振り返り ー 月別販売台数 推移

出典：ANFAVEA 大型バス、トラックを含む四輪合計



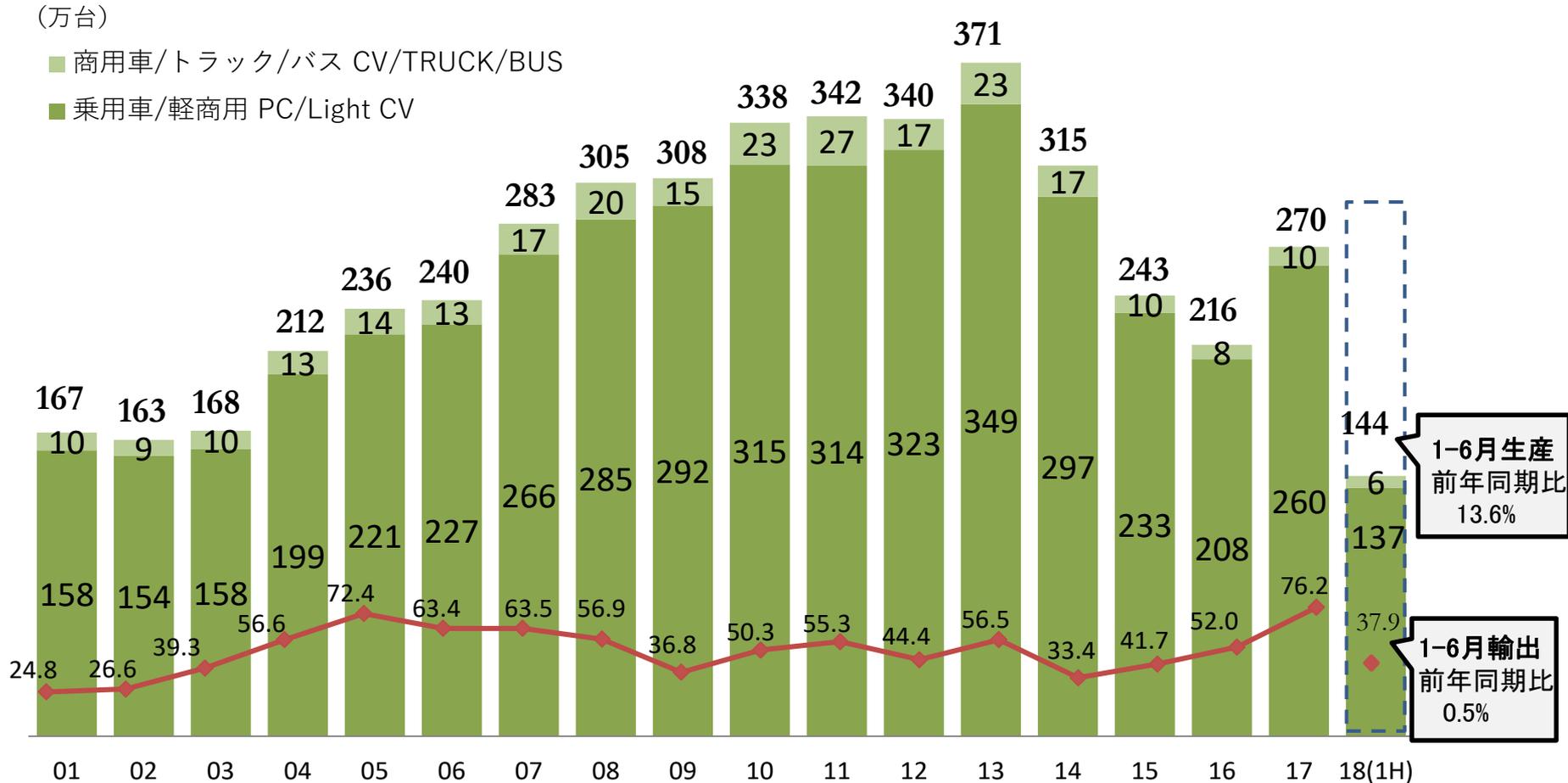
2017年

2018年

- 1-4月は前年同期比121%増
- 5-6月はトラックストの影響から前年同期比約103%増程度(趨勢 -約5万台)

# 1. 2018年上期 振り返り – 生産・輸出台数 推移

出所：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

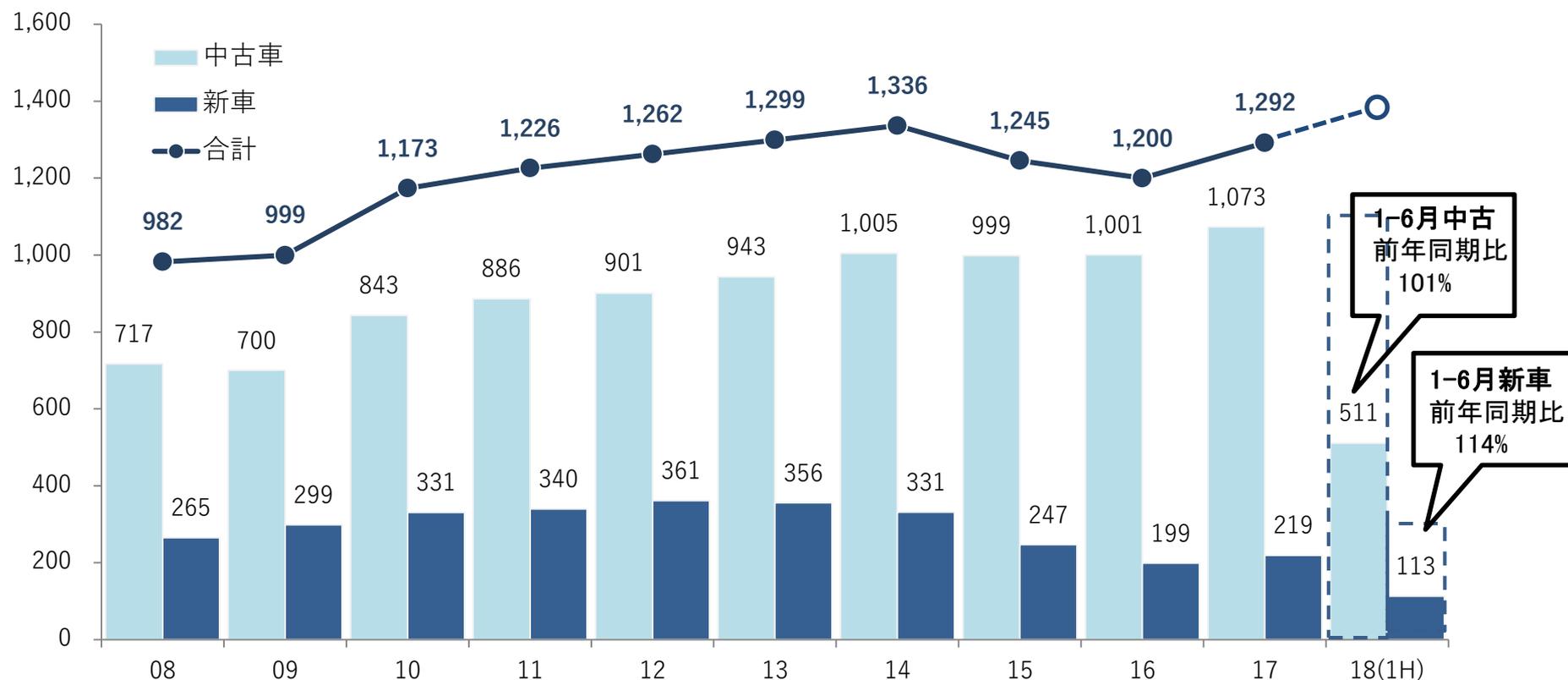


- 18年上期の総生産台数は143.5万台(前年同期比:114%)
- 輸出台数は上半期では過去最高の輸出台数を記録(37.9万台)

## 1. 2018年上期 振り返り – 自動車業界(中古・新車)

出典：FENABRAVE/ ANFAVEA  
 ※乗用車/軽商用車のみ

(万台)



➤ 中古車市場も新車市場同様前年超え。トータルで1,300万台規模の見込み。

## 1. 2018年上期 振り返り – ブランド別シェア

単位：千台、トラック・バス除

'13	台数	シェア
1 	757	21.3%
2 	666	18.7%
3 	650	18.3%
4 	333	9.4%
5 	232	6.5%
6 	213	6.0%
7 	176	4.9%
8 	139	3.9%
9 	78	2.2%
10 <b>Jeep</b>		%



'17	台数	シェア
1 	394	18.0%
2 	291	13.3%
3 	287	13.1%
4 	215	9.8%
5 	201	9.2%
6 	190	8.7%
7 	167	7.6%
8 	131	6.0%
9 <b>Jeep</b>	88	3.9%
10 	79	3.6%



'18(1H)	台数	シェア
1 	190	16.3%
2 	178	15.2%
3 	146	12.5%
4 	111	9.5%
5 	97	8.3%
6 	94	8.0%
7 	91	7.8%
8 	65	5.5%
9 <b>Jeep</b>	52	4.4%
10 	47	4.0%

- Fiat, GMがシェアを下げる一方で、VWが2%以上シェア伸長。ルノー, JEEPも前年比プラス。
- 日系ブランドは、トヨタ、ホンダが販売台数横ばいも、シェア減。日産はプラス。

## 四輪業界動向

1. 2018年 上期 振り返り
2. 2018年 下期 展望
3. 長期展望
4. 変化の時期への日系ブランドの対応
5. 総括

## 2. 2018年下期展望 — 自動車業界

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

### ◆ ブラジル市場・輸出・生産の2018年予測

単位：万台

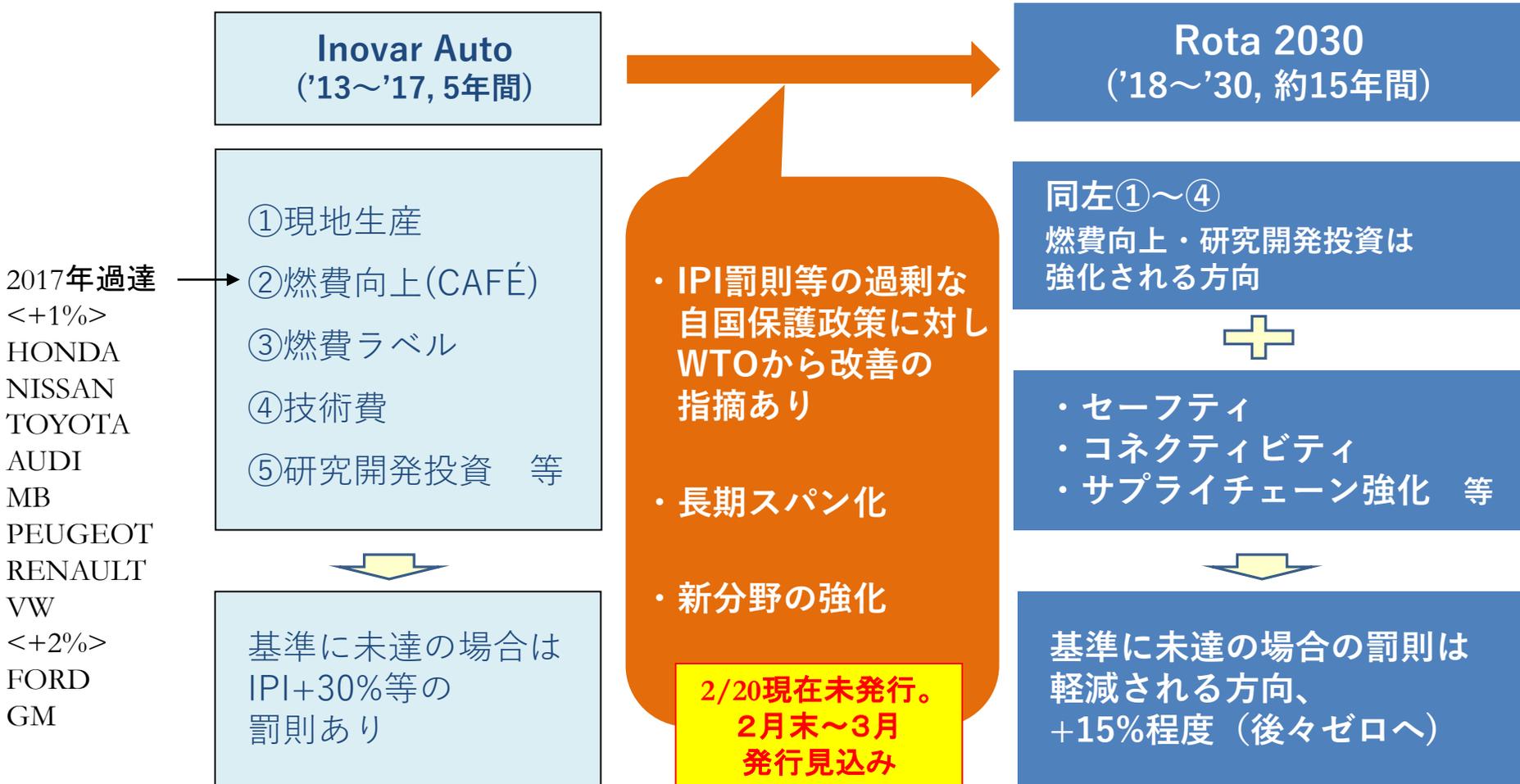
	2017年 最終結果	2018年 年初予測		2018年 中間修正予測	
		ANFAVEA (1月発表)	自動車部会	ANFAVEA (6月発表)	自動車部会
国内市場	トラック・バス 含む総合計	224 前年比：+9%	250 前年比：+12%	250 前年比：+12%	250 前年比：+12%
	トラック・バス 除く合計	218 前年比：+9%	242 前年比：+11%	242 前年比：+11%	242 前年比：+11%
輸出台数	76 前年比：+47%	80 前年比：+5%	-	77 前年比：+1%	77 前年比：+1%
生産台数	270 前年比：+25%	306 前年比：+13%	306 前年比：+13%	302 前年比：+12%	302 前年比：+12%

- 自動車部会としてもANFAVEA同様、国内市場を前回予想の 250万台程度(前年比+12%)
- 輸出奨励措置(Reintegra)縮小を背景に、生産・輸出台数を下方修正  
⇒生産台数306→302(前年比+12%), 輸出台数80→77 (前年比+1%),

## 四輪業界動向

1. 2018年 上期 振り返り
2. 2018年 下期 展望
3. 長期展望
4. 変化の時期への日系ブランドの対応
5. 総括

# 3. 長期展望 – Rota2030(前回見通し)



- 環境・安全・コネクティビティ等への投資を促進するトレンド
- WTOの指摘もあり、自国保護の流れは弱まる傾向

## 3. 長期展望 – Rota 2030(7/6 発表 暫定措置)

	Inovar Auto (2013-2017)	Rota 2030 (2018-2032)
プログラム特典	30% IPI減免	-
生産工程	義務要件	× (撤廃)
R&D投資	義務要件(選択)	義務要件 *R&D費用に基づき、法人税控除
エンジニアリング投資	義務要件(選択)	
燃費ラベリング	義務要件(選択)	義務要件
燃費(CAFÉ)	義務要件 *基準可達によりIPIボーナス $\Delta$ 1-2%	
セーフティラベリング	-	義務要件
安全装備	-	基準可達によりIPIボーナス $\Delta$ 1%
サプライヤー育成	-	・1次サプライヤー向けR&Dインセンティブ ・Ex-Tariffによるサプライヤー育成

- 義務要件として、セーフティラベリング、CAFÉ基準の強化、R&D投資。  
生産工程の現地化は撤廃
- 新技術導入促進のため、R&D投資、安全装備、CAFÉ基準の要件可達状況に応じインセンティブが付与
- 新たにサプライヤー育成プログラムも追加予定

### 3. 長期展望 – IPI Decree(7/6 発表)

- ・ 7/6 に**HEV, EV向けのIPI(工業製品税)法令が発行**。11月より**施行**開始。
- ・ 従来の排気量による区分から、**燃費**及びCurb weightによる分類に変更  
⇒政府の環境車普及に向けた取り組みは歓迎。一方で、普及促進には、  
11月の施行に向け**更なる税制優遇**を要望。

< 主なモデルのIPI税率の変更 >

【HEV/PHV】

	IPI税率	変化分
A社 Model	13%	-
B社 Model	13%	-
C社 Model 1	7%→9%	+2%
C社 Model 2	13%	-
D社 Model 1	13%→12%	-1%
D社 Model 2	13%	-

【EV】

	IPI税率	変化分
C社 Model 3	25%→10%	-15%
E社 Model 1	25%→9%	-16%
E社 Model 2	25%→9%	-16%

## 四輪業界動向

1. 2018年 上期 振り返り
2. 2018年 下期 展望
3. 長期展望
4. 変化の時期への日系ブランドの対応
5. 総括

## 4. 変化の時期への日系ブランドの対応

- 次期政権に関わらず、自動車政策や自由貿易政策は自動車産業の長期指針として重要

### 【Rota 2030】

- ・ 暫定措置が議会に承認され、**11月**までに確実な**法令発行**を要望
- ・ **インセンティブ**や義務要件未達時の**罰則**による**影響評価**が必要

### 【IPI法令】

- ・ 環境車の普及促進には、11月の施行に向け更なる**税制優遇**を要望。

### 【日-メルコスールEPA】

- ・ 先行する**EU, 韓国とのEPAに劣後しないような内容**(自由化スケジュール原産地規則)を要望

⇒日本とのEPA早期交渉を推進しつつ、上記EPA交渉を注視し、**長期事業計画への反映が急務**。EUとの交渉は**9月初旬**の政府間会合が**キーマイルストーン**

## 四輪業界動向

1. 2018年 上期 振り返り
2. 2018年 下期 展望
3. 長期展望
4. 変化の時期への日系ブランドの対応
5. 総括

## 5. 総括 – 本日のまとめ

### 2018年上期実績

▶トラックドライバーストによる生産遅れの影響はあったものの、前期比**114%**と**好調**。

**通期**でも**前年比10%前後プラス**の見通し。(一方で、**為替**や大統領選挙等の**動向**は要注視)

▶**HEV, EV**向けの**IPI**法令や次期自動車政策**Rota 2030**の暫定措置が発行

▶**EU**や**韓国**との**EPA**交渉が先行。**EU**との交渉は最終局面

### 状況を踏まえた対応

▶引き続き長期的視点に立ち、環境変化に負けない事業体質強化を推進

→**為替対応**を踏まえた**部品現調化**や**生産性向上**などにより、コスト低減、及び輸出促進を図る

▶Rota 2030は、暫定措置が議会に承認され、**11月**までに確実な**法令発行**を要望

▶環境車の普及促進には、11月のIPI法令施行に向け更なる**税制優遇**を要望

▶**EU, 韓国**との**EPA**に劣後しないような内容(自由化スケジュール、原産地規則)を要望

## 5. 総括（政府への提言）

### 政府及び自動車業界の取り組みと課題

#### 1) コスト削減に繋がる抜本的な取り組み

- 道路・港湾等のインフラ整備による物流の効率化や、**ICMS(州税)**等、**複雑な税制**  
**の簡素化**等によるコスト競争力向上

#### 2) 自由貿易政策／輸出促進政策

- ブラジル製車両の輸出拡大に向け、短期の経済情勢や貿易収支動向に影響を受けない一貫した政策の継続。
- **Reintegra(輸出奨励措置)**等、**輸出**を促進する**メカニズム**の**継続**

⇒コスト競争力をつけるためにも、**自由貿易を推進**しつつ、**競争力強化への改革推進(ブラジルコストの低減)**を要望。

#### 3) 自動車政策Rota 2030

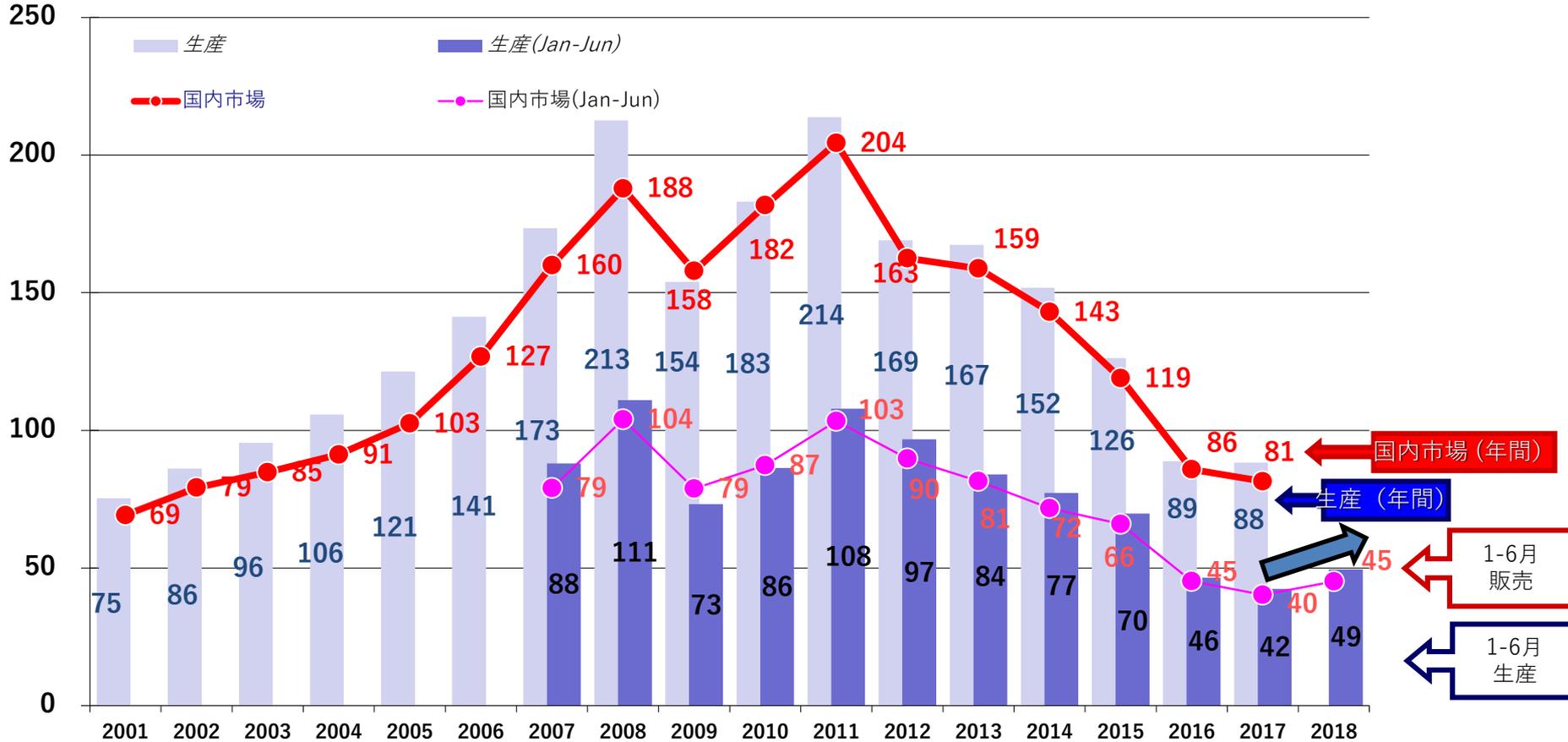
- 中長期事業計画を策定する上で、**自動車政策は長期の指針**を示すものとして**重要**  
**- 競争力向上**につながる**細則**が必要

# 二輪業界動向

## 二輪車 生産・販売 推移

出典：Abraciclo

(万台)

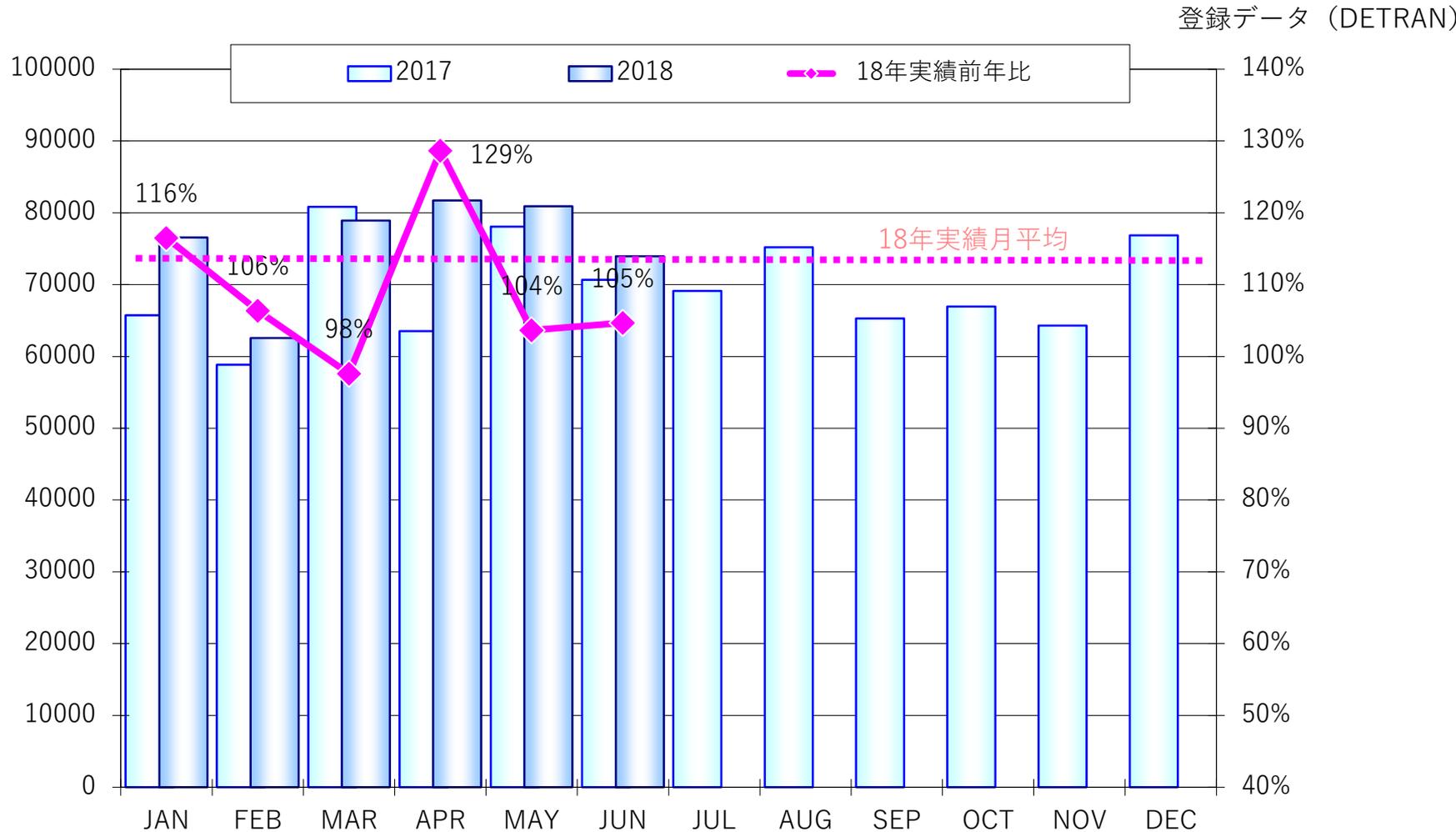


## 2018年上期実績

卸 45万台(前年比112%)  
 生産 49万台(前年比117%)  
 輸出 4万台(前年比127%)

景気、購買意欲の回復により、上期販売は7年ぶりに前年比増  
 生産台数は前年を2割弱上回るレベルまで回復

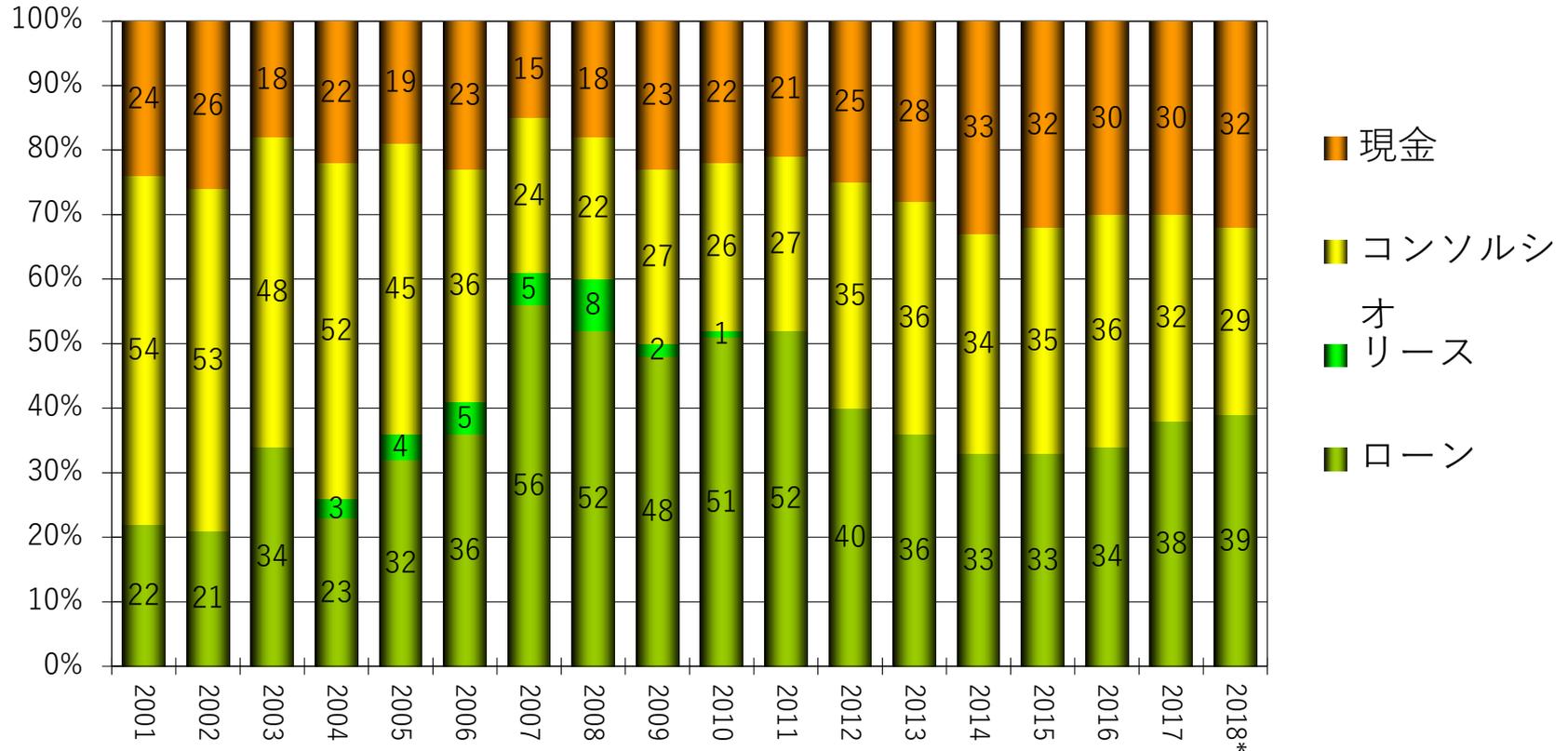
## 二輪車 月別販売推移 (2017年vs2018年)



金利の改善によりクレジット販売が緩やかに回復し、2018年上期累計は前年比110%。  
下期は政治動向が不透明なため、引き続き注視する必要がある。

## 二輪車 支払形態別 販売比率

※出典：A N E F（自動車メーカー系金融会社協会）



\*2018年は3月までの実績

厳しい環境が続いていたクレジットが緩やかに回復しているが、  
コンソルシオは引き続き厳しい状況が続くと予測。

**コンサルタント 部会**

**西口 阿弥 部会長**

**Departamento de Consultoria e Assessoria**

**Presidente: Aya Nishiguchi**

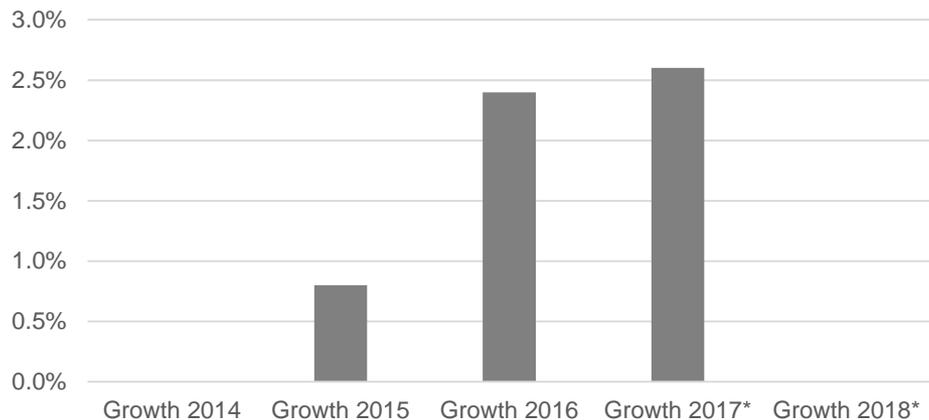
# 2018年上期の回顧と下期の展望

## 『大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は』

コンサルタント部会

2018年8月23日

# ビジネスサービス、コンサルティング会社



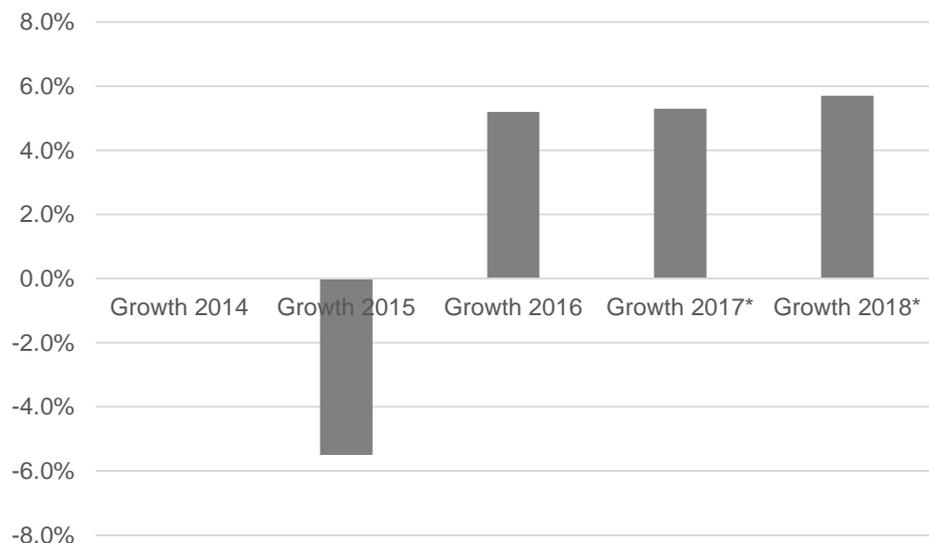
## ▶ ビジネスサービス

▶ 2014年

US 32,000,000

▶ 内容

法律、会計、ITメンテナンス、  
セキュリティーシステム、  
広告、人材派遣、自動車リース



## ▶ コンサルティング会社

▶ 2014年

US 303,000,000

▶ 内容

監査、税務、コーポレート  
ファイナンス

(汚職防止対策、デジタル業務)

# コンサルティング会社 今までの動向～これからのチャレンジ

---

## 今までの動向

- 一般的に2015年、2016年はコンサルティング業界は伸び率は低く、2017年は景気の復活でやや上がるのではと予想。
- 2016年は汚職防止対策(リスク、ポリシーなど)のサービスが増えた。
- 2017年はリスク、オペレーションのコスト削減についてのサービスが増えた。
- 2017年から2018年前半はデジタルソリューション業務についてのサービスは金融機関や顧客向けやバックオフィスにも導入されはじめるようになった。
- データアナリティックに関するサービスも増えている(特にROI分析が必要、コスト削減や販売拡大)。
- ロボティクスについての業務は大企業、マニュアル業務が多い企業が導入している傾向。
- AIについては議論に留まっている。

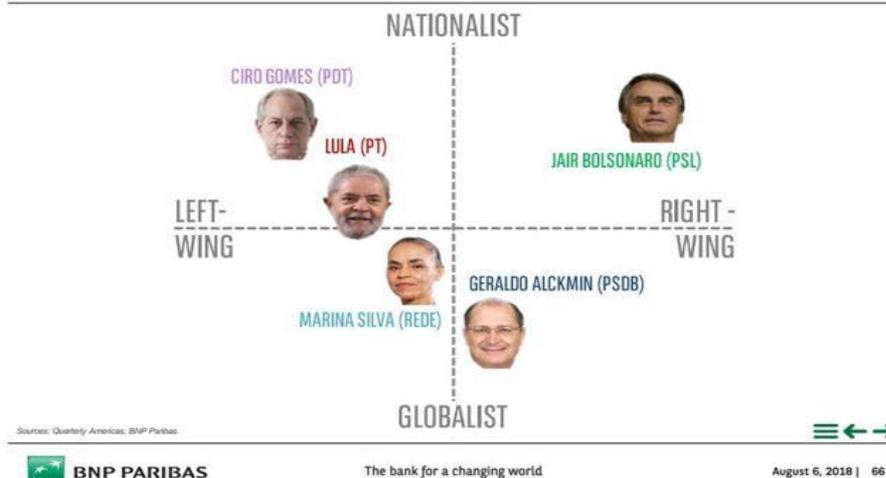
## チャレンジ

- 業界のTransformation
- 政治不安定 ー投資の先送り
- エコシステム、パートナーシップの拡大
- 地域にあったサービス(Localized services)
- プライシング

# 2018年大統領選挙

## ▶ 大統領候補政治的立場

### CANDIDATES | POLITICAL SPECTRUM



## ▶ 支持率調査



38%は未定

出所: IBOPE/Estado/GLOBO 2018年8月20日

	党派	直近の政治経験	大統領候補	その他
Geraldo Alckmin	PSDB	サンパウロ州知事	2006	
Jair Bolsonaro	PSL	リオでジャネイロ下院議員	-	軍事との関係大、党派9回変更
Marina Silva	REDE	アクレ上院議員	2010, 2014	環境活動家、党派5回変更
Ciro Gomes	PDT	セアラ下院議員	1998, 2002	党派変更6回
Lula (Fernando Haddad)	PT	大統領	1994, 1998	収監
João Amoêdo	NOVO	-	-	銀行家
Henrique Meirelles	MDB	財務大臣	-	銀行家
Álvaro Dias (Podemos党)、Guilherme Boulos (PSOL党)、Cabo Daciolo (Patriota党)、João Goulart Filho (PPL党)、Eymael (DC党)、Vera Lucia (PSTU党)				

# ブラジルでの成功するためのヒント

- デジタルとフィジカルチャンネルの組み合わせ  
～ Combine Digital channel with Physical channel  
例 Magazine Luiza
- 顧客とつなぐサステナビリティ  
～ Sustainability that connects the customers  
例 Natura
- 良いサービスを超越するカスタマーエクスペリエンス  
～ Customer Experience, beyond good service!  
例 Fleury
- デジタル—最高の利便性  
～ Digital for extreme convenience  
例 99Taxi、Grupo Pão de Açúcar
- 顧客のライフサイクルに沿ってニーズを予測する  
～ Follow the customer lifecycle and predict his needs  
ブラジルでアマゾンのスタンダードを超えるのは？

社名		単価	上昇 (%) 2017末- 2018年7月 末
SUZANO PAPEL E CELULOSE SA	SUZB3 パルプ、 紙	44.33	139.51%
MAGAZINE LUIZA SA	MGLU 3 小売	138.67	65.33%
FIBRIA CELULOSE SA	FIBR3 パルプ、 紙	74.67	55.69%
VALE SA	VALE3 鉱業	50.41	37.76%
B2W CIA DIGITAL	BTOW 3 小売	28.81	37.32%
GERDAU SA-PREF	GGBR 4 鉄鋼	15.52	35.62%
METALURGICA GERDAU SA-PREF	GOAU 4 鉄鋼	7.51	33.50%
BRASKEM SA-PREF A	BRKM 5 石油化学	56.54	33.12%
PETROBRAS - PETROLEO BRAS	PETR3 石油	21.38	29.97%
CIA ENERGETICA MINAS GER-PRF	CMIG4 電力	7.96	27.33%

# コンサルタント部会からのメッセージ

---

「大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は」

- ブラジルで成功しているケース分析
- 日本ブームの活用
- Rota2030
- 長期的にはインフラへの投資

コーヒーブレイク

**COFFEE BREAK**

後半司会

大久保 敦 企画戦略委員長

APRESENTADOR

Presidente da Comissão  
de Planejamento -  
Estrategia

Atsushi Okubo

**化学品 部会**

**羽田 徹 部会長**

**Departamento de Produtos Químicos**

**Presidente: Toru Haneda**

# 「2018年上期の回顧と下期の展望」

副題: 大統領選を前に控えて  
～変化の時期への準備と戦略は～

2018年8月23日(木)

ブラジル日本商工会議所 化学品部会

Nisso Brasileira Representação Ltda. (日本曹達) 羽田 徹

## 1. 上期回顧と下期展望

- a. 輸送（四輪車、二輪車など）
- b. ヘルスケア（食品、化粧品、医療品など）
- c. 農業（農薬、飼料、酵素など）
- d. 総括

## 2. 副題： 大統領選を控えて～変化の時期への準備と戦略は～



# 1. 上期回顧と下期展望

化学品部会：70社（Principal26, Non-principal44）

アンケート方法：各市場における売上と利益の推移を聞き取り

アンケート回答：20社（工場保有：10社）から44回答

## ＜化学品部会が関わる市場＞

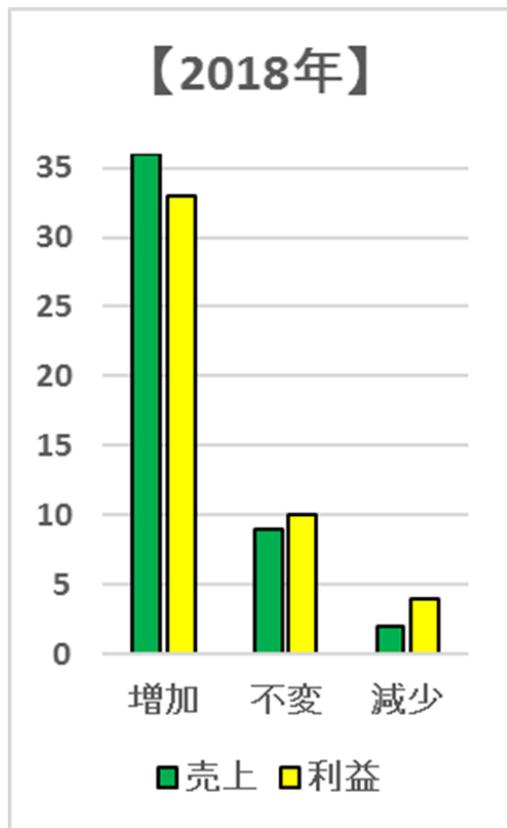
市場	回答数	割合
輸送（四輪車・二輪車など）	13	30%
ヘルスケア（食品・化粧品・医薬品など）	9	20%
農業（農薬・飼料・酵素など）	6	14%
コンシューマー（筆記具、スポーツ用品など）	5	11%
印刷（インキ・製紙など）	4	9%
機器（電気電子・医療・工作など）	3	7%
建築	3	7%
服飾	1	2%

# 1. 上期回顧と下期展望 ～化学品部全体～

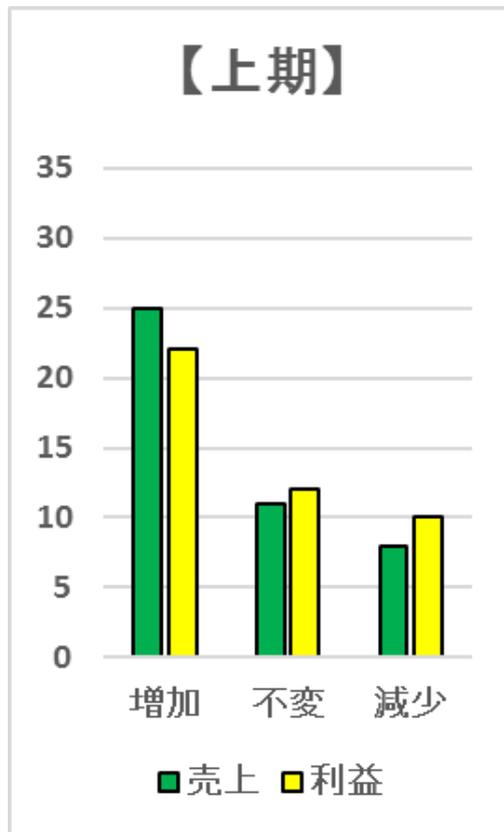
前回シンポジウム  
「攻める時が来た」

今回のアンケート集計

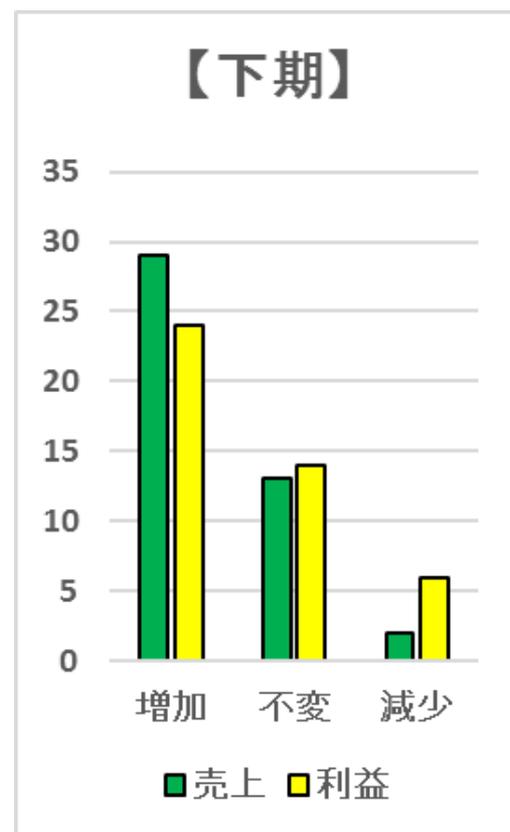
回答件数



(回答数47)



(回答数44)



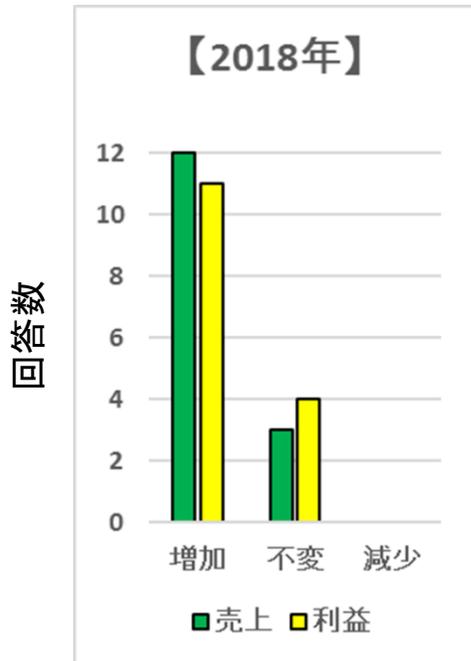
# 1-a. 上期回顧と下期展望～輸送(四輪車・二輪車など)～



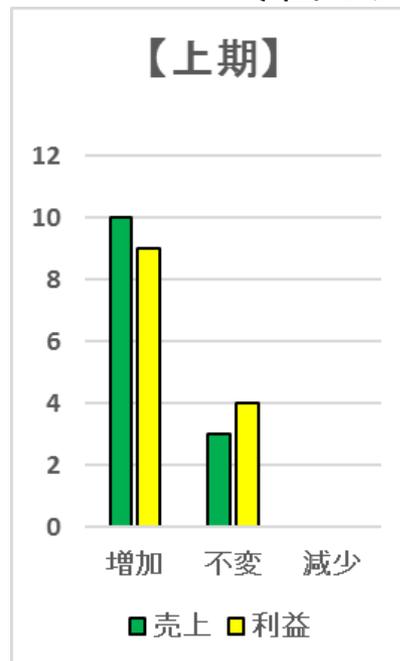
用途: 内外装プラスチック部品、エンジン用シール剤、樹脂添加剤、着色剤、燃料など

前回シンポジウム

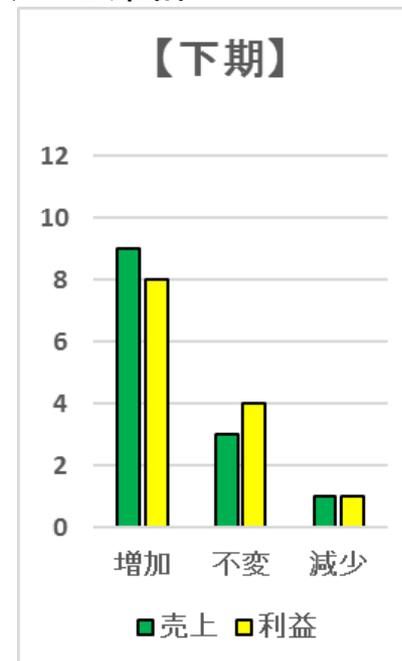
今回のアンケート集計



(回答総数15)



(回答総数13)



【市場動向】 ■ 市場の回復、二輪車も徐々にあるが回復傾向

【増減要因】 ■ 四輪車増産に伴う販売増

■ レアル安により輸入競合が市場撤退

■ 欧米系部品メーカーへ拡販

■ 輸入在庫ビジネスの開始

■ 韓国競合との価格競争激化

■ 二輪市場の回復遅れ

■ ポジティブ  
■ ネガティブ

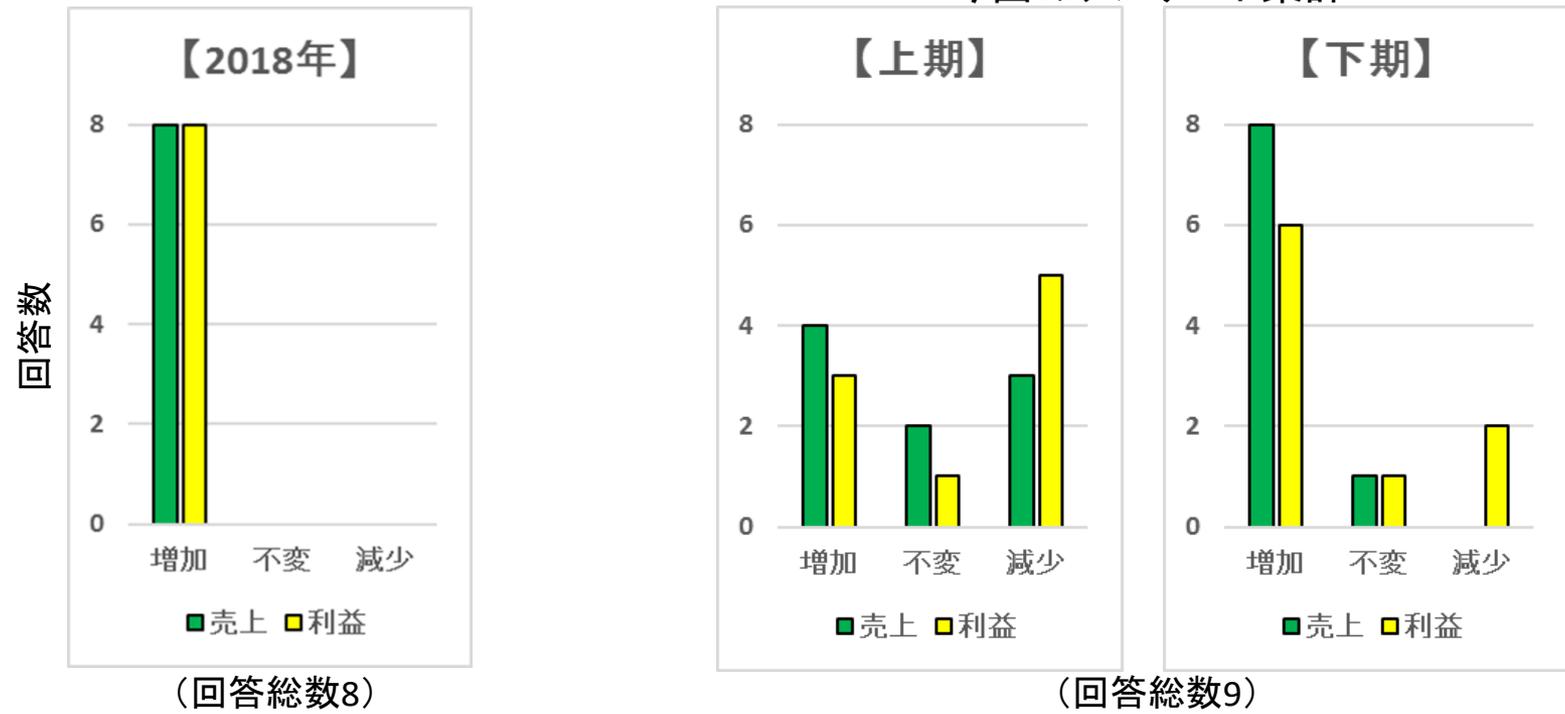
# 1-b. 上期回顧と下期展望～ヘルスケア(食品・化粧品・医療品など)～



用途: 食品添加剤、包装フィルム改良剤、包装着色剤、化粧品原料、一般医薬品など

前回シンポジウム

今回のアンケート集計



- 【市場動向】 ■ すべての市場で回復傾向
- 【増減要因】 ■ 現地系顧客の開拓
- 新規開発案件を実績化
- 販売チームの増員
- 欧米競合との価格競争激化
- 原料高騰(香料)

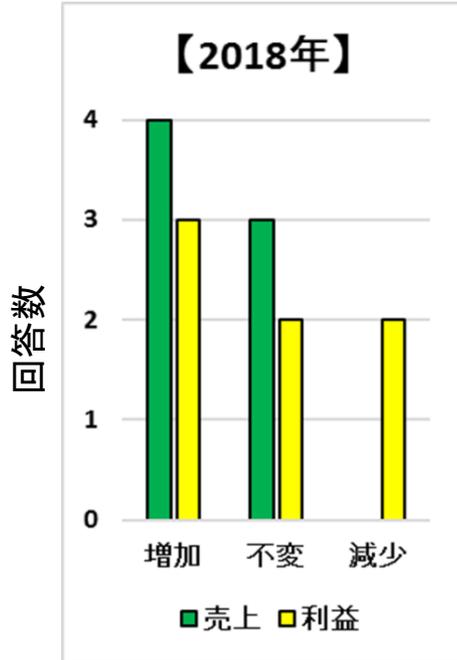
■ ポジティブ  
■ ネガティブ

# 1-c. 上期回顧と下期展望～農業(農薬・酵素)～



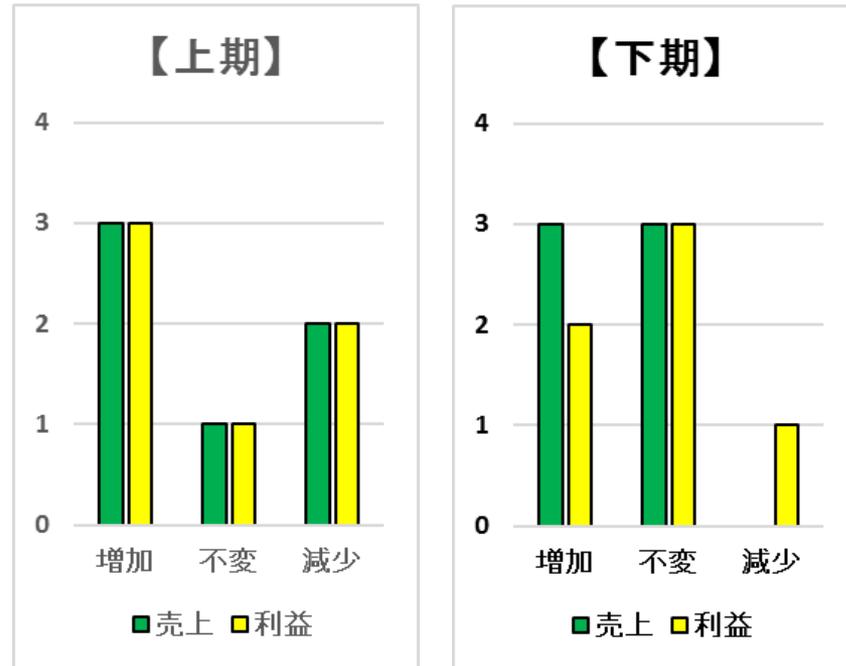
用途: 殺虫・殺菌・除草剤、診断薬原料

前回シンポジウム



(回答総数7)

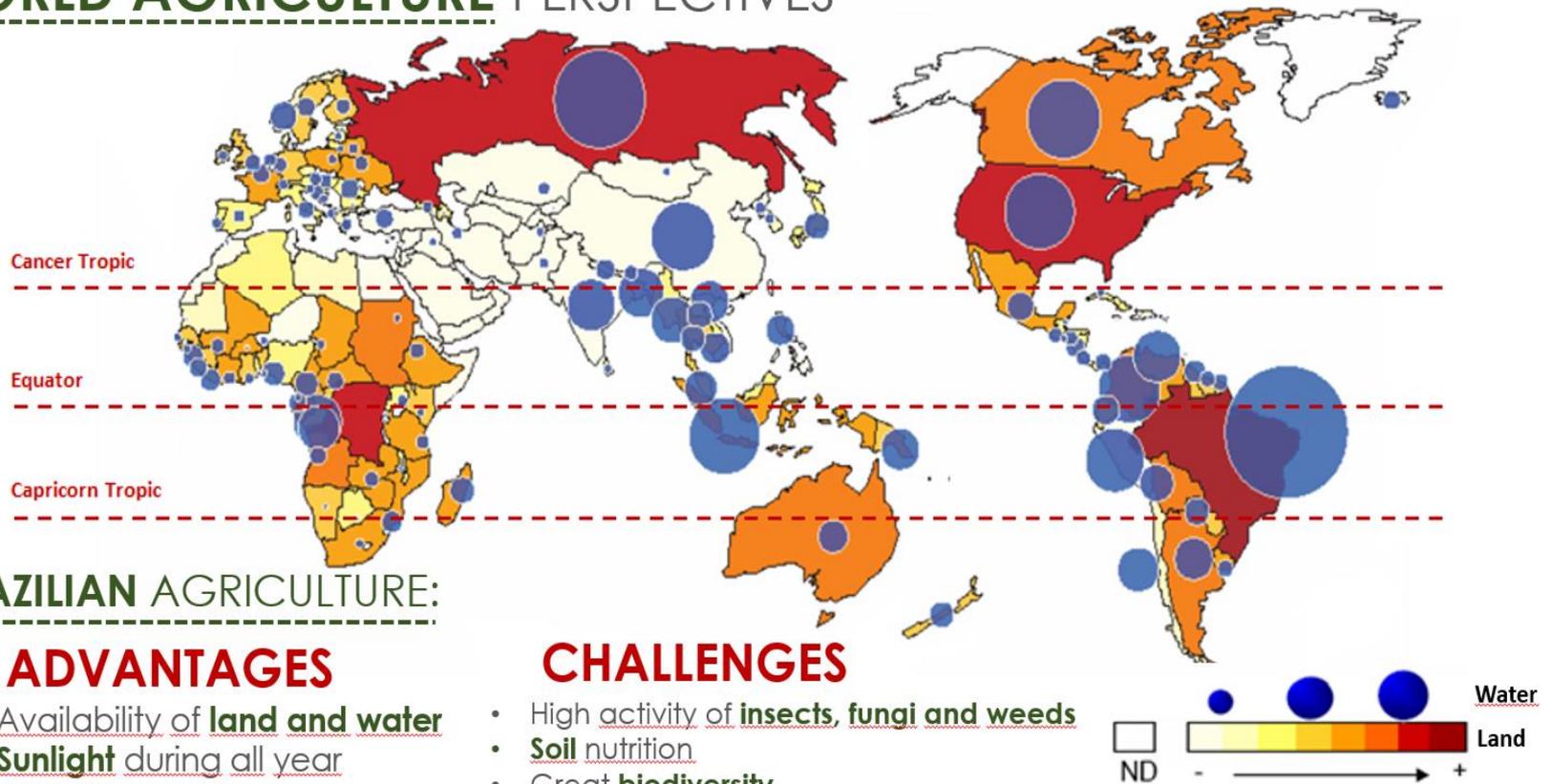
今回のアンケート集計



(回答総数6)



## WORLD AGRICULTURE PERSPECTIVES



### BRAZILIAN AGRICULTURE:

#### ADVANTAGES

- Availability of **land and water**
- **Sunlight** during all year
- **1.8 season** per year

#### CHALLENGES

- High activity of **insects, fungi and weeds**
- **Soil** nutrition
- Great **biodiversity**
- Fast **resistance** to control technologies

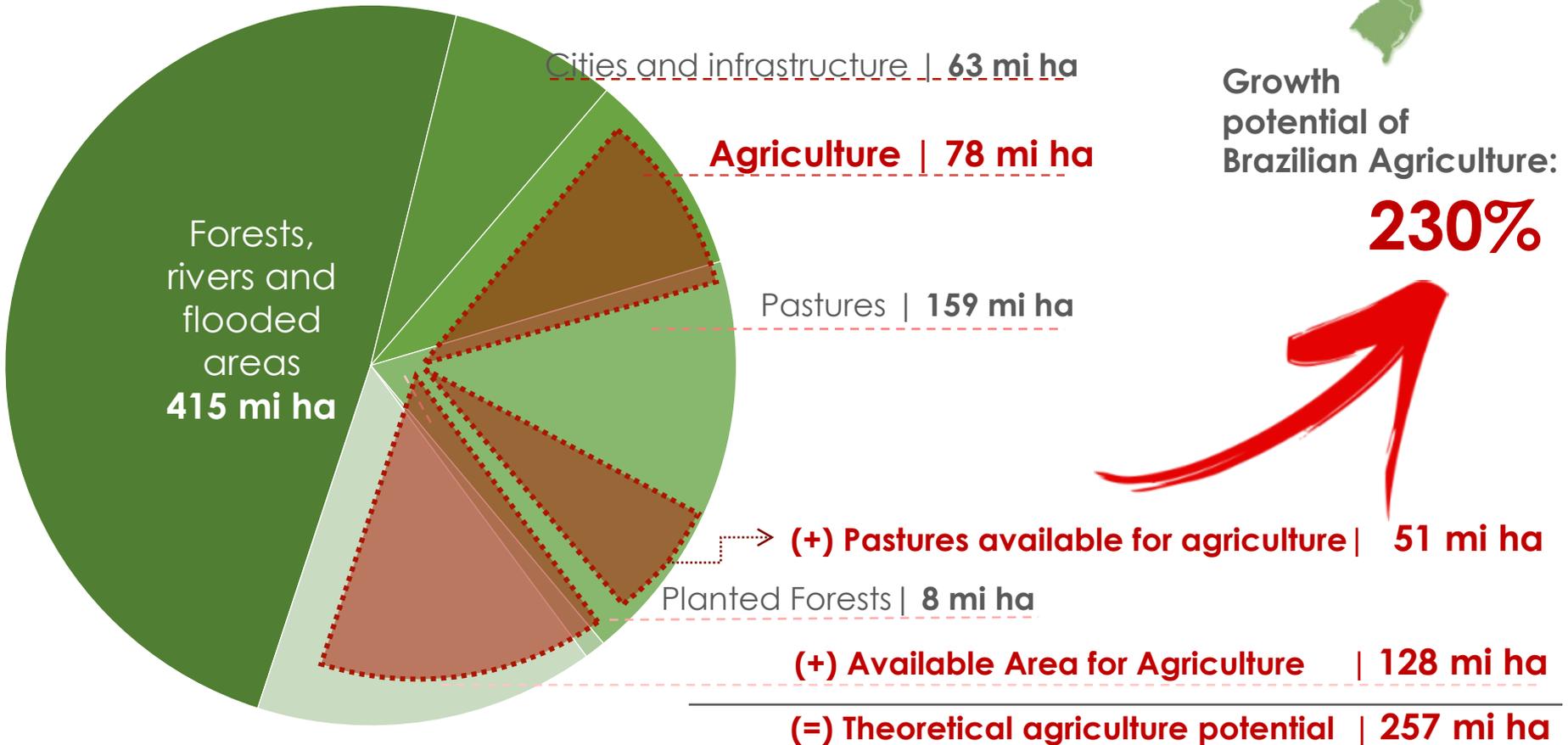
Source: FAO



## BRAZILIAN AGRICULTURE

Source: Carlos Cogo Consultoria (Relatório "Agronegócio – Brasil e Mundo")

### TERRITORY OCCUPATION (851 million hectares)





## BRAZILIAN AGRICULTURE

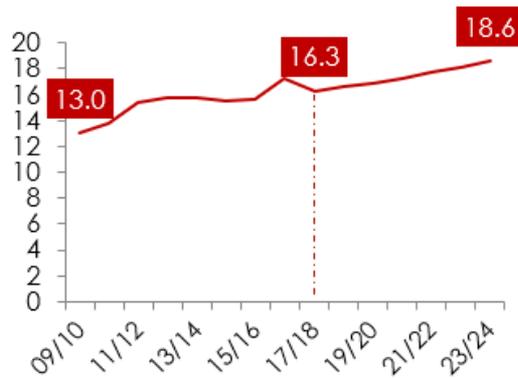
\*Projection Source: Carlos Cogo Consultoria

### PLANTED AREA (million hectares per crop)

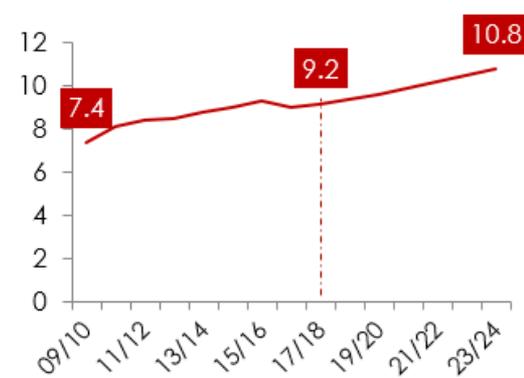
#### SOYBEAN



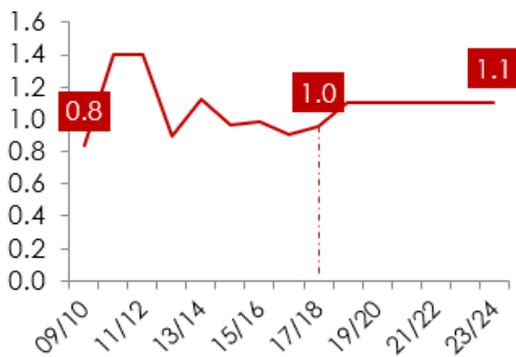
#### CORN



#### SUGAR CANE



#### COTTON



#### WHEAT



#### COFFEE



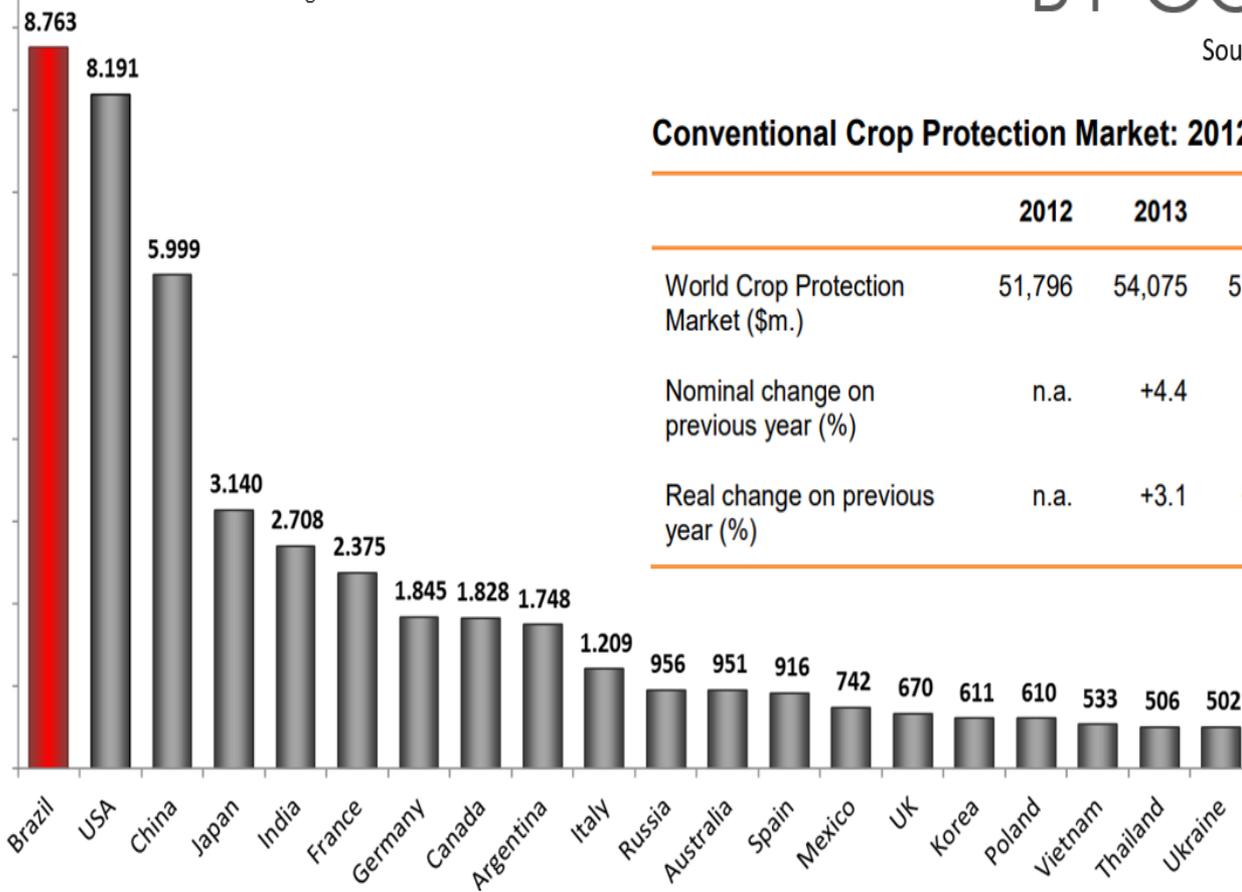


## GLOBAL MARKET BY COUNTRY



2017: US\$ 54,2 Billion

Conventional Agrochemical



Source: Phillips McDougall

Conventional Crop Protection Market: 2012-2017 (Distributor Level, \$m.)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017
World Crop Protection Market (\$m.)	51,796	54,075	58,764	56,160	52,882	54,219
Nominal change on previous year (%)	n.a.	+4.4	+8.6	-4.4	-5.8	+2.5
Real change on previous year (%)	n.a.	+3.1	+16.7	+8.1	-6.4	-3.7

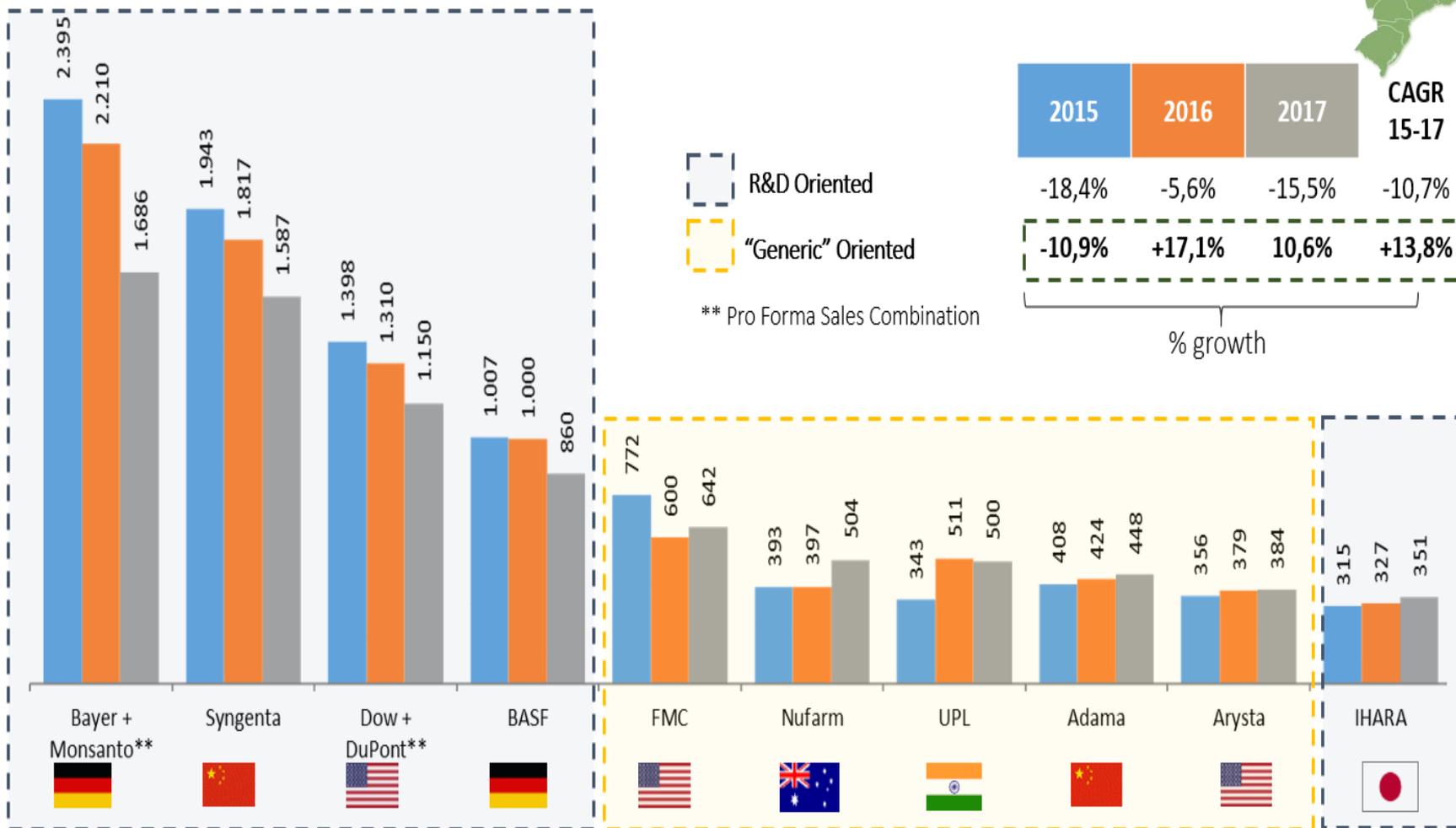
# 1-c. 補足 農薬市場



## BRAZILIAN MARKET BY COMPANY

Source: Nisso Market Intelligence

In US\$ Million

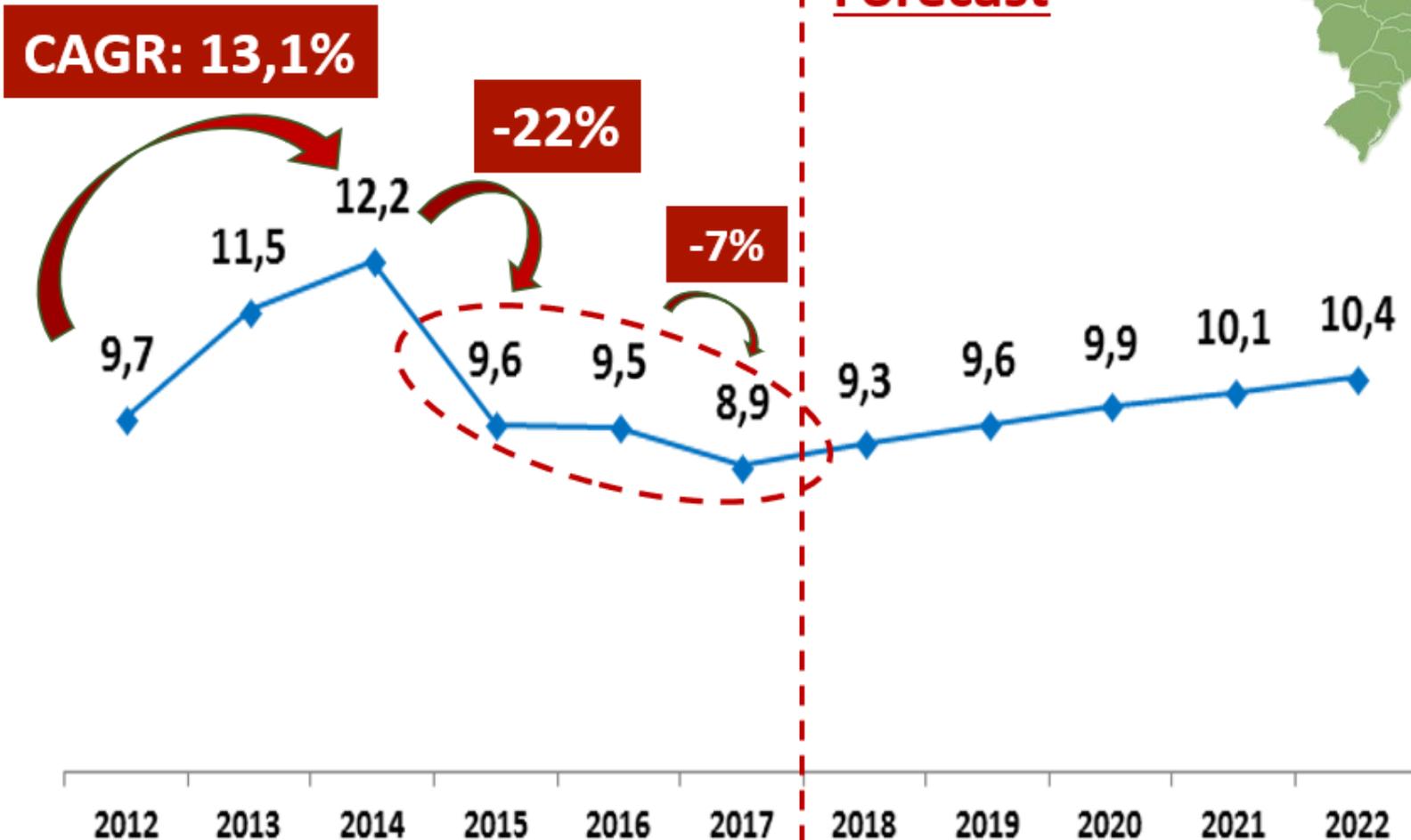




## BRAZILIAN MARKET

Source: Nisso Market Intelligence

In US\$ Billion

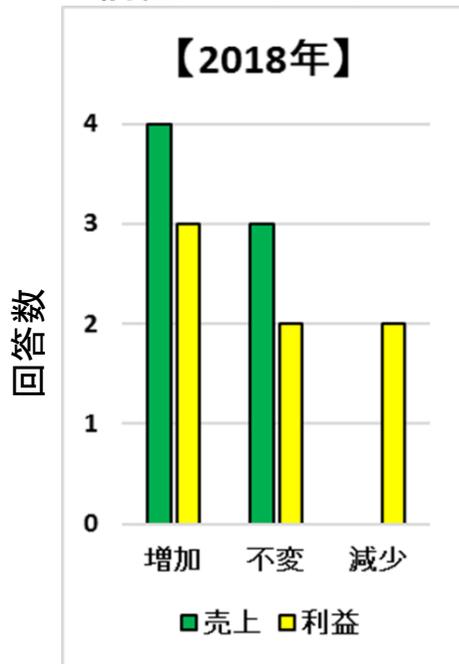


# 1-c. 上期回顧と下期展望～農業(農薬・酵素)～



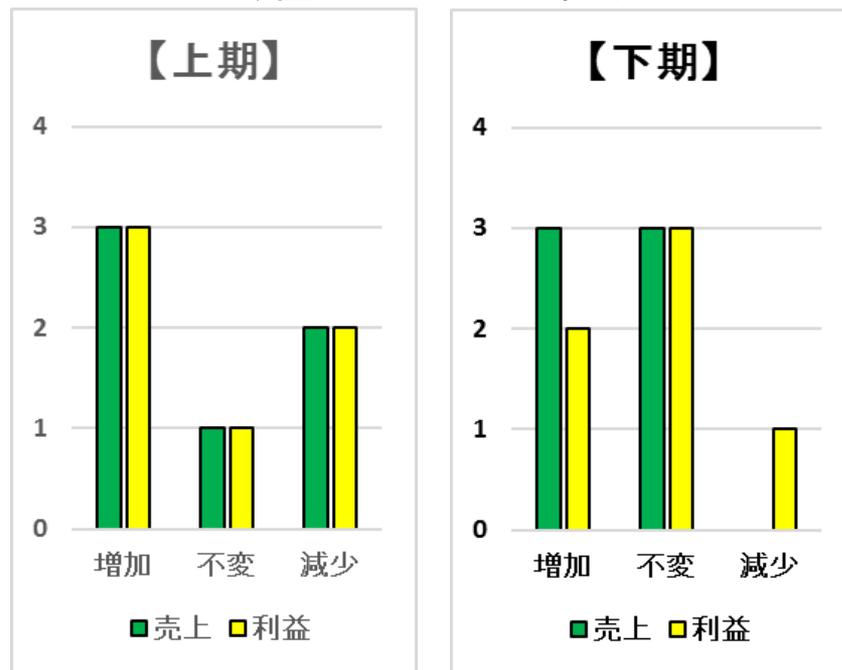
用途: 殺虫・殺菌・除草剤、診断薬原料

前回シンポジウム



(回答総数7)

今回のアンケート集計



(回答総数6)

- 【市場動向】**
- 農産物増産、農薬流通在庫の整理
  - ジェネリック攻勢、大手農薬メーカーの合従連合
- 【増減要因】**
- 新製品の販売開始
  - ジェネリックとの価格競争激化
  - 合従連合が与える影響が不透明
  - 中国環境規制による原料確保が不安定

■ ポジティブ  
■ ネガティブ

# 1-d. 総括 ～化学品部全体～

■ ポジティブ  
■ ネガティブ

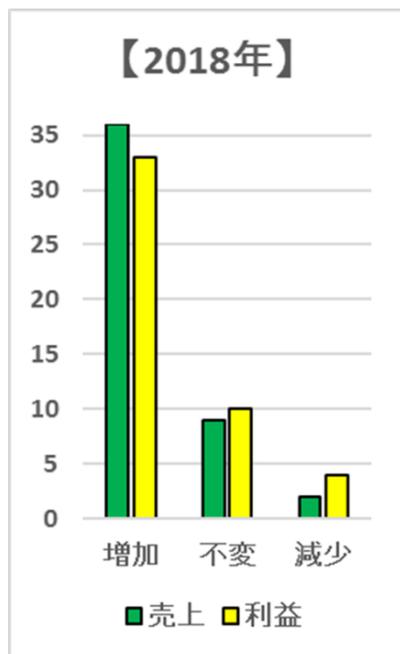
## 今回のアンケート集計

- 大方の市場で回復兆候
- 地道な営業活動・コストダウンの継続
- 新製品の投入、新規事業構築、人員増強など積極策
- 中国、韓国、欧米との価格競争激化
- 大統領選挙の不透明感、為替変動リスク

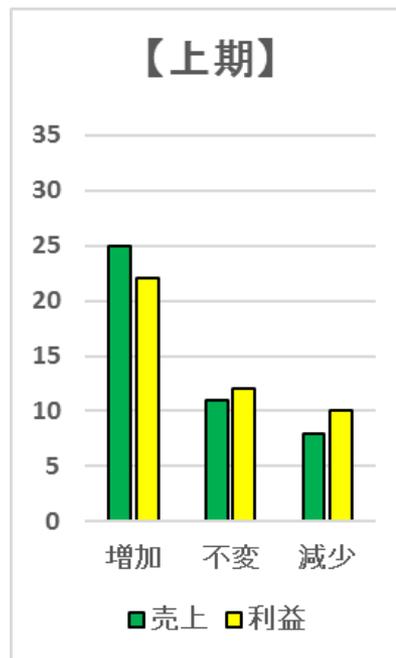
前回シンポジウム  
「攻める時が来た」

「攻める準備はしつつ少し様子見」

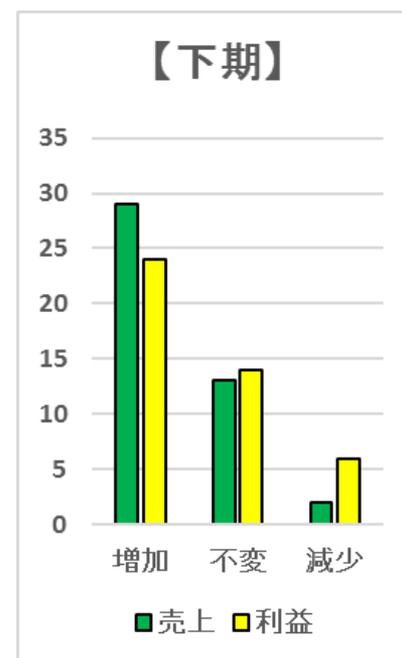
回答件数



(回答数47)



(回答数44)



# 1. 副題： 大統領選を控えて～変化の時期への準備と戦略は



- ・ 大統領選の結果によっては景気・為替が大きく変動するため、一方に偏ることなくこれまでの取り組みを粛々と継続する。

地道な営業活動、コストダウン、新製品投入、人員補強など

- ・ 需要拡大を期待し、在庫確保や工場増強スタディを始める。
- ・ 事業投資、M&Aの可能性を探るべく体制作りに入る。
- ・ 為替リスク分散のため、輸出の強化や内地原料切り替えに取り組む。
-

ご清聴ありがとうございました。

**電気電子 部会**

**日比 賢一郎 部会長**

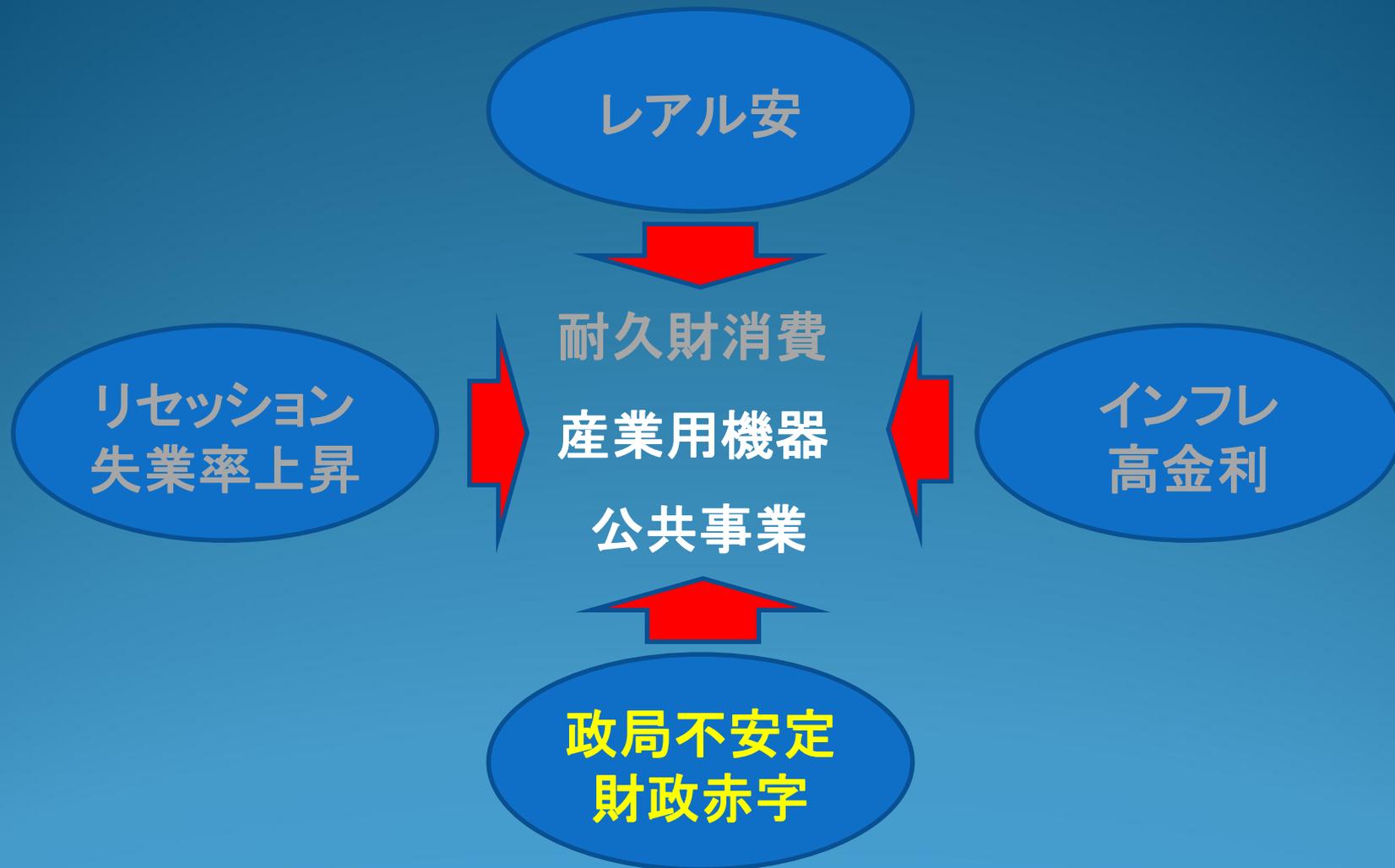
**Departamento Eletroeletrônico**

**Presidente: Kenichiro Hibi**

# 電気電子業界 2018年上期の回顧と下期の展望

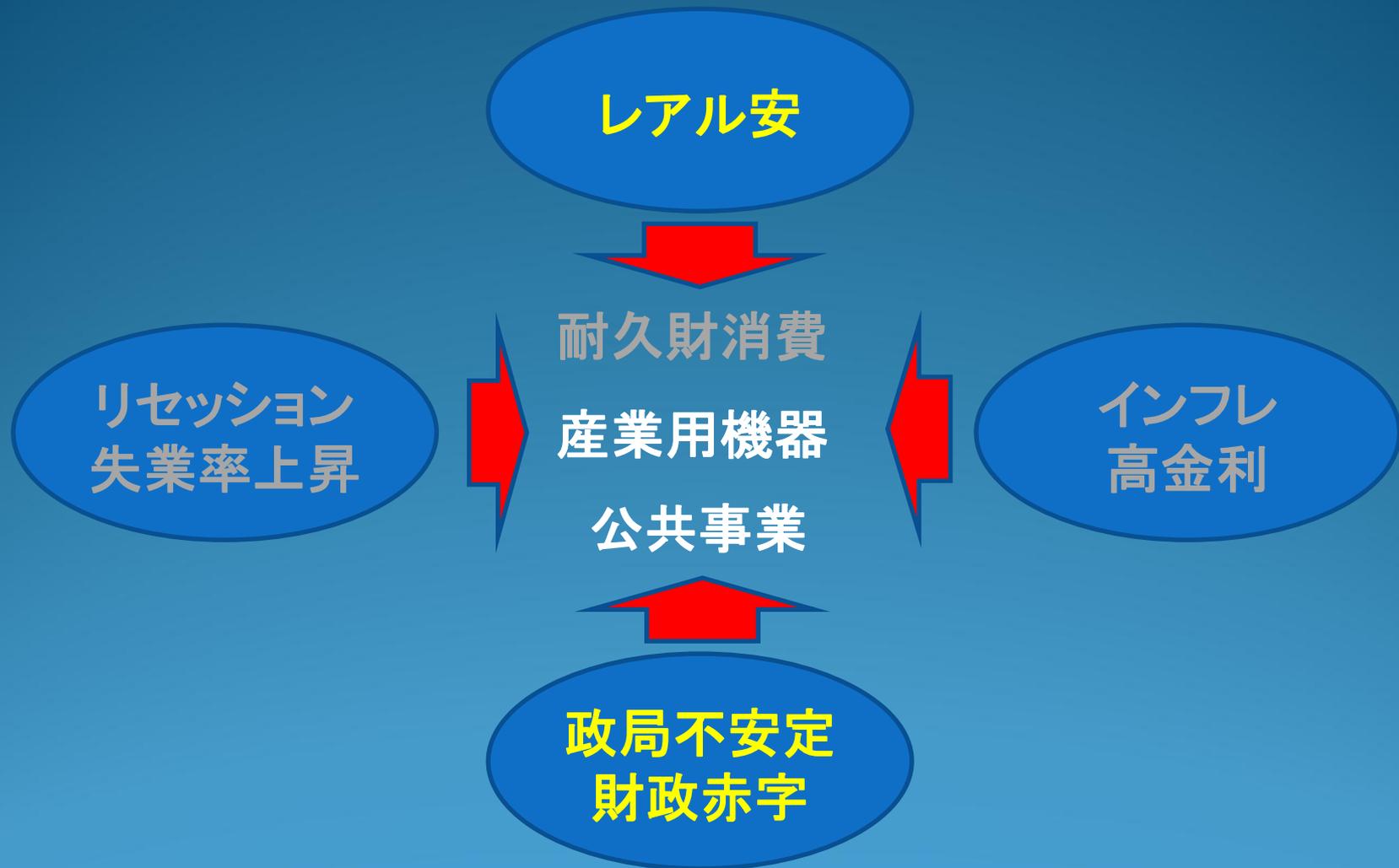
2018年8月23日  
電気電子部会

# 電気電子業界の事業環境（2018年2月）



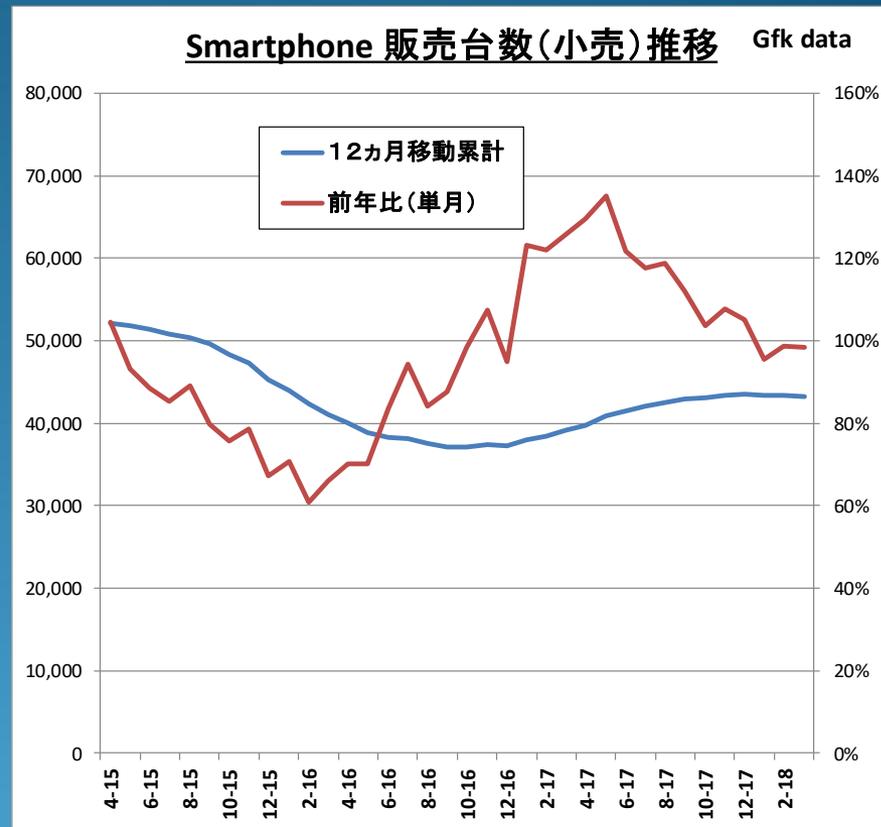
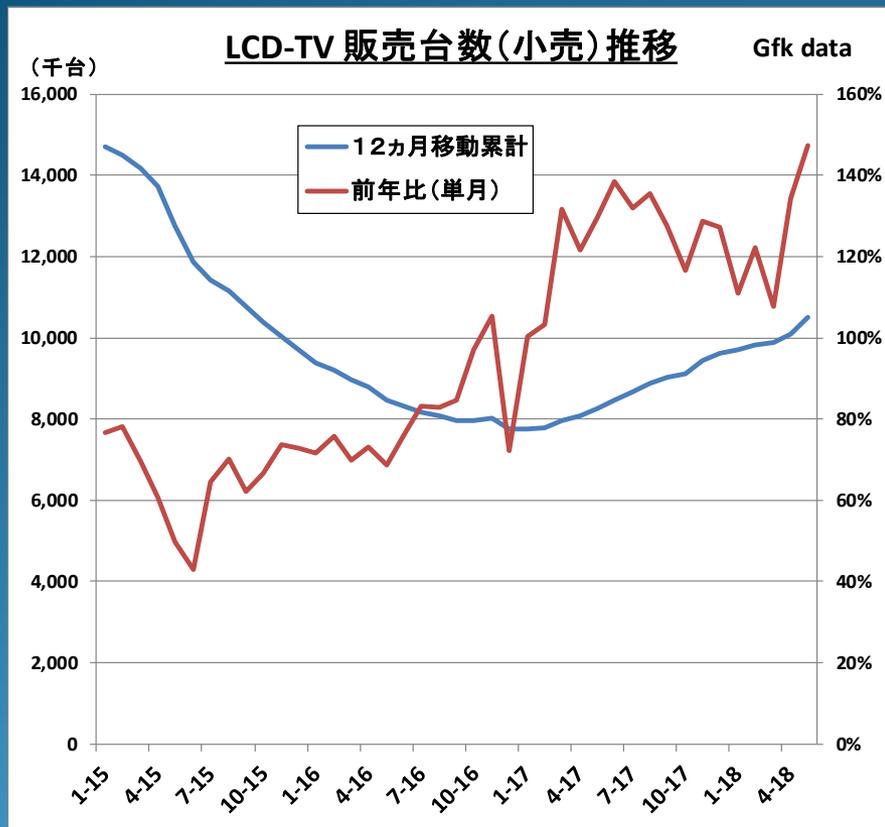
- ・ 「どん底」 ⇒ 「底打ち」 ⇒ 「回復」 の基調
- ・ 事業領域、商品カテゴリーによって回復のスピードは異なる

# 電気電子業界の事業環境（現在）



- ・ 「どん底」 ⇒ 「底打ち」 ⇒ 「回復」 の基調
- ・ 不透明な大統領選の行方、リアル安、ストライキの影響により、回復の遅れは鮮

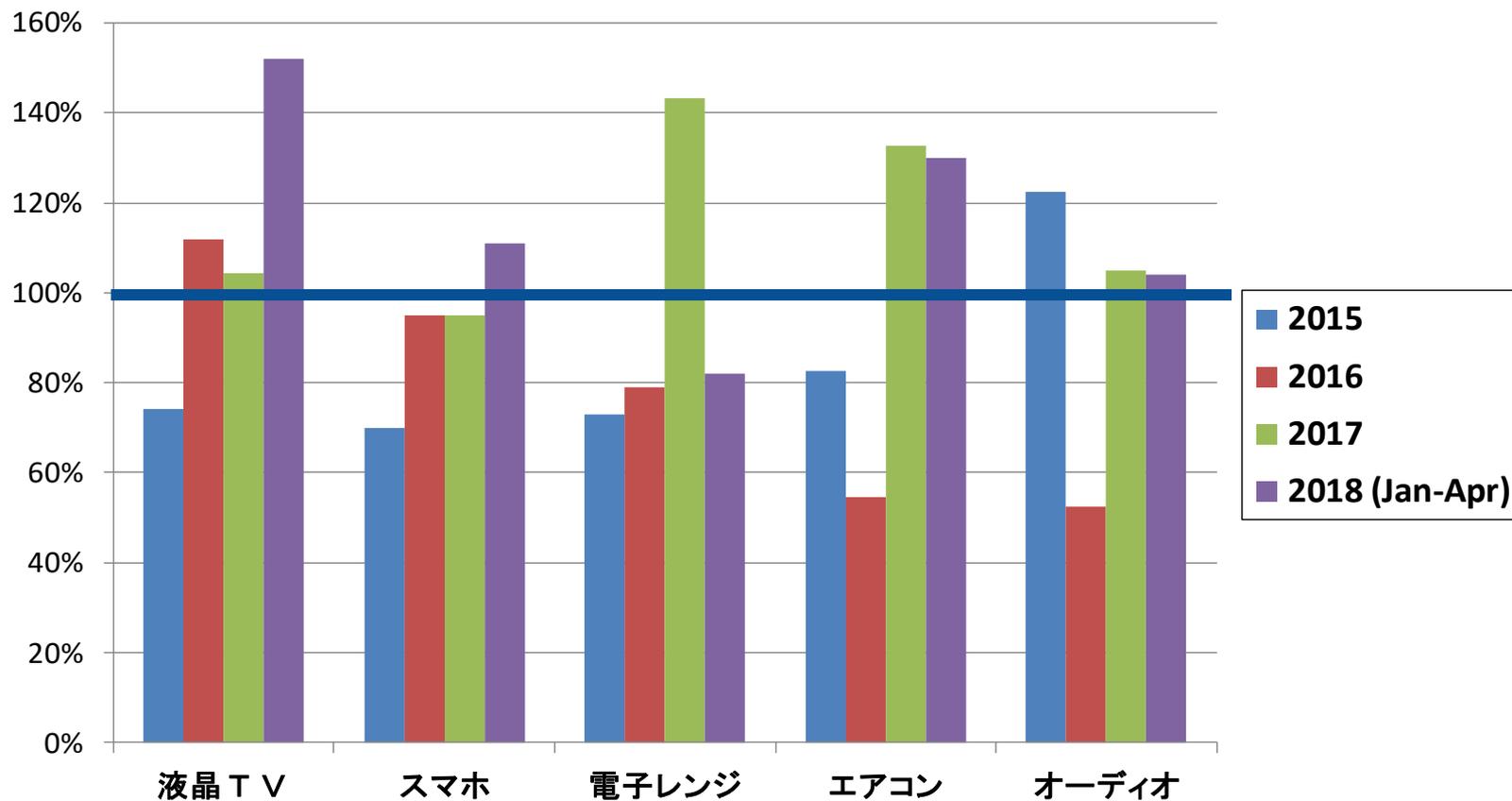
# 液晶TV・スマホ販売台数(小売)の推移



- 液晶TVは昨年3月以降、堅調に需要が回復。ワールドカップ需要もあり、直近で大きく成長
- スマホは昨年2月からプラス成長に転じるが、直近で需要がやや減速

# 主要家電製品 マナウス生産数量推移

マナウス地域における生産数量の推移(対前年比)



- すべてのカテゴリーで回復基調(15年、16年の落ち込みとの比較)
- 液晶TV、エアコンは堅調な回復
- スマホ、オーディオは、市場減に底打ち
- 電子レンジは市場は前年並み(在庫調整による生産減)

# 2018年上期回顧と下期展望 会員アンケート結果

## 電気電子部会各社の販売動向（対前年）

「維持」を対前年比100～109%として

2月時点  
の  
2018年展  
望

	改善	維持	悪化	合計
18年展望	9	3	0	12
(%)	75%	25%	0%	100%

今回の  
アンケート  
結果

	改善	維持	悪化	合計
18年上期 回顧	14	0	2	16
(%)	88% 	0%	12% 	100%

	改善	維持	悪化	合計
18年下期 展望	10	5	1	16
(%)	63%	31%	6%	100%

# 2018年上期回顧 会員アンケート 主要コメント

(-)

- トラックストの影響（販売の減速）
- レアル安による値上げ
- 取引先の経営困難（資金難、信用縮小など）による影響

(+)

- 消費の回復
- 需要の回復（耐久消費財）
- 設備投資の回復（顧客サイド）
- 自社努力の成果（販売体制強化、生産拡大、効率改善）
- 規制の緩和

(+/-)

- 景気回復の遅れ
- 販売増に伴う費用の増加（人件費、固定費）
- 不安定な政治（大統領選、年金改革の行方）

# 2018年下期展望 会員アンケート 主要コメント

(-)

- 景気回復の当初想定からの遅れ
- 大統領選（政府向け商談の停滞、不透明な選挙戦）
- 耐久消費財需要の腰折れ
- レアル安による値上げ

(+)

- 景気の緩やかな回復と市場の将来性
- 販売力の強化（顧客基盤の強化）
- 設備投資の回復

(+/-)

- 投資の抑制あるいは見直し
- 事業体質のさらなる強化（品質の向上、コスト削減）
- バランスシートの管理強化
- 人件費の上昇（⊕ 事業拡大による投資、⊖ 賃金上昇）

## <サマリー>

- ・ 耐久消費財市場の回復と自社努力により、上期業績は対前年比でプラス成長
- ・ 産業向けビジネスは、顧客の事業拡大に伴い堅調に推移
- ・ 景気回復の遅れ、レアル安、大統領選の不透明感により
  - － 投資の抑制あるいは見直し
  - － 事業体質のさらなる強化（品質の向上、コスト削減）
  - － バランスシートの管理強化
- ・ 景気の緩やかな回復と市場の将来性への期待
  - － 販売力の強化（顧客基盤の強化）
  - － 生産能力の強化（設備投資、人員強化）

# シンポジウム副題に関して

『大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は』

- ・ 大統領選の行方に対する深い不透明感
  - － 大統領選に起因するレアル安への対応
  - － 大統領選後のシナリオ不明⇒最悪を想定した準備
  - － 政府支出の抑制に対する対応⇒顧客基盤の転換と強化（政府⇒民間）
  - － 成長ポテンシャルと将来への期待⇒大統領選後の転換局面に備えた準備

# 商工会議所、ブラジル政府、日本政府への要望

## ポスト高度成長のブラジルの魅力を創出する努力

政治・経済・為替・治安の健全化・安定化への努力

新規事業や輸出拡大へのインセンティブ(「その場しのぎ」でないもの)

税制の改善(増税阻止、簡素化、透明化、低減、ST・クレジット累積問題の解消、国際標準レベルの移転価格税制への変更)

ビジネス・インフラの整備(物流ネットワークなど)

ファイナンス、ファンディング、パートナーリングの支援・連携促進

日本・メルコスールEPA締結への動き(欧メルコスールEPA、韓メルコスールFTAに後れを取らない対応)

ご静聴、ありがとうございました。

**食品 部会**

**黒崎 正吉 部会長**

**Departamento de Gêneros Alimentícios**

**Presidente: Masayoshi Kurosaki**

## 2018年上期の回顧と下期の展望

『大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は』

---

2018年8月23日

(木)

食品部会

## 1. 食品部会会員企業

## 2. 市場及び会員企業状況

- (1) 市場概況
- (2) 業種別動向及び会員企業状況
- (3) 今後の市場見込みと、これからのキーワード

## 3. 副題- 『大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は』

- (1) リスクへのしっかりとした備え
- (2) ブラジル人消費者ニーズへの徹底適合
- (3) ポジティブなチャレンジ

# 1. 食品部会会員企業 (44社)

# 食品部会

会員企業	業種	会員企業	業種
<b>Ajinomoto do Brasil</b>	調味料・食品	<b>Marubeni Brasil</b>	
Abe, Rocha Neto, Taparelli e Garcez Advogados		<b>Mitsubishi Corporation do Brasil</b>	サーモン等
<b>Adeka Brasil</b>		<b>Mitsui Alimentos</b>	コーヒー
<b>Azbil do Brasil</b>		<b>Mitsui Chemicals do Brasil</b>	農薬
<b>Azuma Kirin</b>	酒類	<b>Miura Boiler do Brasil</b>	
<b>Banco Mizuho do Brasil</b>		<b>MN Própolis</b>	
<b>Banco MUFG Brasil</b>		<b>Nagase do Brasil</b>	食品添加剤
<b>Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro</b>		<b>NH Foods do Brasil</b>	食肉
<b>BBR Empresarial</b>		<b>Niagro-Nichirei do Brasil</b>	アセロラ加工
<b>Be One Solutions Brazil</b>		<b>Nissin Foods do Brasil</b>	即席めん
<b>Companhia Iguaçu</b>	コーヒー	<b>Okaya do Brasil</b>	
<b>Ebara Indústrias Mecânicas</b>	産業機械	<b>Sandia do Brasil</b>	
Fator Assessoria e Consultoria (Sato & Maia)		<b>Sato Auto-ID do Brasil</b>	
<b>Gohara Negócios Imobiliários</b>		<b>Sociedade Coml. Toyota Tsusho</b>	
<b>Harald Alimentos</b>	チョコ、製菓材料	<b>Supermercado Hirota</b>	
<b>Itochu Brasil</b>		<b>Takasago Fragrâncias e Aromas</b>	食品香料
<b>Jetro, São Paulo</b>		<b>Takii do Brasil</b>	種苗
<b>JFC Brasil</b>		<b>Ueno Profit Assessoria</b>	
<b>JICA (Escritório Anexo Consul.Japão)</b>		<b>Yakult</b>	乳酸菌飲料
<b>Kanematsu América do Sul</b>	コーヒー、食肉等	<b>Yamato Comercial</b>	
<b>Kikkoman</b>	しょうゆ	<b>ZEN-NOH Grain Brasil Holdings</b>	
<b>Kisco do Brasil</b>		<b>Zensho do Brasil</b>	

## 1. 食品部会会員企業

## 2. 市場及び会員企業状況

- (1) 市場概況
- (2) 業種別動向及び会員企業状況
- (3) 今後の市場見込みと、これからのキーワード

## 3. 副題- 『大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は』

- (1) リスクへのしっかりとした備え
- (2) ブラジル人消費者ニーズへの徹底適合
- (3) ポジティブなチャレンジ

## 2. 市場及び会員企業状況 (1) 市場概況 1) 市場全体

> 市場全体の売上高伸長率は、2016年以降直近に至るまで、緩やかな回復基調

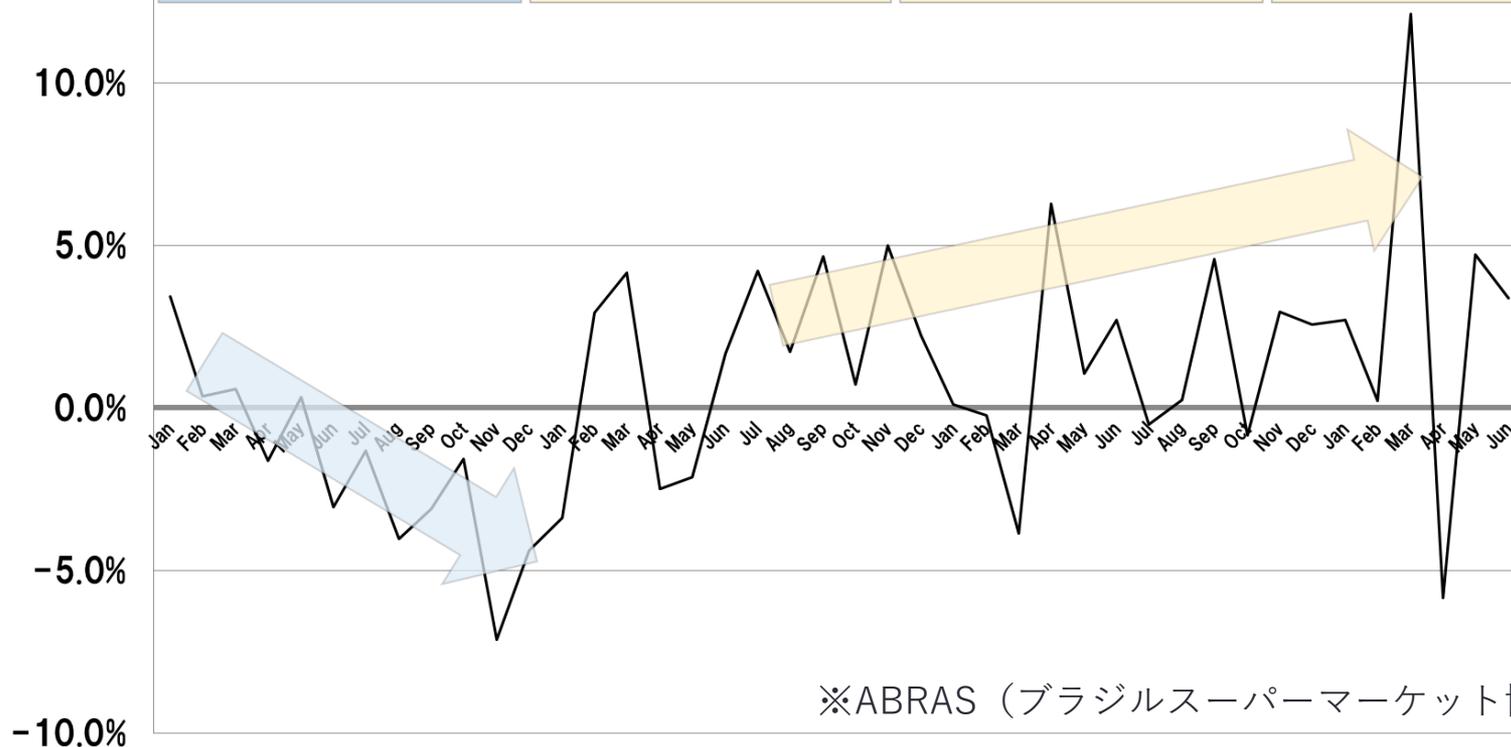
が継続している。

> 特に、キャッシュ&キャリーチャンネル（相対的に店頭価格が低い大型の業務用

スーパーマーケット売上高伸長率の推移: 月次前年比・実質(除くインフレ率)

スーパー(15.0%) は、近年店舗数も伸びており、伸長が著しい。2018年上期(同+2.0%)

2015年 (累計前年比-1.9%)      2016年 (累計前年比+1.6%)      2017年 (累計前年比+1.3%)



※ABRAS (ブラジルスーパーマーケット協会)

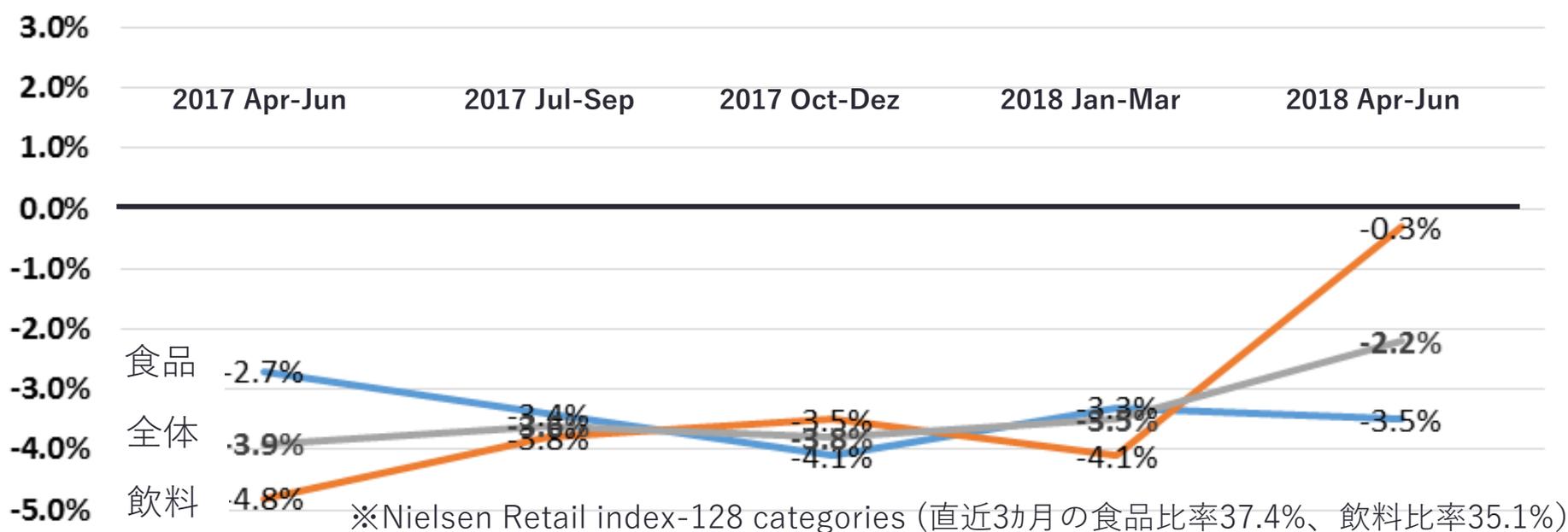
## 2. 市場及び会員企業状況 (1) 市場概況 2) スーパー、ハイパーでの食品・飲料業界

> Nielsenデータの対象である、スーパー、ハイパーマーケットでは、全体的に

売上高伸長率の下落傾向が続いており、食品・飲料も同様の傾向である。

> 一方、以下のデータに含まれないキャッシュ&キャリアでは、食品・飲料も

伸長が食品・飲料(各社調査伸長率)の推移(消費者価格・実質(除インフレ)による)。



## 2. 市場及び会員企業状況 (2) 業種別動向及び会員企業状況 食品部会

2018年上期、食品業界においてもトラックスト影響などで景気の不透明感が増している中、会員企業は各々の課題対応と機会を生かす取組みを継続。

業種	2018年上期 市場動向	会員企業状況 (成果○と課題△)
調味料	家庭用市場は一般スーパーで微減もキャッシュ&キャリーでは伸びており、消費者の購入行動の変化が見られる。外食市場は伸長継続。	○ 積極的販促活動により前年比115%、トラックスト影響も翌月分で概ね挽回した。 △ 輸入原材料コストアップへの対応、消費者ニーズに対応した新製品開発。
しょうゆ	輸入しょうゆは当地メーカー品との価格差が大きく、厳しい状況が継続。	○ 当地での使用形態・味覚・嗜好に合わせて開発した「しょうゆ液体調味料」の販売開始。 △ 日系のみならず、伯系市場での認知拡大。
酒類	トラックストを契機に、景気見通しに関して不透明感が増し、消費者の低価格志向が継続。	○ ディストリビューターとの協働、販促が奏功し対前年プラスの見込み。 △ 各種コスト上昇への対応。
コーヒー	17/18クロップの豊作見込みにより生豆相場は落ち着き、輸出では他産地に対する国際競争力が向上。	○ 国内は柔軟な価格対応と付加価値商品の拡売もあり好調に推移。輸出品も成約率が向上。 △ トラックスト等のリスク対策、輸出向け税還付制度 (Reintegra) 見直しへの対応。

## 2. 市場及び会員企業状況 (2) 業種別動向及び会員企業状況 食品部会

業種	2018年上期 市場動向	会員企業状況 (成果○と課題△)
チョコレート	18年イースターでの市場回復が期待されたが、僅かな増加に留まる。近年のプレゼントスタイルの多様化も影響。	○ トラックスト影響もあり、金額ベースで対前年やや減の見込みも、利益性は改善。 △ 年間を通じて安定した消費に繋がる製品開発、リアル安に伴うコスト上昇への対応。
即席めん	数量・金額いずれも微増。	○ 数量・金額とも市場を上回る伸び。特に3月投入のカップヌードル「シーフード」が好調、日系はもちろん伯系からの引き合いも増。 △ 輸入原材料コストアップへの対応。
食肉	昨年の食肉不正以降の減産とトラックストによる供給懸念から、先物相場は上がりつつある。	○ 日本向け鶏肉は回復傾向。南米諸国向け肉の増加、国内では食肉原料（例；ラーメン周り材料）が伸びている。 △ 日本向けブランド強化、国内ニーズ対応強化。
乳酸菌飲料	(独自カテゴリーゆえ、未評価)	○ トラックスト影響もあり対前年やや減の見込みも、生産部門では各種コストダウンを実現。 △ 生活環境の変化に合わせた従来の宅配ビジネスモデルの革新。
食品添加剤、香料	既存顧客での需要より、回復基調がうかがえる。	○ 対前年実績増。現地系顧客や中小規模顧客等、アプローチ枠を拡大。 △ 健康志向、新規領域での用途・製品開発。

## 2. 市場及び会員企業状況

### (3) 今後の市場見込みと、これからのキーワード

#### <市場の今後のポイント>

- 1) 景気全体は緩やかな回復基調にあるものの、大統領選が控える等、先行きには不透明感がある。
- 2) ライフスタイルの変化に伴い、新たな消費者ニーズが顕在化してきている  
ことに加え、特に食品・飲料については低価格志向の強まりも見られる。
- 3) 5月のトラックストライキ以降も、トラック運賃の値上げやストライキ自体の

#### <これから求められるキーワード>

- 1) リスクへのしっかりとした備え
- 2) ブラジル人消費者ニーズへの徹底適合
- 3) ポジティブなチャレンジ

## 1. 食品部会会員企業

## 2. 市場及び会員企業状況

- (1) 市場概況
- (2) 業種別動向及び会員企業状況
- (3) 今後の市場見込みと、これからのキーワード

## 3. 副題- 『大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は』

- (1) リスクへのしっかりとした備え
- (2) ブラジル人消費者ニーズへの徹底適合
- (3) ポジティブなチャレンジ

## (1) リスクへのしっかりとした備え

< 会員企業での事例 >

リスクへの備えの徹底強化

1) 再度のトラックストライキへの備え

2) 利益創出力の強化

- ・ 現場の創意工夫による製造コストダウン
- ・ 為替動向に応じた、適切な原材料買付や現地調達比率コントロール等

3) キャッシュマネジメントの強化

- ・ ROA (Return On Assets) やCCC (Cash Conversion Cycle) 等を指標とした、  
全バリューチェーンでの取り組み

### 3. 副題

『大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は』

食品部会

## (2) ブラジル人消費者ニーズへの徹底適合

### 1) スペシャルティの追求による競争力強化

< 会員企業での事例 >

- ① 即席めん      カップヌードル「シーフード」の上市。  
ブラジル人からも支持。大学、長距離バスターミナル、
- ② 食 肉      コンビニ等を対象に新たなチャネル戦略を展開。  
ブラジル人消費者にとっての価値の提供。  
例) ラーメン周りの食肉原料（豚骨、鶏ガラ、チャーシュー用肉等）
- ③ 食品添加剤      調理用途に応じて部位やスライス方法を変えた一次加工  
従来の日本的用途に加え、ブラジルで需要のある新用途  
(チョコレート、ケーキ、スナック等)での展開。
- ④ しょうゆ      現地の「しょうゆ液体調味料」の使用形態・味覚・嗜好に合わせ、現地風アレンジ、開発した液体調味料の販売開始。これまで取り込めなかった顧客層開拓狙う。



『大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は』

## (2) ブラジル人消費者ニーズへの徹底適合

### 2) ブラジル人社会の変化への適切な対応

<会員企業での事例>

#### ①消費者の健康志向の高まり

→ 減塩、減糖ニーズに対応した商品開発

#### ②消費者行動の変化

(例：イースターにおけるギフト行動が、チョコエッグ完成品の購入から、

手作りやチョコ以外のギフト等へ多様化)

→ 新たなニーズに合わせた、季節性に左右されない商品開発への挑戦

#### ③Facebook等のSNSの普及

→ 消費者とのコミュニケーション（プロモーション、レシピ提案等）への活用

## (3) ポジティブなチャレンジ

< 会員企業での事例 >

事業環境の変化をチャンスと捉えたポジティブなチャレンジ

1) 既存ビジネスモデルの見直し

(例：スマートフォンやインターネットを活用した新たなビジネスモデルの構築)

2) ラテンアメリカ周辺国へのビジネス拡大

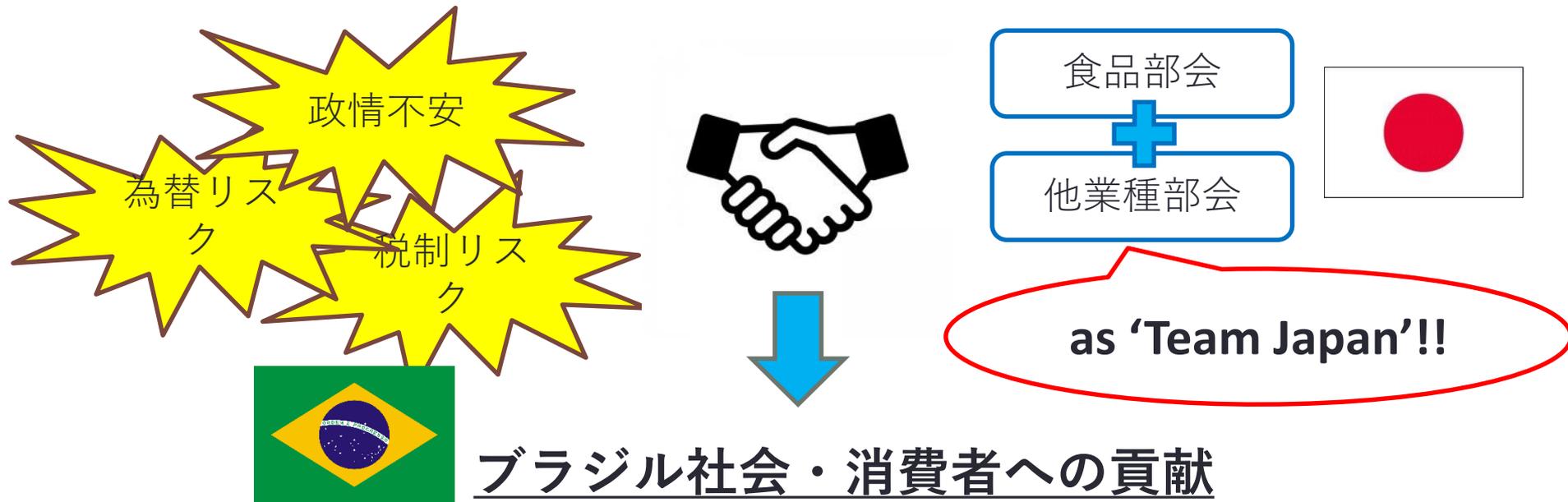
(例：周辺国における新規顧客開拓)

3) 事業ポートフォリオの進化と革新

(例：従来の事業ポートフォリオに捉われない新たなビジネスへの挑戦等)

## ”Team Japan”として

- (1) 互いの強みを生かした協業や連携の可能性模索
- (2) 事業を通じてのブラジル社会・消費者への貢献



- (3) 3つの戦い

**運輸サービス 部会**

**矢澤 吉史 部会長**

**Departamento de Transportes e Serviços**

**Presidente: Yoshimoto Yazawa**

2018年下期業種別部会シンポジウム

# 2018年上期の回顧と2018年下期の展望

大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は

2018年8月23日  
運輸サービス部会

# 運輸サービス部会の対象業界

物流



航空貨物



海運



航空旅客



旅行ホテル



IT通信



# 物流

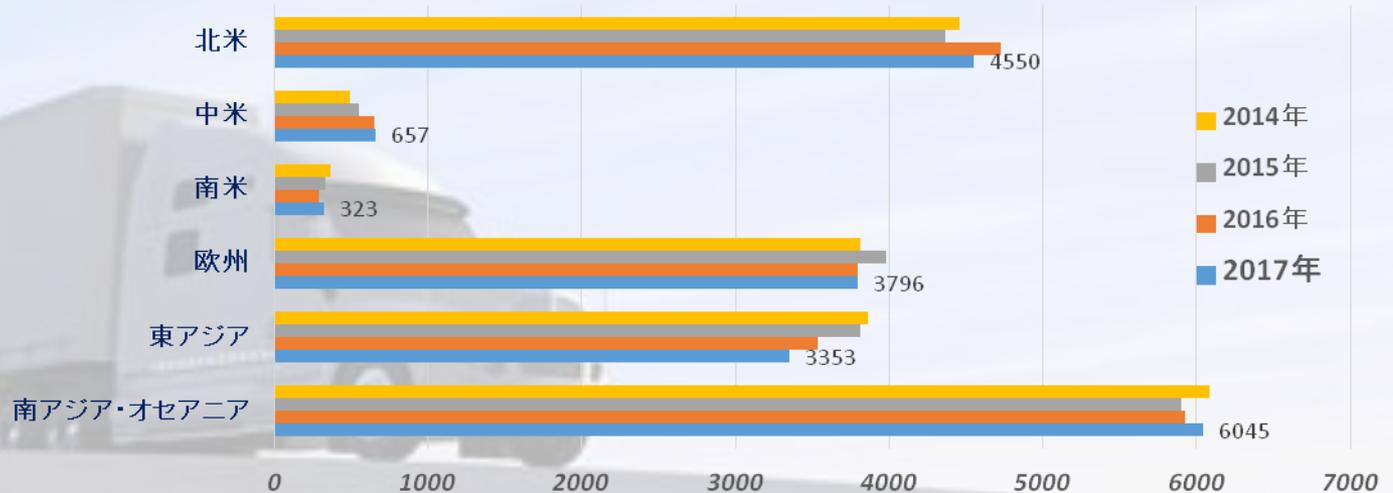
## 2018年上期回顧

- # 税関ストライキが断続的に発生
- # トラック運転手ストライキによる主要幹線道路封鎖、国内、輸出入貨物の遅延
- # 海外引越 ブラジルへの赴任者が帰任者の数を上回る傾向が続く

## 2018年下期展望

- # 待遇改善等を求めるストライキ(税関、港湾労働者等)の発生が懸念される
- # 急速な回復は期待できないものの、一定量の荷動きは維持される見込み

日本発各地域向け船便引越件数動向 (単位:発送件数)





## 航空貨物

### 2018年上期回顧

- # トラック運転手ストライキにより特に輸出航空貨物需要が増加
- # GRU, VCP計で貨物取扱量は、対前年同期比 輸出 21.7% 増 輸入 15.7%
- # GRU空港の輸出貨物荷受け制限による輸出貨物発送遅延

### 2018年下期展望

- # 輸出入貨物量は上期同様に対前年増にて推移する見込み。
- # 航空機貨物スペースがタイトな状態、運賃の値上がりが懸念される。
- # GRU空港の輸出貨物搬入制限の動向に注意が必要。

#### GRU,VCP空港 航空貨物輸出入取扱数量 (単位トン)



(出典：GRU AIRPORT CARGO,VCP AEROPORT ,INFRAEO CARGO)

## 2018年上期回顧

#コンテナ船 - 穏やかな荷動き増(世界全体で+4~5%程度)なるも大型船の引き渡しのピークを迎え、スペースの供給(9%)により、運賃水準は弱含む

#ドライバルク(鉄鉱石・大豆等ばら積み) - 堅調な中国経済に支えられて好調

#自動車輸送 - トラックドライバーのストライキなどネガティブ要因が一部あったが、2017年から継続して輸出が好調

海運

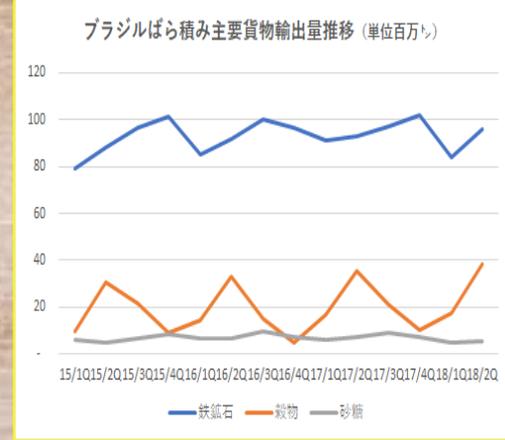
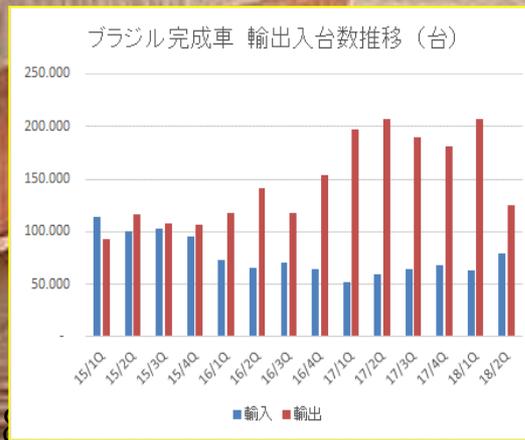
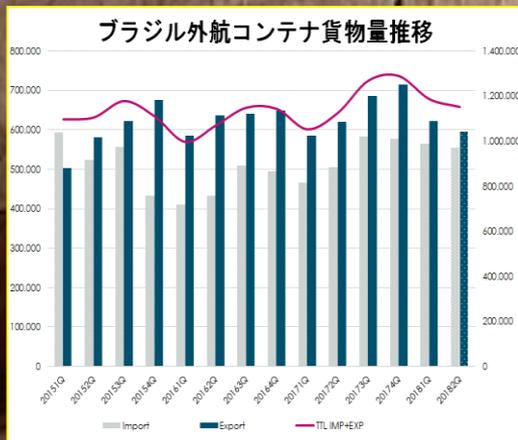
## 2018下期年展望

2018年に日本郵船、商船三井、川崎汽船のコンテナ部門が統合してできた新会社ONE(Ocean Network Express)は、当初不具合もあったものの、サービス開始後3ヶ月以上経ち状況は落ち着きつつある

#コンテナ船 - 安定した世界経済状況を反映して海上荷動量も増加。ロシア・イランへの経済制裁、米国の保護主義的な動きとそれに対する報復の動き、そして中南米においては特にアルゼンチンの経済の脆弱性が懸念要素

#ドライバルク(鉄鉱石・大豆等ばら積み) - 米中貿易摩擦の影響を懸念

#自動車輸送 - ブラジルからの輸出の75%を占める亜の経済危機の影響が焦点



## 2018年上期の回顧

# **国内線**は、有償旅客キロは対前年+4.2%、提供座席キロも同+4.2%で、利用率は80%を維持し、供給増に見合った堅調な需要の伸びが続いた

(2018年1月～6月計)

# **国際線**は、ブラジル系航空会社計で、有償旅客キロは対前年+15.8%、提供座席キロは同+19.4%、利用率は▲2.5pt悪化したものの、座席規模の拡大に応じて旅客も大幅な増となった (2018年1月～6月計)

データ元：ANAC (ブラジル民間航空庁)

## 2018年下期の展望

# **国内線**は、上期同様に下期も緩やかに需要が増えることが期待されるものの、大統領選挙の影響による旅客移動の鈍化が懸念される。

# **国際線**は、下期も旺盛な需要に支えられて好実績になると思われるとともに、7月からLATAM航空がサンパウロ＝ボストン線を週4便、エミレーツ航空がサンティアゴ＝サンパウロ＝ドバイ線を週5便（既存のサンパウロ＝ドバイ線を含めると週12便）で運航を開始する等、再び路線拡充の動きもある。一方で、為替市場におけるレアル安がマイナス要素として考えられる。

# サンパウロ市内とグアリュージュス空港間のアクセス鉄道(CPTM13号線)が2018年3月31日に開通し、6月から本格運行となった (4・5月は試験営業)

# 東京オリ・パラに向けて、旅行商品性や価格面を含めブラジルからの訪日外客数を如何に増やすか、が課題である。

# 日本の航空会社によるエンブラエル機保有数：2018年7月末現在

日本航空グループ 32機、フジドリームエアラインズ 12機、 計44機

航空旅客



## 2018年上期回顧



### 旅行 ホテル

	2017年第1四半期		2018年第1四半期		前年同期比	
	売上実績 (R\$千)	発券枚数	売上実績 (R\$千)	発券枚数	売上実績	発券枚数
国内線航空券	789,940	1,373,944	915,505	1,394,117	+ 9.9%	+ 1.5%
国際線航空券	636,500	160,970	689,646	186,492	+ 8.3%	+ 9.7%
	売上実績	販売宿泊数	売上実績	販売宿泊数	売上実績	販売宿泊数
ホテル(法人)	146,006	738,143	155,503	593,612	+ 6.5%	▲19.6%

ブラジル・ビジネス旅行代理店協会 (ABRACORP)

## 2018年下期展望

- # 全体的な見通しは上期より悪化
- # 航空券、ホテル：インターネットを使った個人向け販売 (BtoC)
- # インバウンド：7月に日系移民110周年
- # アウトバウンド：インセンティブツアー
- # 日本への就労移住の増加
- # 日系四世の受け入れ制度が7月よりスタート



**粉類の機内持ち込みについて注意！**

IT通信





IT通信  
モバイル

## 2018年上期回顧

# 契約者数は、前年度に続き約103万減少。

# 4G(LTE)契約は約1,343万増加し、全体の49%を占める（表A）

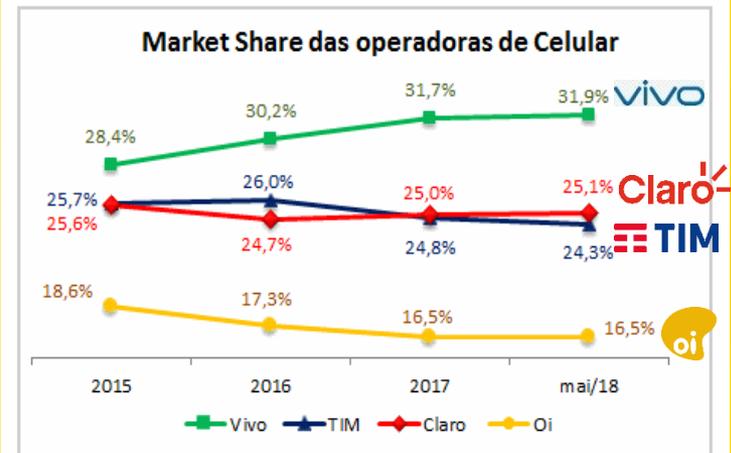
# マーケットシェア（18年5月：VIVO31% CLARO25% TIM24% Oi16%）(表B)

(表A) 携帯電話・モバイル契約者数

項目	2018年上期 [単位：万]	前年比
携帯電話契約数 (全体)	23,545 (100%)	▲3%
<b>4G (LTE)</b>	<b>11,566 (49%)</b>	<b>+51%</b>
3G	7,209 (31%)	▲32%
2G	2,836 (12%)	▲31%
データカード等 (IoT含む)	1,933 (8%)	+11%

【出典】 Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

(表B) モバイルのマーケットシェア



【出典】 Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

## 2018年下期展望

# LPWA(Low Power Wide Area)の通信規格が2018年中にAnatelに認可予定、通信費用の低減からIoT分野での成長が見込まれる。

# 4G(LTE)の普及・エリア拡大により、動画やビッグデータを活用したソリューションの普及が見込まれる。



## IT通信

インターネット  
ブロードバンド

# 2018年上期回顧

# インターネット普及率 (2017年12月) :70.7%、1億4905万ユーザ (表C)

# マーケットシェア (2018年5月) : NET(claro)30%、VIVO25%、Oi20% (表D)

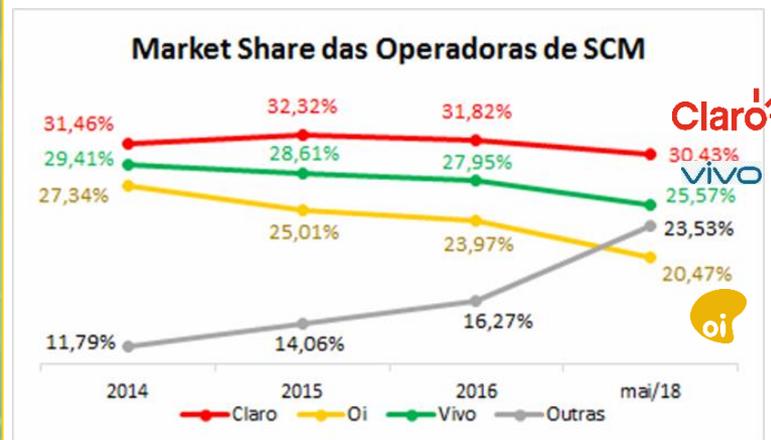
# 固定ブロードバンドアクセス数 (2018年5月) :3007万アクセス、前年比4%上昇

(表C) 南米各国のインターネット普及率

順位	国名	総人口辺りの普及率	合計ユーザ数
1	アルゼンチン	93.1%	41,586,960
2	パラグアイ	89.6%	6,177,748
3	ウルグアイ	88.2%	3,059,727
4	エクアドル	79.9%	13,476,687
5	チリ	77.5%	14,108,392
6	<b>ブラジル</b>	<b>70.7%</b>	<b>149,057,635</b>
7	ペルー	67.6%	22,000,000
参考	日本	93.3%	118,626,672

【出典】 IWS HP <http://www.internetworldstats.com/>

(表D)ブロードバンドのマーケットシェア



【出典】 Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

# 2018年下期展望

# 光ファイバ網のエリア拡大や、通信品質の改善が期待される。

# 個人のインターネット利用多角化に加え、ビジネスにおけるインターネット経由でのシステム利用が増加するなどこれまでと同様に需要の増加が見込まれる。



## 2018年上期回顧

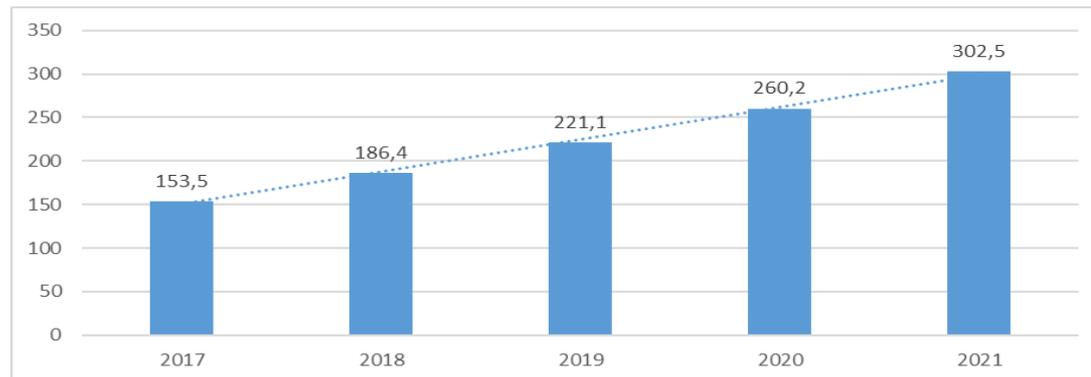
- # ITインフラの強化、IoTの拡大を含む、**デジタル転換戦略「E-デジタル」** 制定
- # クラウド系サービスのニーズやセキュリティなどへのIT投資が増加
- # レベルの高いITエンジニアの確保や、高品質かつ高帯域の通信回線の確保が課題

IT通信  
IT業界全般

## 2018年下期展望

- # クラウドサービス、ITアウトソーシングなど外部委託は継続して増加
- # クラウドの利用は**2017年から2021年で約97%の増加**が見込まれる（表E）
- # 情報セキュリティやITマネジメントサービスへの更なる需要増が見込まれる。一方、**信頼性をベースにITの外部委託先の選定には慎重になる必要**がある

(表E) パブリッククラウドの市場予測



# 変化の時期への準備と戦略は



Since 2000, **52%**  
*of companies  
in the Fortune  
500 have  
either gone  
bankrupt, been  
acquired or  
ceased to exist  
as a result of  
digital disruption.*  
(HBR 2017)

Through 2021, **80%**  
*of traditional  
companies will  
lose 10% in  
market share  
due to  
disruptive  
competition  
and/or the inability  
to disrupt  
themselves.*  
(Gartner 2017)

80% of companies  
around the world  
say **digital  
transformation**  
*is important to  
their survival*  
in the  
next five years.  
(HBR 2017)

Nearly half (44%) of  
all business leaders  
think *their  
existing  
business models  
will cease to  
exist* within  
the next five years.  
(Microsoft 2016)



ブラジルの経済が上  
向けば、内需は拡大  
し輸入が増加、製造  
業をはじめ**内需に活  
路を求め輸出減少が  
懸念される**

ドル高レアル安

一次製品の輸出はブ  
ラジル経済そのもの  
の動きよりも、**中国  
経済の動向に大きく  
左右される**傾向あり

イニチアチブ  
(新たなビジネスチャンス、新規分野) への  
積極投資

エッセンスの  
尊重と維持

経営自体の  
デジタルトランス  
フォーメーション

経済だけでなく  
スポーツ、芸術、文化等、  
様々な分野で日  
伯交流の活発化  
と相互理解の深  
化

ブラジル日系社  
会との更なる融  
和と協調発展



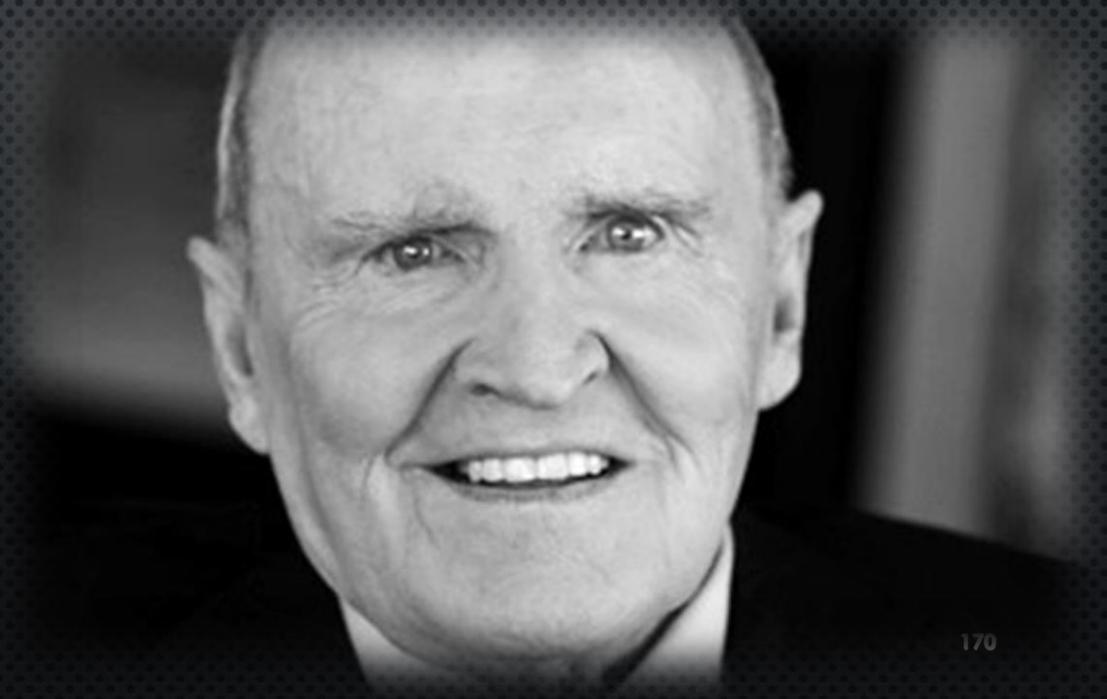
***DX- digital transformation***

**デジタル化による**

**ビジネス変革への準備**

組織の内部の変化が、外部の変化についていけなくなったとき、終わりはすぐそこに来ている。  
ジャック・ウェルチ

*If the rate of change on the outside exceeds the rate of change on the inside, the end is near. -Jack Welch*



A photograph of two cyclists in racing gear riding on a road in a mountainous landscape. The cyclist in the foreground is wearing a white jersey with 'beloitte' and 'Nederburg' logos, and black shorts with 'dimension data' and 'Cervelo' logos. The cyclist in the background is wearing a similar white jersey and black shorts. The background shows a vast mountain range under a blue sky with some clouds.

運輸サービス部会主催

# ITセミナー

- 日時 9月20日(木曜日) 15時開始 \*18時終了予定
- 場所 商工会議所 大会議室

## 第一部：IoTの最新動向と導入事例について

NTT  
docomo

中村 雅彦 (なかむら まさひこ)

NTT DOCOMO USA, Inc.

Senior Vice President, Business Development

NTT入社後、NTT西日本、NTT持株を経て、2009年よりNTTドコモに従事。2011年には電子書籍サービスのJV立ち上げに経営陣として参画。2013年より5年間、ドコモのグローバルIoT事業の責任者を務め、米国企業との協業によるグローバルIoTプラットフォーム、日伯間を含むeSIMソリューション、海外オペレータとのアライアンス、コネクテッドカー向けソリューションを主導。2018年6月、ドコモのグローバルIoTブランド「Globiot (グロビオ)」を立ち上げ。2018年7月より現職、米国ニューヨークに拠点を移し、IoTを中心としたグローバル事業開拓、米国企業とのアライアンスを担当。



## 第二部：“IT戦略＝ビジネス戦略”の具現化を支えるリスクマネジメントの在り方 ～レジリエンス強化に向けた5つの注力ポイント～

NTT Communications

竹内 文孝 (たけうち ふみたか)

NTTコミュニケーションズ株式会社 経営企画部

マネージドセキュリティサービス推進室 室長 セキュリティ・エバンジェリスト

2001年にNTTコミュニケーションズ株式会社において初となるウイルス対策サービスを開発し、その後同社セキュリティオペレーションセンタを設立。海外グループ会社のPMIプロジェクト参画や、世界共通MSSメニューの開発などを経て、2013年NTTコムセキュリティ株式会社代表取締役社長に就任。現在は、NTTコムのセキュリティサービスブランド『WideAngle』の新サービス開発に従事。セキュリティエバンジェリストの一面も持っており、各種セミナー講師などを務める。



## 第三部：最近の情報セキュリティ脅威と今後の対応について



藤生 昌也 (ふじう まさや)

パロアルトネットワークス株式会社  
シニアビジネスデベロップメントコンサルタント

約15年間セキュリティ業界に従事し、エンドポイント、Email/Webセキュリティ、認証、ネットワークセキュリティに至るまで、幅広いレイヤーにて多くのビジネス経験を得て、現職に従事。  
ビジネス開発/プロジェクトマネージャ/プロダクトマネージャを歴任。これまでの経験から講演依頼やセキュリティコンサルティングなどを務める。



運輸サービス部会主催

# ITセミナー

- 日時 9月20日(木曜日) 15時開始
- 場所 商工会議所 大会議室

**建設不動産 部会**

**今川 尚彦 部会長**

**Departamento de Construção e Imobiliária**

**Presidente: Naohiko Imagawa**

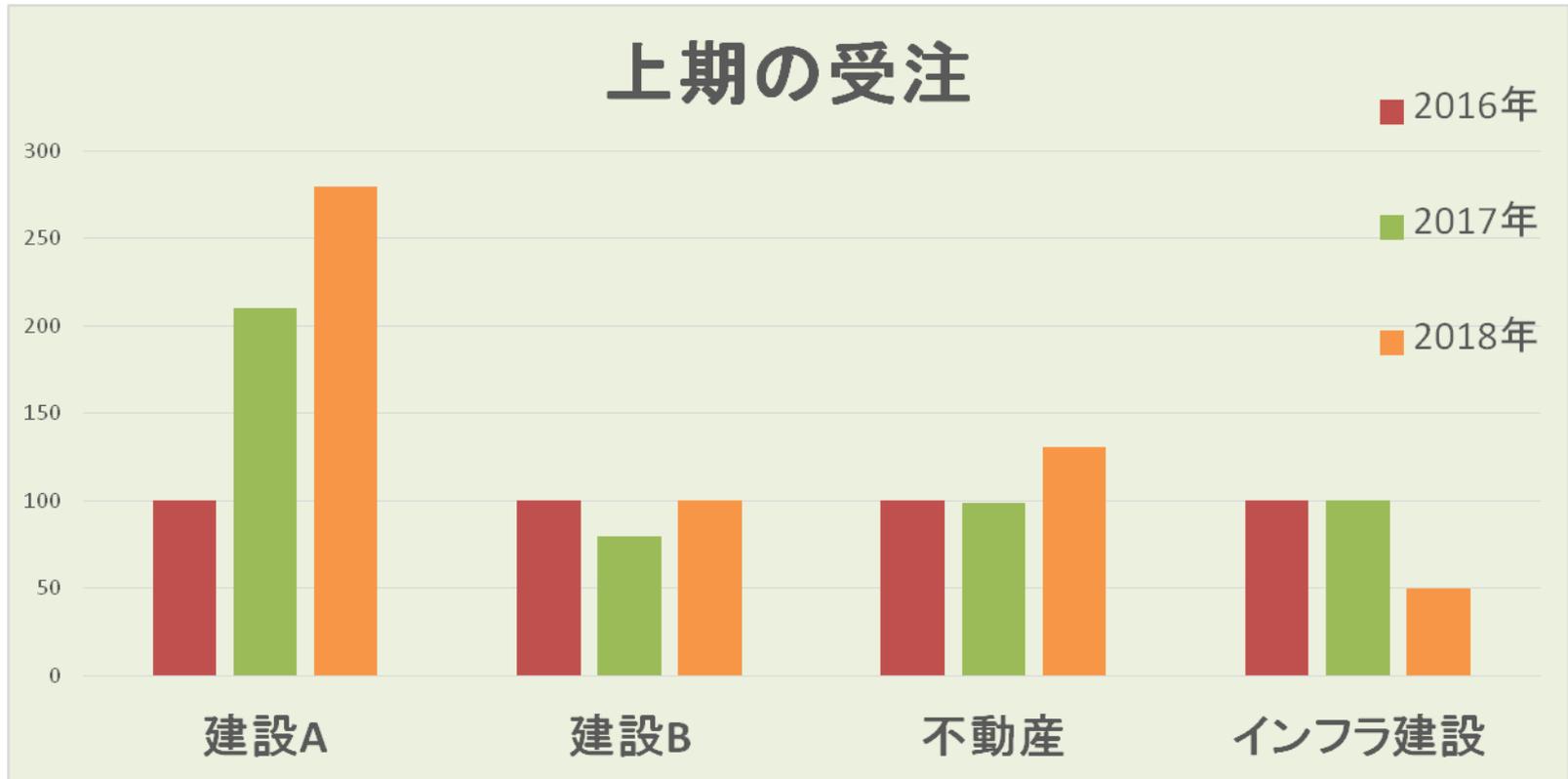
# 建設不動産部会

2018年上期の回顧と下期の展望

『大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は』

1. 部会員の現状
2. 建設不動産業界の現状
3. 各社の取り組み

# 1. 部会内の現 状



### 2018年上期の出来事

- ・為替の悪化
- ・トラック運転手のストライキ

### 2018年下期のイベント

- ・大統領選挙
- ・統一地方選挙

# 1. 部会内の現 状

## 上期の特徴

## 課題

建設

日系企業：停滞感、工事規模の小型化  
非日系企業：低価格競争の激化

価格競争力の向上  
利益確保

不動産

駐在員減(家族帯同減)に歯止め

付加価値/現地  
サービスの向上

イン  
フラ  
建設

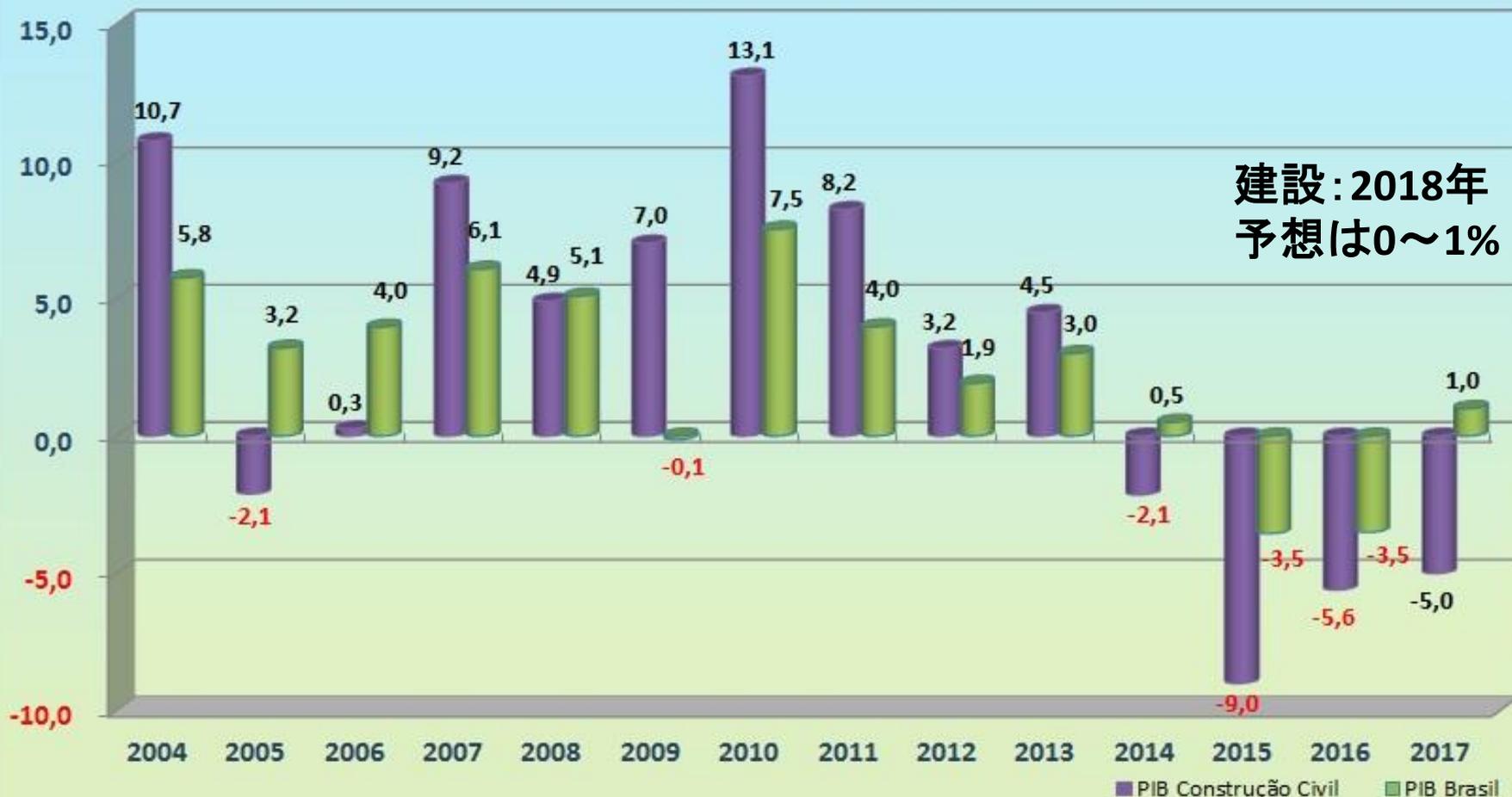
インフラ関連の公共事業が中断  
同業他社の他工種への転向

公共事業再開  
目指した営業

## 2. 建設不動産市場の現状

### GDP (全体v.s.建設部門)

PIB Brasil X PIB Construção Civil (Variação %) - 2004 a 2017



建設:2018年  
予想は0~1%

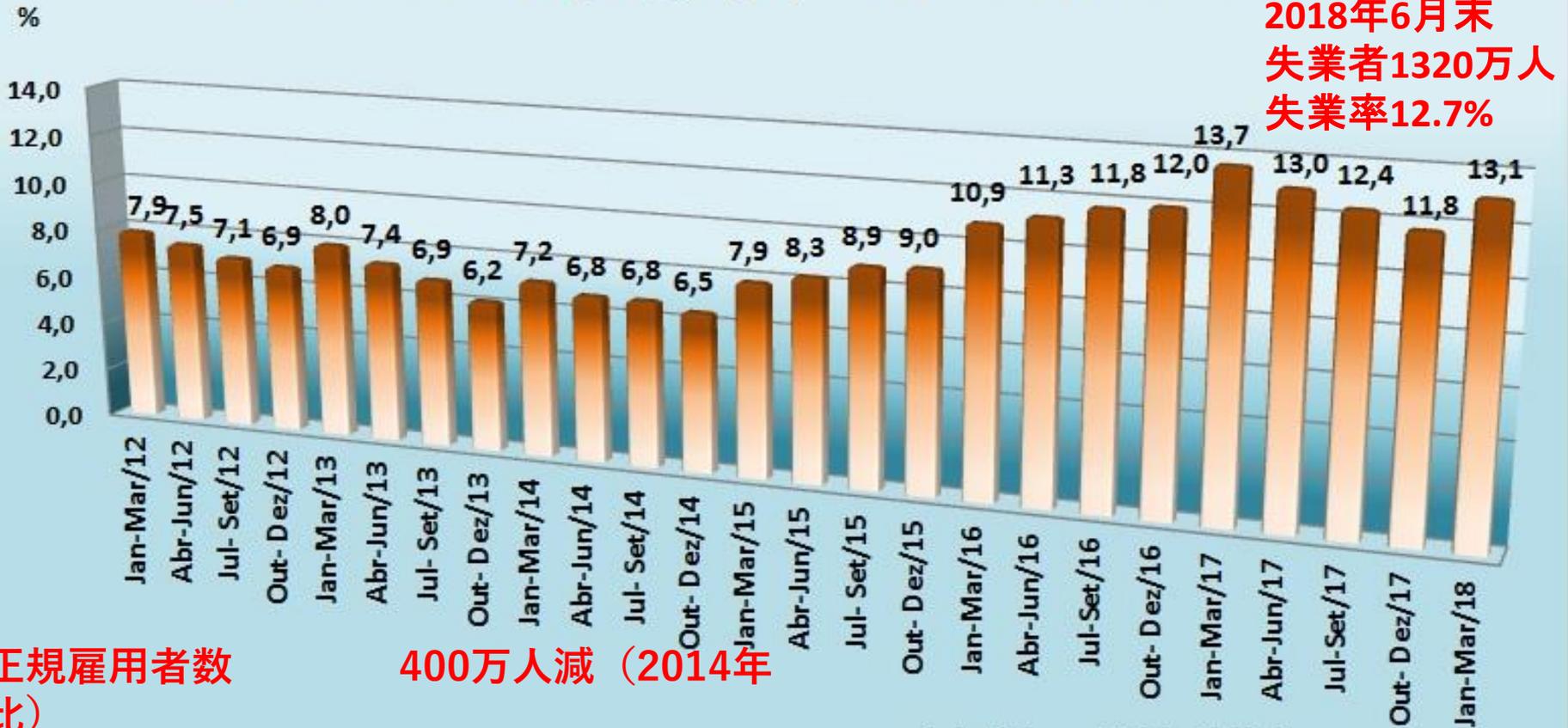
Fonte: IBGE - Contas Nacionais Trimestrais. Nova série 2010.  
Elaboração: Banco de Dados-CBIC

(出所:CBICデータバンク)

## 2. 建設不動産市場の現状

### 全体失業率

Taxa de Desemprego (%) - Total de Atividades



2018年6月末  
 失業者1320万人  
 失業率12.7%

正規雇用者数  
 比)  
 建設業

400万人減 (2014年

125万人減 (84%)

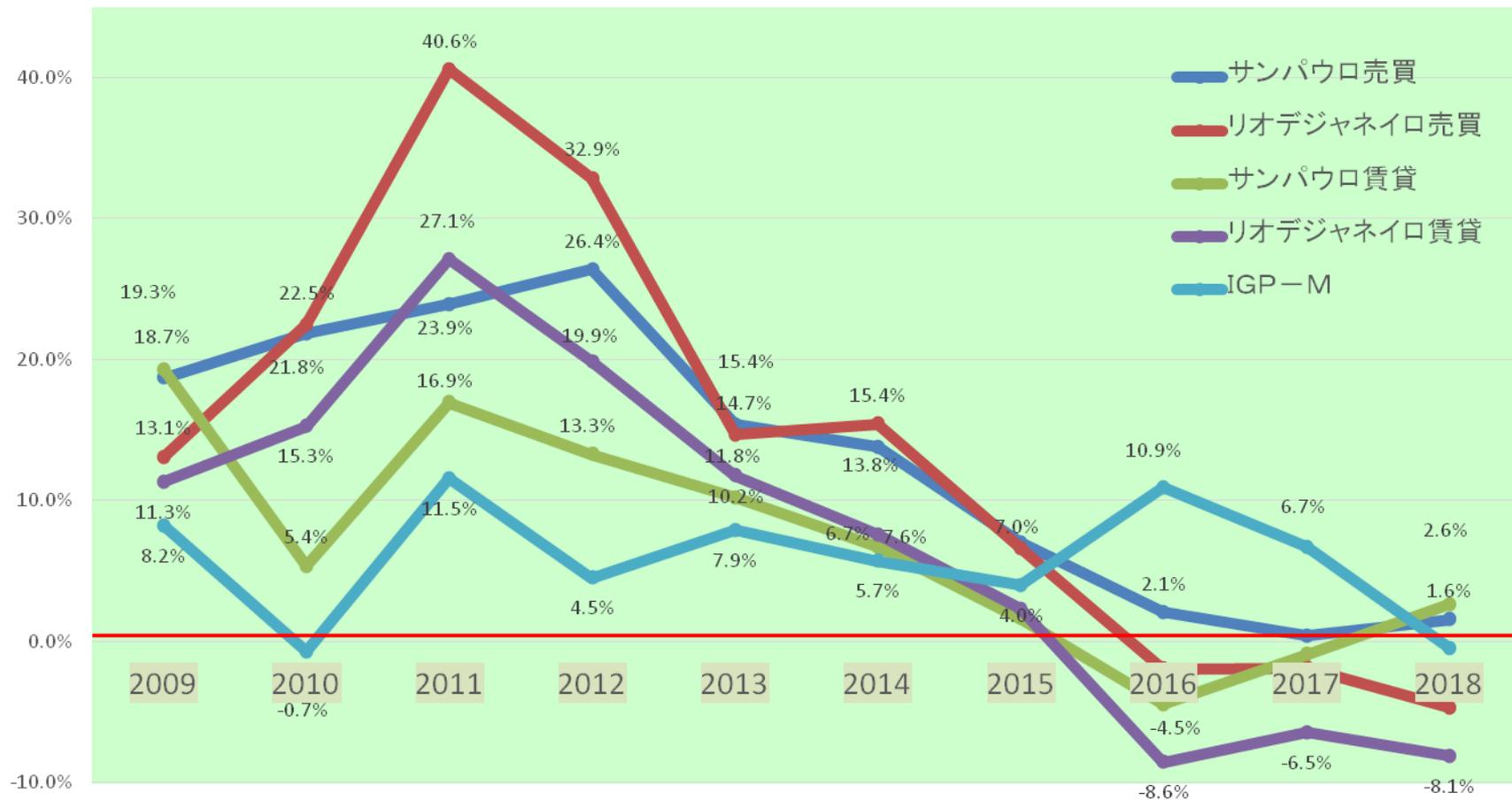
ou mais de idade, no total de atividades

Fonte: PNAD Contínua/IBGE  
 Elaboração: Banco de Dados - CBIC

(出所: CBICデータバンク)

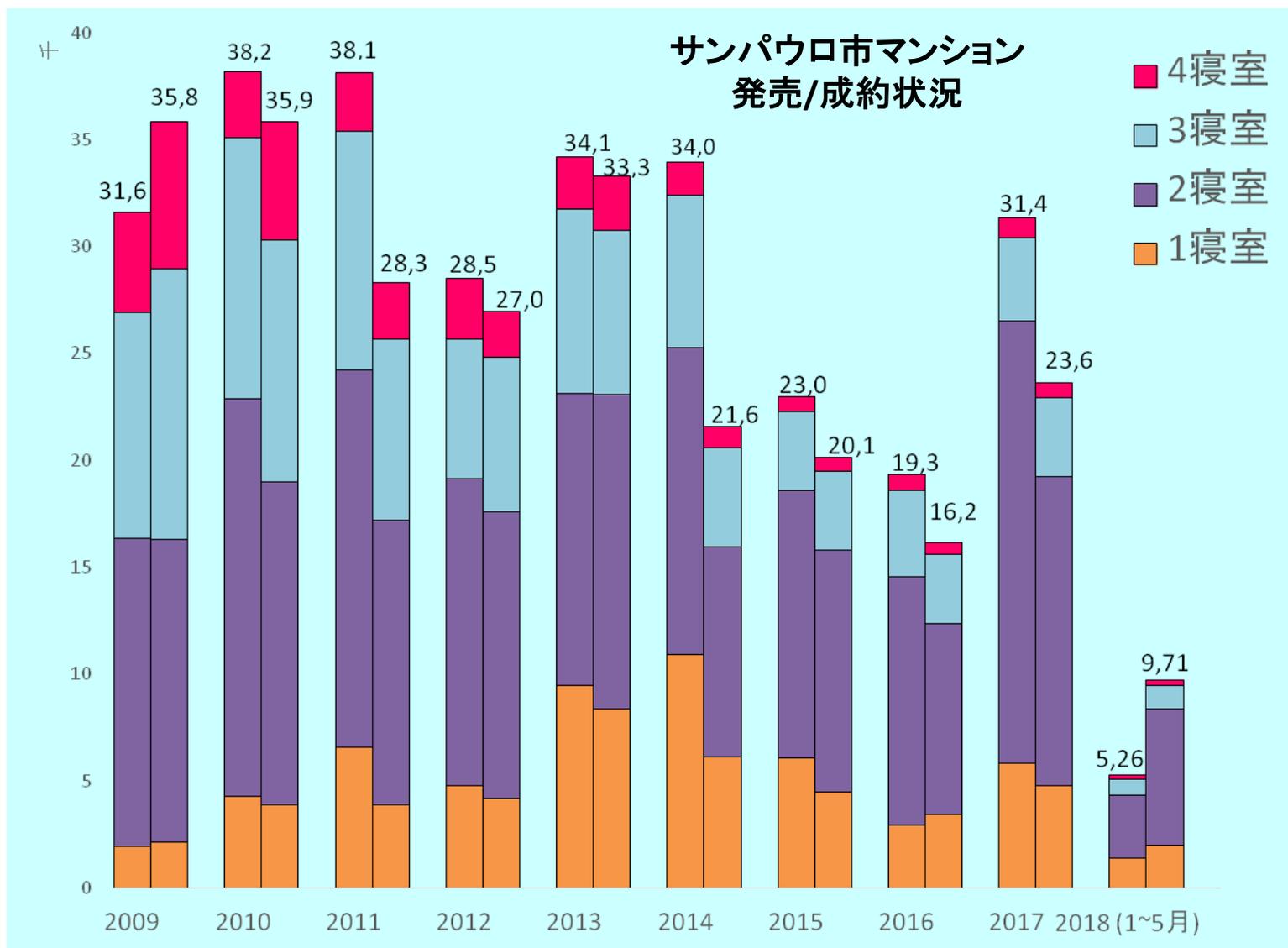
## 2. 建設不動産市場の現状

### 住宅価格年間上昇率



(出所: Fipe Zap統計より作成)

## 2. 建設不動産市場の現状

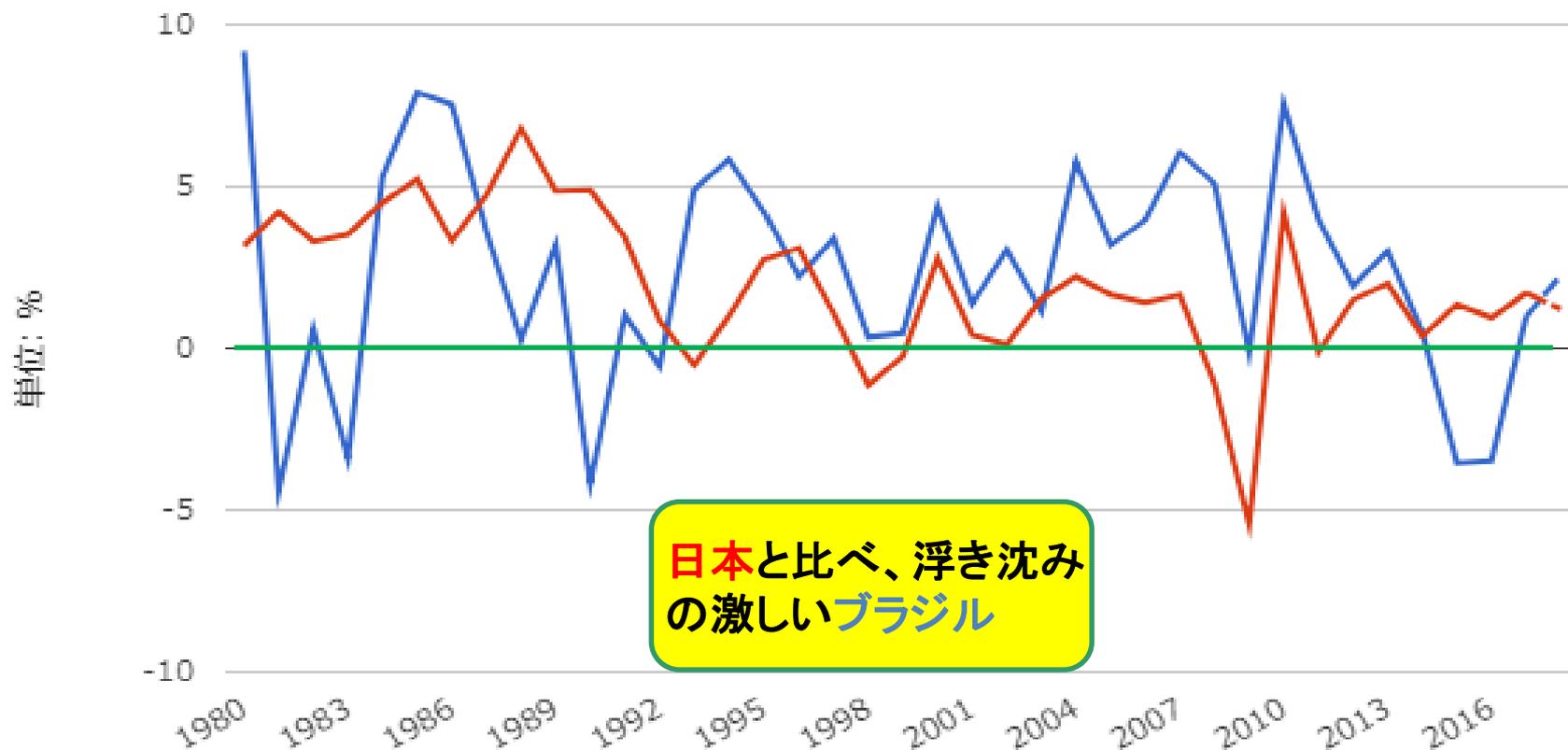


(出所: Secovi-SP統計より作成)

# 建設、不動産、インフラ部門の共通課題：景気の波に翻弄されない事業形態の創出

経済成長率の推移(1980～2018年)

— ブラジル — 日本



(出所:世界経済のネタ帳)

### 3. 各社の取り組み (CGC Geotecnia e Construções LTDA)

## 公共事業から民間事業へ

新設建物地下5階フロアの防水



既設建物地下1階での地盤改良



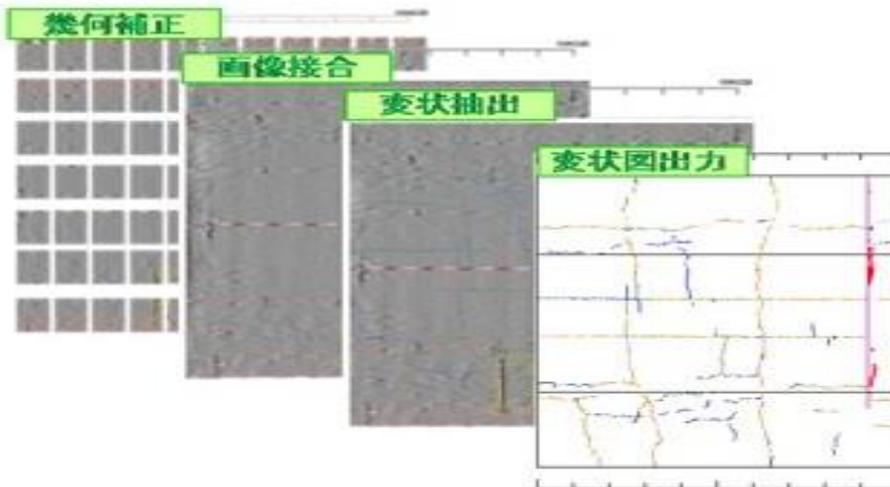
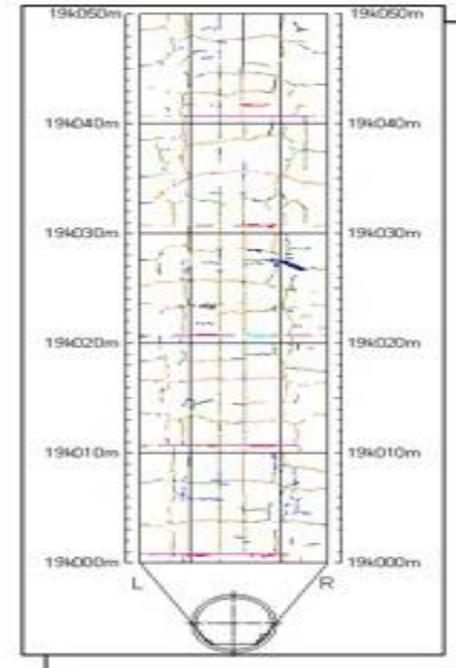
CGCは地下のエンジニアとして  
地下水や軟弱地盤の問題を解決します！

建設不動産部会

### 3. 各社の取り組み (HOSS建設)

#### 「HIVIDAS(ヒビダス)」(清水建設):

従来の、人による目視・打音調査の代替となる高感度赤外線と熱画像で同時撮影し、画像処理により「ひび割れ」や「浮き・はく離」等を抽出し、損傷展開図を作成



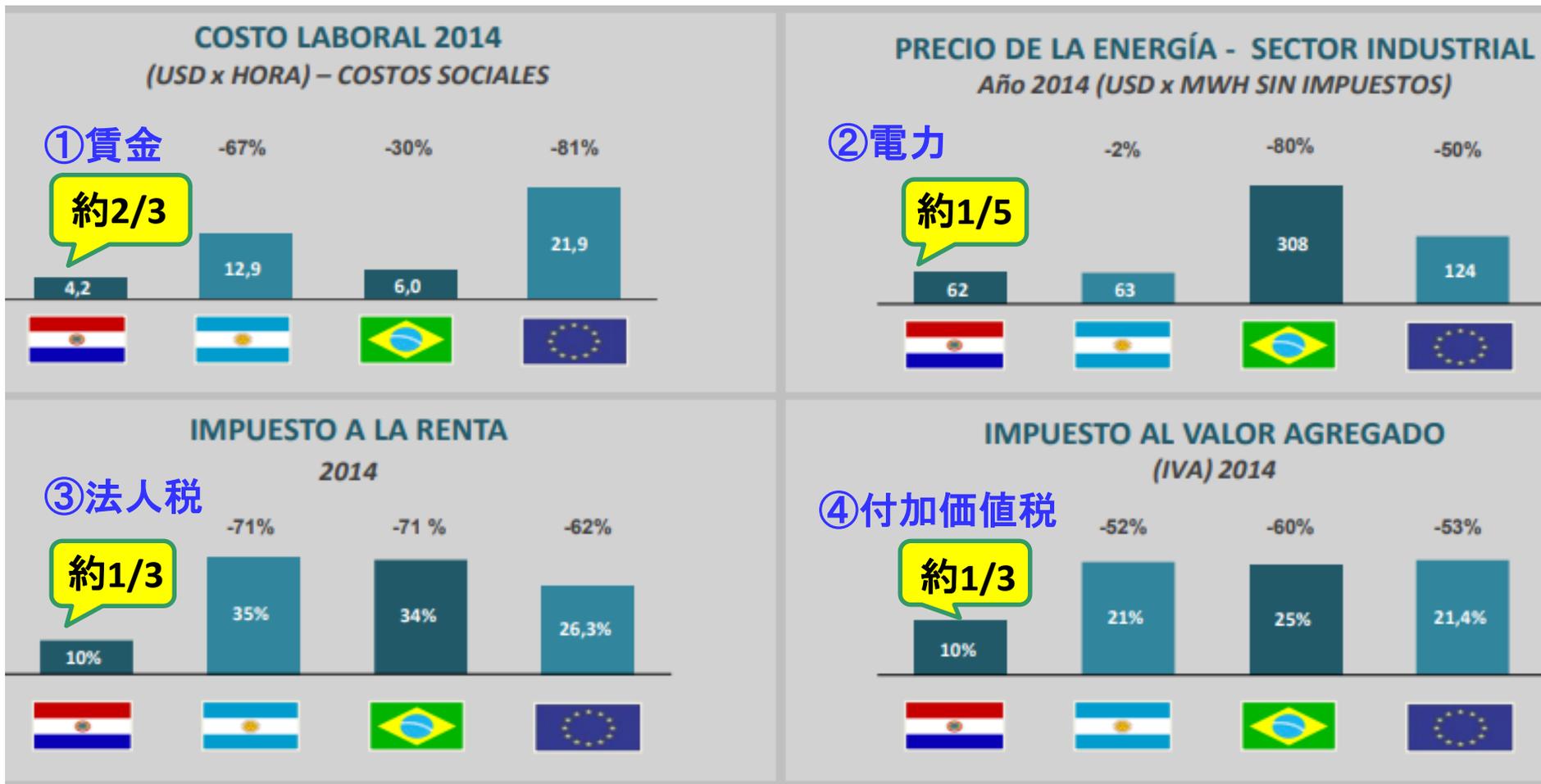
凡 例					
—	ひび割れ ~0.2mm	—	ひび割れ 3.0mm~	■	漏水
—	ひび割れ 0.2~0.5mm	—	遊離石灰 ひび割れ	■	浮き
—	ひび割れ 0.5~1.0mm	■	遊離石灰	■	導水工
—	ひび割れ 1.0~3.0mm	■	剥落	—	目地異常

変状展開図例(鉄道トンネル覆工面)

### 3. 各社の取り組み（ブラジル戸田建設）

#### 設新規事業：①パラグアイ支店開設

#### 「ローコスト」のパラグアイ



安定したインフレ、為替、GDP

出所(ブラジル・パラグアイ商工会議所)

建設不動産部会

### 3. 各社の取り組み（ブラジル戸田建

設)

### パラグアイー「充実のインセンティブ」+「少ない労働訴訟」

・投資法  
(10年有効)

資本財輸入関税

0%

資本財付加価値税

0%

海外宛融資  
(US\$500万以上)  
に対する資本金・金利・手数料の送金税

0%

配当金支払い、利益の海外送金税

0%

・マキラ制度

単一税

1%

~~全国内税  
関税~~

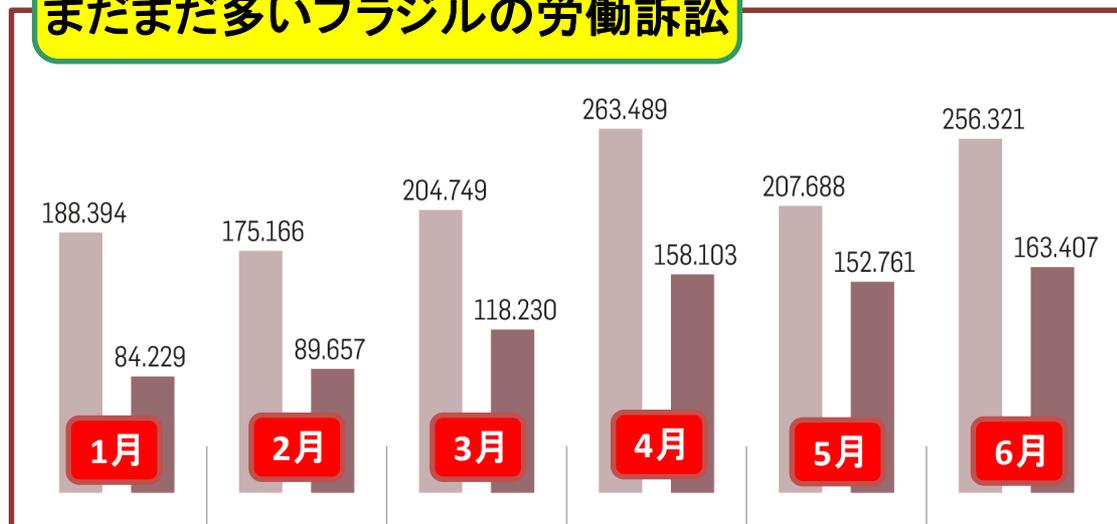
・フリーゾーン

FZ税

0.5%

or  
VAT

労働法改正後、減ったとは言え、  
まだまだ多いブラジルの労働訴訟



### 3. 各社の取り組み（ブラジル戸田建設）

#### 新規事業：②風力発電



#### 【風力発電コスト】

	資本費 (\$m / MW)	設備 利用率	運転維持費 (\$ / kW / 年)	発電コスト (\$ / M W h)
ブラジル	1,64	48%	30	52
日本	2,57	22%	48	155
ドイツ	1,90	24%	25	80
スペイン	1,52	25%	24	88
デンマーク	1,90	26%	20	86
アメリカ	1,91	37%	26	67
オーストラリア	1,85	38%	25	71
インド	1,10	23%	16	80

#### 浮体式洋上風力発電(戸田建設)



ご清聴ありがとうございました

# 講評

在サンパウロ日本国総領事/  
ブラジル日本商工会議所名誉顧問

野口 泰

Avaliação do  
Cônsul Geral do Japão em São Paulo/  
Conselheiro de Honra da  
Câmara de Com. e Ind. Japonesa do Brasil

Yasushi Noguchi

**コメント**

**在ブラジル日本国大使館**

**山中 修 公使**

**Comentário do  
Ministro da Embaixada do Japão**

**Osamu Yamanaka**

**着任挨拶**

**在ブラジル日本国大使館**

**真鍋 尚志 公使**

**Cumprimento do  
Ministro da Embaixada do Japão**

**Takashi Manabe**

**閉会の辞**

**木下 誠 総務委員長**

**APRESENTADOR**

**Presidente da Comissão  
de Coordenação Geral**

**Makoto Kinoshita**